

733  
360

733-360  
1200501590371

昭和十三年一月

機船底曳網漁業關係規則並二通牒

農林省水產局

Kodak Gray Scale

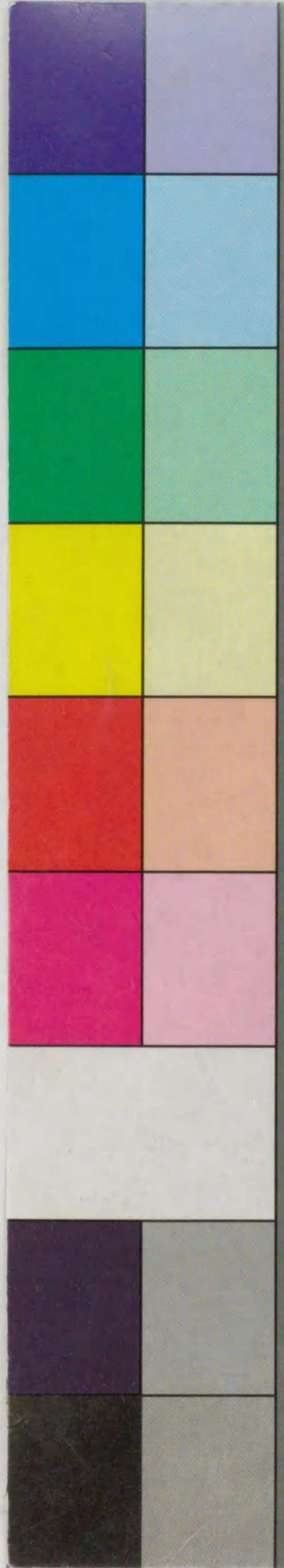
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

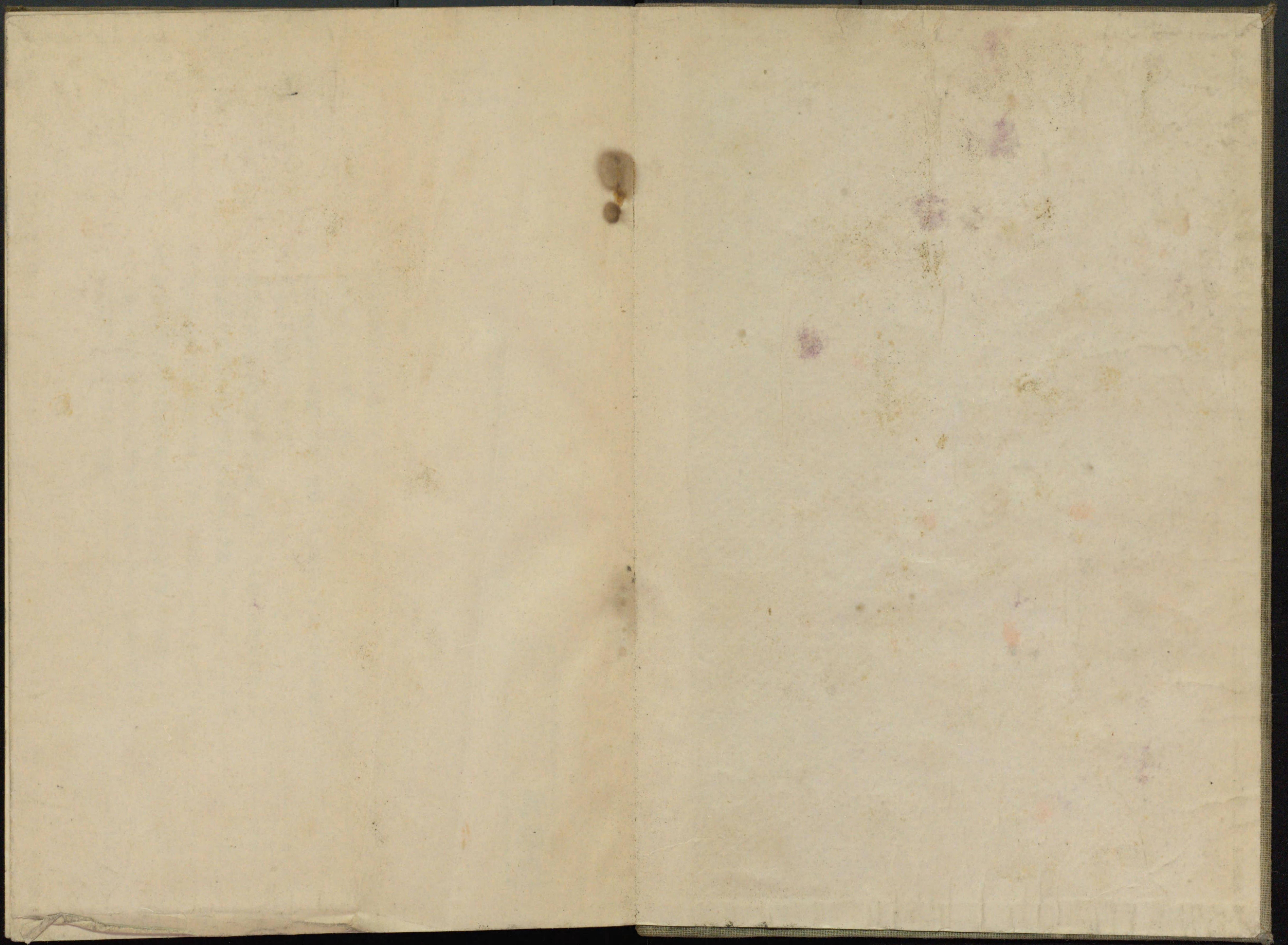
Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak







733  
360



機船底曳網漁業關係規則並ニ通牒

目次

一、漁業法……………	六二
二、機船底曳網漁業取締規則……………	六八
三、機船底曳網漁業整理規則……………	七五
四、機船底曳網漁業取締規則第一條第一項ノ規定ニ依ル漁業名稱指定……………	七九
五、機船底曳網漁業禁止區域……………	八四
六、機船底曳網漁業取締規則第七條ノ規定ニ依ル禁止區域及期間……………	九二
七、機船底曳網漁業取締規則施行ニ關スル通牒……………	一〇六
八、機船底曳網漁業整理規則施行ニ關スル通牒……………	一〇九
九、機船底曳網漁業取締規則違反行政處分方針ニ關スル通牒……………	一一九
一〇、無許可機船底曳網漁業及無許可汽船「トロール」漁業ニ對スル行政處分方針ニ關スル通牒……………	一二九



同局 寄贈本



一一、板曳漁業ノ解釋ニ關スル通牒	一一三
一二、廢止船舶ノ使途ニ關スル通牒	一一三
一三、印鑑證明ニ關スル通牒	一一四
一四、機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則	一一四
一五、機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則施行ニ關スル通牒	一一八
一六、汽船「トロール」漁業取締規則	一三二
一七、瀬戸内海漁業ノ取締ニ關スル件	一五一
一八、水産組合規則	一五五
一九、重要物産同業組合法	一五七
二〇、重要物産同業組合施行規則	一六四

085  
085



寄録本

### 漁 業 法

（明治四十三年四月二十一日  
法律第五十八號  
昭和八年三月二十八日  
法律第三十三號改正）

- 第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ  
本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ヲ謂フ
- 第二條 公共ノ用ニ供セサル水面ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス
- 第三條 公共ノ用ニ供スル水面ト連接シ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セサル水面ニハ本法ヲ適用ス  
前項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業ニ關シ之カ利用ヲ制限シ又ハ廢止スルコトヲ得
- 第四條 漁具ヲ定置シ又ハ水面ヲ區劃シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ  
クヘシ其ノ免許スヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス
- 第五條 水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ  
前項ノ免許ハ漁業組合カ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願シタル場合ノ外之ヲ與ヘス
- 第六條 前二條ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ受ケシムル必要アリト認ムル漁業ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第七條 漁業權ハ物權ト看做シ土地ニ關スル規定ヲ準用ス





民法第二編第九章ノ規定ハ漁業權ニ之ヲ適用セス

第八條 漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ民法第三百七十條ノ準用ニ關シテハ漁業權ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ト看做ス

民法第三百七十條 抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外其目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及フ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキ及ヒ第四百二十四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此限ニ在ラス

同第四百二十四條 債權者ハ債務者カ其債權者ヲ害スルコトヲ知リテ爲シタル法律行爲ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但其行爲ニ因リテ利益ヲ受ケタル者又ハ轉得者カ其行爲又ハ轉得ノ當時債權者ヲ害スヘキ事實ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス  
前項ノ規定ハ財産權ヲ目的トセサル法律行爲ニハ之ヲ適用セス

第九條 裁判所ノ土地ノ管轄カ不動産所在地ニ依リテ定マル場合ニ於テハ漁場ニ最近キ沿岸ノ屬スル市町村又ハ之ニ相當スル行政區劃ヲ以テ不動産所在地ト看做ス

第十條 漁業權ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ス  
地先水面専用ノ漁業權ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第十一條 漁業權者ノ有スル水面使用ニ關スル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ

第十二條 入漁權者ハ設定行爲又ハ舊法施行前ノ慣行ニ從ヒ他人ノ専用漁業權ニ屬スル漁場内ニ入

會ヒ其ノ専用漁業權ノ全部又ハ一部ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス

第十三條 入漁權ハ物權ト看做ス

入漁權ハ相續及讓渡ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス

第十四條 入漁權ハ漁業權者ノ承諾アルニ非サレハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ別段ノ慣行アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ハ他ノ共有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分スルコトヲ得ズ

第十五條ノ二 漁業權又ハ入漁權ノ各共有者カ其ノ共有ニ屬スル漁業權又ハ入漁權ヲ變更セントスル場合ニ於テ他ノ共有者ノ住所又ハ居所分明ナラサルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ裁判所ノ許可ヲ以テ其ノ者ノ同意ニ代フルコトヲ得

第十六條 漁業權ノ存續期間ハ二十年以内ニ於テ行政官廳ノ定ムル所ニ依ル但シ第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セス  
前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第十七條 設定行爲ニ於テ存續期間ニ付別段ノ定ナキ入漁權ハ目的タル漁業權ノ存續中存續スルモノト看做ス但シ入漁權者ハ何時ニテモ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第十八條 入漁權者カ入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ漁業權者ハ其ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得





入漁權者カ引續キ二年以上入漁料ノ支拂ヲ怠リ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ漁業權者ハ入漁權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

四

第十九條 入漁料ハ入漁ヲ爲ササルトキハ之ヲ支拂フコトヲ要セス

第二十條 入漁權ニ關シ前三條ノ規定ニ異リタル慣行アルトキハ其ノ慣行ニ從フ

第二十一條 行政官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ從事スル者ナキトキ又ハ引續キ二年間休業シタルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十三條 行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業ヲ爲ササル期間及第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ前條ノ期間ニ之ヲ算入セス

第二十四條 水産動植物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行碇泊繫留、水底電線ノ敷設若ハ國防其ノ他ノ軍事上必要アルトキ又ハ公益上害アルトキハ主務大臣ハ免許シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

漁業權者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ漁業ヲ制限シ又ハ停止スルコトヲ得

第二十五條 錯誤ニ依リ漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ行政官廳ハ之ヲ取消スコトヲ得

第二十六條 免許漁業原簿ノ登録ハ登記ニ代ハルモノトス

登録ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 漁業免許ノ取消アリタルトキハ行政官廳ハ直ニ之ヲ登録シタル抵當權者及先取特權者ニ通知スヘシ

前項ノ權利者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第二十四條第一項又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

漁業權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ漁業免許ノ取消ハ其ノ效力ヲ生セサリシモノト看做ス

第二十八條 漁業權ハ登録シタル權利者ノ同意アルニ非サレハ之ヲ分割シ其ノ他變更シ又ハ拋棄スルコトヲ得ス

第十五條ノ二ノ規定ハ漁業權ヲ分割シ其ノ他變更セントスル場合ニ於テ登録シタル入漁權者ノ住所又ハ居所分明ナラサル場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 漁業者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用

五



シ又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ヲ制限スルコトヲ得

一 漁場ノ標識ノ建設

二 魚見若ハ漁業ニ關スル信號又ハ之ニ必要ナル設備

三 漁業ニ必要ナル目標ノ保存又ハ建設

第三十條 漁業者ハ必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ特別ノ用途ナキ他人ノ土地ニ立入り漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 漁業ニ關スル測量、實地調査又ハ前二條ノ目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り支障木竹ヲ伐採シ又ハ障礙物ヲ除去スルコトヲ得

第三十二條 前三條ノ行爲ヲ爲ス者ハ豫メ其ノ旨ヲ土地ノ所有者又ハ占有者ニ通知シ爲ニ生シタル損害ハ之ヲ賠償スヘシ

第三十三條 行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設又ハ漁具ノ標識ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲主務大臣ノ認可ヲ得テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一 水産動植物ノ採捕ニ關スル制限又ハ禁止

二 水産動植物若ハ其ノ製品ノ販賣又ハ所持ニ關スル制限若ハ禁止

三 漁具又ハ漁船ニ關スル制限若ハ禁止

四 漁業者ノ數又ハ資格ニ關スル制限

五 水産動植物ニ有害ナル物ノ遺棄又ハ漏泄ニ關スル制限又ハ禁止

六 水産動植物ノ蕃殖保護ニ必要ナル物ノ採取又ハ除去ニ關スル制限若ハ禁止

七 水産動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止

主務大臣ニ於テ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ命令ニハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品、漁具及第一項第七號ノ水産動植物ノ沒收竝犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ價額ノ追徴ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 汽船「トロール」漁業、母船式漁業、汽船捕鯨業又ハ機船底曳網漁業ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

前項ノ漁業ニ關スル制限又ハ禁止ハ主務大臣之ヲ定ム

第三十六條 爆發物ヲ使用シテ水産動植物ヲ採捕スルコトヲ得ス但シ海獸捕獲ノ爲ニスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ水面ノ一定區域内ニ於ケル工作物ノ設置ニ付制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得



工作物ニシテ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者又ハ占有者ニ除害工事を命スルコトヲ得

第三十八條 前條第二項ノ規定ニ依リ除害工事を命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ニ付權利ヲ有スル者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事を命シタルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ補償スヘシ

前項ノ補償金額ニ付不服アル者ハ補償金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十九條 公共ノ用ニ供セサル水面ニシテ公共ノ用ニ供スル水面又ハ第三條ノ水面ニ通スルモノニハ命令ヲ以テ第三十四條、第三十六條乃至第三十八條、第五十五條及第五十九條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第四十條 漁業ニ従事スル者ノ雇傭並雇人及遺族ノ扶助ニ關シテハ勅令ヲ以テ規程ヲ設クルコトヲ得

第四十一條 海軍艦艇乗組將校、警察官吏、港務官吏、税關官吏又ハ漁業監督吏員ハ漁業ヲ監督シ必要アリト認ムルトキハ船舶、店舗其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得  
前項ノ臨檢ニ際シ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス但シ同法第四條ノ規定ハ漁業監督吏員以外ノ者ニ之ヲ準用セス

第四十二條 一定ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合ヲ設クルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ市町村ノ區域又ハ市町村内ノ漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ町村ニ準スヘキモノヲ以テ前項ノ町村ト看做ス  
北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ノ地區ト爲スコトヲ得

第四十三條 漁業組合ハ法人トス  
漁業組合ハ漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業又ハ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス  
漁業組合ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ス  
組合員ハ漁業組合ノ取得シ若ハ貸付ヲ受ケタル專用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス但シ組合規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四十三條ノ二 漁業組合ハ左ノ事業ヲ行フコトヲ得  
一 水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他漁場ノ利用ニ關スル施設



- 二 船溜、船揚場、漁礁其ノ他組合員ノ漁業ニ必要ナル設備ノ設置
  - 三 組合員ノ漁獲物其ノ他ノ生産物ノ加工、保藏、運搬又ハ販賣ニ關スル施設
  - 四 組合員ノ漁業又ハ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル物又ハ資金ノ供給ニ關スル施設
  - 五 組合員ノ遭難防止又ハ遭難救恤ニ關スル施設
  - 六 前各號ニ掲クルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設
- 前項ニ掲クル組合ノ施設ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得
- 第四十三條ノ三 前條第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル漁業組合（漁業協同組合）ノ組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ
- 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ
- 出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第四十三條ノ四 漁業組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ經費ヲ組合員ニ分賦スルコトヲ得
- 第四十三條ノ五 第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合ノ組織ハ無限責任有限責任及保證責任ノ三種トス

- 無限責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ有限責任ノ組合ニ在リテハ組合員ノ全員ガ經費負擔額ノ外其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ保證責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額又ハ經費負擔額ノ外一定ノ金額（保證金額）ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス
- 第四十三條ノ六 無限責任又ハ保證責任ノ漁業組合ヨリ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ登記シタル後二年間前條第二項ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス
- 第四十三條ノ七 新ニ無限責任又ハ保證責任ノ漁業組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦第四十三條ノ五第二項ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス
- 第四十三條ノ八 漁業協同組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ得テ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得
- 第四十三條ノ九 漁業協同組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニシテ漁業者ニ非サルモノヲ組合員ト爲スコトヲ得
- 第四十三條第四項ノ規定ハ漁業者ニ非ザル組合員ニハ之ヲ適用セス
- 第四十三條ノ十 漁業組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合規約ニ違反シタル組合員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得



第四十四條 漁業組合聯合會ハ所屬ノ漁業組合及漁業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲行政官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ設立スルコトヲ得

漁業組合聯合會ハ法人トス

漁業組合聯合會ハ第四十三條ノ二第一項第三號若ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成ス

漁業組合聯合會ノ組織ハ有限責任及保證責任ノ二種トス

第四十三條第三項、第四十三條ノ二、第四十三條ノ三第二項乃至第四項、第四十三條ノ四、第四十三條ノ五第二項、第四十三條ノ六、第四十三條ノ七及前條ノ規定ハ漁業組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第四十三條ノ二中組合員トアルハ所屬ノ組合、聯合會及組合員トス

第四十五條 漁業組合及漁業組合聯合會ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セス

第四十六條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十七條 行政官廳ハ何時ニテモ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ事業ニ關スル報告ヲ徴シ、事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ決議若ハ役員ノ行爲ニシテ法令、行政官廳ノ命令若ハ規約ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ行政官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 決議ノ取消
- 二 役員ノ解職
- 三 解散又ハ事業ノ停止

第四十九條 本法ニ規定スルモノノ外漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立、登記、管理、構成者ノ權利義務及加入脱退、組織變更、分合、解散、清算其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十九條ノ二 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ役員何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ組合若ハ聯合會ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合若ハ聯合會ノ財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第五十條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ於テ本法中特ニ組合又ハ聯合會ニ關スル規定ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

本法ニ基キテ發スル組合又ハ聯合會ニ關スル命令ニ於テハ組合又ハ聯合會カ之ニ違反シタル場合



ニ於テ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得  
前二項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

非訟事件手續法第二百六條 民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法  
第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、及ヒ商法施行法第十一條第二項、

第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第  
三項、第八十八條及小切手法第七十一條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ  
地方裁判所ノ管轄トス

同 第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス  
手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其ノ言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他  
ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ  
當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

同 第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義  
ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ

爲スコトヲ要セス

(民事訴訟法第六編ハ強制執行ニ關スル規定ナリ)

第五十一條 漁業者又ハ水産動物ノ製造若ハ販賣ヲ業トスル者ハ水産業ノ改良發達及水産動物  
ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲水産組合ヲ設クルコトヲ得

第五十二條 水産組合成立シタルトキハ其ノ地區内ニ於テ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ  
有スル者ハ總テ其ノ組合ニ加入シタルモノト看做ス但シ主務大臣ニ於テ加入ノ義務ナシト認メタ  
ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 水産組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲水産組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

第五十四條 水産組合及水産組合聯合會ハ法人トシ重要物産同業組合法ヲ準用ス

第五十五條 漁業ノ免許若ハ許可ノ出願又ハ期間更新ノ申請ニ對スル許可ニ不服アル者及第三條第  
二項、第二十二條、第二十四條、第二十五條若ハ第三十七條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル  
者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十六條 漁場ノ區域、漁業權若ハ入漁權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ争アルトキハ  
關係者ヨリ行政官廳ニ之ニ關スル裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提  
起スルコトヲ得

第五十七條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ付前條ノ規定ニ依ル裁決又ハ判決ヲ待ツノ必要アル場合ニ於テ



ハ裁判所ハ其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

第五十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 免許ニ依ラス若ハ漁業ノ停止中第四條又ハ第六條ノ漁業ヲ爲シタル者

二 免許漁業ノ制限又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者

三 専用漁業ノ停止中其ノ漁場ニ於テ停止シタル漁業ヲ爲シタル者

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品及漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第五十九條 汽船「トロール」漁業又ハ母船式漁業ニ關シ第三十五條第一項ノ規定、同條第二項ノ

制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金、汽船捕鯨業又ハ機船底曳網漁業ニ關シ同條第

一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止又ハ第三十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰

金ニ處ス此ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品及漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第六十條 漁業權又ハ漁業組合員ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ侵害シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第六十一條 漁場又ハ漁具ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十二條 第四十一條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者及臨檢搜索ノ際當該吏員ノ

訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十三條 營業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ

適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關

シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第六十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準

用ス

明治三十三年法律第五十二號

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅〔及葉煙草專賣〕ニ

關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス但シ其ノ罰則ニ

於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス



第二條 「法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス」

第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス  
前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

附 則

第六十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 本法ハ臘虎及臘朧獸ノ漁獵ニ之ヲ適用セス

第六十八條 本法施行前ノ漁業ニ關スル出願ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第六十九條 舊法ニ依リ發生シタル漁業權ハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ定メタル效力ヲ有ス但シ其ノ存續期間ハ發生ノ時ヨリ起算ス

本法施行前ニ發生シタル入漁權ニ關シ亦前項ニ同シ

第七十條 本法施行前免許漁業原簿ニ登録シタル事項ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ登録スルコトヲ得ハキモノニ限り之ニ依リ登録シタルモノト看做ス

第七十一條 舊法施行前ノ契約又ハ慣行ニ依リテ入漁スルノ權利ハ專用漁業免許後一年間ニ限り登

録ナキモノヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十二條 本法施行前ニ爲シタル處分又ハ第六十八條ノ規定ニ依リ爲シタル處分ニ對スル裁決ノ申請、訴願又ハ行政訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第七十三條 舊法ニ依リ設ケタル漁業組合ハ本法施行後一年間ニ限り登記ナキモ其設立ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

附 則 (昭和八年法律第三十三號)

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法施行前ヨリ引續キ第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ限り其ノ組織ニ關シ第四十三條ノ五ノ規定ニ依ラス仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第三條 本法施行前ニ設立シタル漁業組合聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ限り其ノ構成者及組織ニ關シ第四十四條第三項及第四項ノ規定ニ依ルコトヲ得

前項ノ聯合會ニシテ前項ノ期間内ニ其ノ構成者及組織ニ關シ第四十四條第三項及第四項ノ規定ニ依ル聯合會ト爲ラサルモノハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ解散ス

第四條 印紙稅法第四條第一項第十一號中「産業組合聯合會」ノ下ニ「漁業組合 漁業組合聯合會」ヲ加フ



印紙税法第四條 左ニ掲クル證書帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ左ノ印紙税ヲ納ムヘシ

十一 産業組合聯合會、工業組合、工業組合聯合會、商業組合、商業組合聯合會、輸出組合又ハ輸出組合聯合會ノ發スル出資證券 三錢

漁業法中改正法律施行期日ノ件

(昭和九年七月二十五日 勅令第二百三十一號)

昭和八年法律第三十三號ハ昭和九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

漁業法施行規則

(明治四十三年十一月十二日 農商務省令第二十五號 大正十五年六月二十三日 農林省令第十四號改正)

第一章 總 則

第一條 漁業ニ關スル出願、申請及届出ハ漁場ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ爲スヘシ但シ左ノ各號ノ

ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

一 専用漁業ニ關スルトキ

二 入漁權ニ關スルトキ

三 二以上ノ地方長官ノ管轄ニ屬スル漁場ニ於ケル漁業ニ關スルトキ

四 漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ニ關スルトキ

前項第三號又ハ第四號ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ管轄地方長官ヲ指定スルコトヲ得農林大臣ノ處分ヲ爲シタルモノニ付亦同シ

第二條 農林大臣ニ出願、申請又ハ届出ヲ爲サムトスルトキハ漁場ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサルトキハ住所地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

第三條 漁業ニ關スル行政行爲ニ付テハ關係地方長官ハ交互ニ補助スルモノトス

第四條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ出願、申請又ハ届出ヲ爲シタル者、漁業權者、入漁權者其ノ他漁業ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シ書類ノ提出、訂正若ハ補充又ハ物件ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ行政官廳ハ其ノ事由及書類ノ要領ヲ公告スヘシ此ノ場合ニ於テハ公告ノ終リタル日ヨリ起算シテ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付アリタルモノト看做ス

第六條 本則ニ依リ行政官廳ノ爲スヘキ公告ハ慣行ノ公布式ニ依ルモノトス

第七條 漁業法第三條第二項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ニシテ同條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ水面又ハ敷地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ出願スヘシ



願書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

- 一 許可ヲ受ケムトスル事由書
- 二 占有者又ハ所有者タルコトヲ證スヘキ書面
- 三 許可ヲ受ケムトスル區域ノ圖面
- 四 漁業權ノ設定アルトキハ其ノ漁業權者及登録シタル權利者ノ同意書若シ其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由書

第八條 前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ地方長官ハ之ヲ公告シ若シ漁業權者其ノ他登録シタル權利者アルトキハ之ヲ通知スヘシ

第九條 地方長官ハ漁業法第三條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ許可シタル區域ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

## 第二章 漁業ノ免許

第十條 本則ニ於テ免許漁業ト稱スルハ定置漁業、區劃漁業、專用漁業及特別漁業ヲ謂フ

第十一條 本則ニ於テ定置漁業ト稱スルハ漁具ヲ定置シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、區劃漁業ト稱スルハ水面ヲ區劃シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、專用漁業ト稱スルハ他ノ免許漁業ニ該當セスシテ水面ヲ專用シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、特別漁業ト稱スルハ第十四條各號ニ掲クル漁業ヲ謂フ

第十二條 定置漁業ノ種類左ノ如シ

- 一 臺網類漁業 敷網及垣網又ハ敷網土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 二 落網類漁業 落網、上網及垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 三 枒網類漁業 側網及垣網ヲ碇、土俵若ハ支柱等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 四 建網類漁業 曲網及垣網又ハ刺網ヲ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 五 出網類漁業 垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 六 張網類漁業 囊網又ハ立廻網ヲ支柱若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ建設若ハ敷設スルモノ
- 七 魼築類漁業 一定ノ水面ニ支柱ヲ以テ簀若ハ網ヲ建設シ又ハ竹、木、石堤等ヲ建設シテ陷窵ノ装置若ハ魚堰ヲ設クルモノ

第十三條 區劃漁業ノ種類左ノ如シ

- 一 第一種 一定ノ區域内ニ於テ瓦、石、竹、木等ヲ沈設シ又ハ簀ヲ建設シテ爲ス養殖業
  - 二 第二種 土、石、竹、木等ノ圍障ニ依リ限界セラレタル一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業
  - 三 第三種 前二號ノ外一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業
- 第十四條 左ニ掲クル漁業ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

- 一 第一種 一定ノ網場又ハ捕獲場ヲ有スル鯨漁業
- 二 第二種 一定ノ追込場ヲ有スル海豚漁業
- 三 第三種 一定ノ曳揚場ヲ有スル地曳網、地漕網漁業



- 四 第四種 一定ノ曳寄場ヲ有スル船曳網漁業
- 五 第五種 一定ノ網場ヲ有スル囊待網漁業
- 六 第六種 一定ノ網場ヲ有スル敷網漁業
- 七 第七種 一定ノ水面ニ於テ飼付ヲ爲ス漁業
- 八 第八種 一定ノ水面ニ漬場ヲ設クル鱈漁業
- 九 第九種 一定ノ水面ニ築磯ヲ設クル漁業
- 第十五條 前三條ニ該當スル免許漁業ノ名稱ハ農林大臣別ニ之ヲ告示ス
- 第十六條 左ノ區域ヲ以テ免許漁業ノ漁場トス
  - 一 一定置漁業ニ在リテハ漁具ヲ建設シ又ハ敷設スル區域
  - 二 區劃漁業ニ在リテハ養殖ヲ爲ス區域
  - 三 専用漁業ニ在リテハ専用スル區域
  - 四 特別漁業中第一種ニ在リテハ網場又ハ捕獲場ノ區域、第二種ニ在リテハ追込場ノ區域、第三種及第四種ニ在リテハ網ノ使用區域、第五種及第六種ニ在リテハ網場ノ區域、第七種ニ在リテハ飼付ヲ爲ス區域、第八種ニ在リテハ漬場ノ區域、第九種ニ在リテハ築磯ノ區域

第十七條 水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ又ハ漁業ノ價值ナント認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與ヘス

漁業權者及登録シタル權利者ノ同意アル場合ヲ除クノ外既ニ免許ヲ與ヘタル漁業ト相容レスト認ムルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ漁業權ノ存續期間ヲ更新スル場合ニ之ヲ適用セス

第十八條 漁業ノ免許ハ市、町、村、町村組合及市町村内ノ獨立シタル區ニ之ヲ與ヘス但シ漁業權ノ存續期間ヲ更新スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ北海道、沖繩縣並沖繩縣及島嶼町村制ヲ施行シタル島嶼ノ區又ハ町村内ノ一部ニ之ヲ適用ス

第十九條 第十七條第一項及第二項ノ規定ハ漁業權變更ノ許可ノ出願ニ之ヲ準用ス

第二十條 從來ノ慣行ニ因ル専用漁業權者ハ其ノ漁業ノ種類ヲ増加シ又ハ漁場ノ區域ヲ擴張スル變更ノ許可ヲ出願スルコトヲ得ス

第二十一條 地勢上漁業組合毎ニ其ノ地先水面ヲ區分スルコト能ハサルトキ又ハ其ノ區分カ著シク困難ナルトキハ關係漁業組合ハ共同シテ其ノ地先水面ノ専用ヲ出願スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ専用漁業ニ在リテハ漁場毎ニ、其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ漁業ノ名稱及漁場毎ニ願書ニ通フ作り之ヲ出願スヘシ

願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 専用漁業ニ在リテハ漁具ノ種類又ハ漁業ノ方法、其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ漁業ノ種類及



名稱

- 二 漁獲物ノ種類
- 三 漁業時期
- 四 漁業權存續期間

第二十三條 前條ノ願書ニハ漁場ノ位置及區域ヲ記載シタル漁場圖ニ通テ添附スヘシ

前項ノ記載事項ノ外定置漁業ノ漁場圖ニハ漁具ノ建設又ハ敷設ノ形状ヲ、區劃漁業ノ漁場圖ニハ漁場ノ面積ヲ記載スヘシ

第二十四條 免許ヲ受ケムトスル漁場ノ敷地カ他人ノ所有ニ屬スルトキ又ハ水面カ他人ノ占有ニ係ルトキハ其ノ所有者又ハ占有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ漁業ノ免許ノ願書ニ添附スヘシ

第二十五條 二人以上共同シテ漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ之ヲ行政官廳ニ届出テ又ハ出願ノ書面ニ記載スヘシ

前項ノ規定ニ依リ代表者ノ届出又ハ記載ナキトキハ行政官廳ハ代表者ヲ指定スヘシ

第二十六條 代表者ハ共同者全員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

代表者ニ變更アリタルトキハ行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

代表者ノ變更ハ前項ノ届出ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ行政官廳ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十七條 前二條ノ規定ハ二人以上共同シテ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利若ハ入漁權ヲ取得シ

タル者ニ之ヲ準用ス

第二十八條 代表者ハ行政官廳ニ對シ共同者ヲ代表ス

第二十五條及第二十六條ノ規定ニ依リ代表者ハ免許ヲ受ケタル漁業權ニ付其ノ共同者ヲ代表スル者ト看做ス

第二十九條 漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ左ノ事項ヲ公告スヘシ

- 一 免許ノ番號
- 二 免許ノ年月日
- 三 漁業權者又ハ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所
- 四 漁場ノ位置
- 五 漁業ノ種類及名稱
- 六 漁獲物ノ種類
- 七 漁業時期
- 八 漁業權ノ存續期間
- 九 免許ニ條件又ハ制限ヲ附シタルトキハ其ノ事項

第三十條 漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ願書ニ通テ作リ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ若シ登録シタル權利者アルトキハ其ノ同意ヲ證スルノ書面ヲ、其ノ出



願カ漁業權ノ分割又ハ漁場區域ノ變更ニ係ルトキハ尙其ノ分割又ハ變更スル漁場ノ漁場圖ニ通ヲ添附スヘシ

第二十三條ノ規定ハ前項ノ漁場圖ニ之ヲ準用ス

第三十一條 漁業權存續期間更新ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ更新期間ヲ定メ申請書ニ通ヲ作り存續期間滿了ノ日ヨリ少クトモ三月前ニ之ヲ申請スヘシ

第二十四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ慣行ニ因リ免許ヲ受ケタル漁業權ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ヲ許可シタルトキ又ハ漁業權存續期間ノ更新ヲ免許シタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第三十三條 漁業ノ免許ヲ取消シ、免許シタル漁業ヲ制限若ハ停止シ又ハ其ノ處分ヲ變更若ハ取消シタルトキハ當該官廳ハ之ヲ公告シ且遲滞ナク登録シタル權利者ニ通知スヘシ但シ地方長官ノ免許シタル漁業ニ關シ農林大臣ノ爲シタル處分ノ通知ハ地方長官之ヲ爲スヘシ

第三十四條 漁業法第二十五條ノ規定ニ依リ地方長官漁業ノ免許ヲ取消サムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十五條 漁業法第十條第二項ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ漁業權者カ其ノ持分ノ處分ヲ爲ストキハ他ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ、拋棄ヲ爲ストキハ登録シタル權利者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三十六條 免許漁業ニ付休業ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ休業期間ヲ定メ其ノ事由ヲ具シ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ申請スヘシ

前項ノ認可ヲ受ケタル者漁業ヲ爲スニ至リタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ツヘシ  
休業認可ノ期間内漁業ヲ爲シタルトキハ爾後認可ノ效力ヲ失フ

第三十七條 漁業權ヲ拋棄シタルトキハ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ  
前項ノ届出ニハ登録シタル權利者アルトキハ其同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第一項ノ届出アリタルトキハ行政官廳ハ之ヲ公告スヘシ

第三章 土地ノ使用  
第三十八條 漁業法第二十九條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル願書ニ圖面ヲ添ヘ行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ

一 土地ノ使用ニ付テハ其ノ所在、地番、種目及面積、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ目的時期及期間

二 立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付テハ其ノ種類、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ目的及期間



第三十九條 前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ行政官廳ハ所有者及占有者ニ之ヲ通知シ且公告スヘシ  
第四十條 漁業權者ニ對シテ爲シタル漁業法第二十九條乃至第三十一條ノ許可ハ其ノ承繼人及其ノ  
漁業權ニ依リ漁業ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ爲メニモ效力ヲ有ス

第四十一條 漁業法第三十條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ土地ノ所在、地番、種目、面積及現況、  
所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ時期及期間ヲ記載シタル願書ニ圖面ヲ添ヘ行政官  
廳ニ之ヲ出願スヘシ

第四十二條 第三十八條及第四十一條ノ行政官廳ハ土地又ハ立木竹若ハ土石ノ所在地ヲ管轄スル地  
方長官トス但シ土地又ハ立木竹若ハ土石ノ所在地ト漁場トヲ管轄スル地方長官異ナルトキ又ハ漁  
場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ノ爲ナルトキハ之ヲ農林大臣トス  
前項但書ノ場合ニ於テハ農林大臣ハ管轄地方長官ヲ指定スルコトヲ得

第四十三條 漁業法第三十一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ土地又ハ支障木竹若ハ障礙物ノ所在地  
ヲ管轄スル警察官署ニ之ヲ出願スヘシ

第四十四條 漁業法第三十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ支障木竹ヲ伐採シ若ハ障害物  
ヲ除去セムトスル者ハ當該官廳ノ許可證ヲ携帯スヘシ

第四章 蕃殖保護及漁業取締

第四十五條 漁業法第三十四條ニ依リ命令ハ官廳又ハ公署ニ於テ調査又ハ試験ヲ爲ス場合ニ之ヲ適

用セス養殖、學術、研究其ノ他特別ノ理由ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合亦同シ

第四十六條 水産動植物ヲ疲憊又ハ斃死セシムヘキ有毒物ヲ使用シテ水産動植物ヲ採捕スルコトヲ  
得ス

第四十七條 漁業法第三十六條又ハ前條ノ規定ヲ犯シ採捕シタル水産動植物ハ之ヲ所持又ハ販賣ス  
ルコトヲ得ス

第四十八條 遡河魚類ノ通路ヲ遮斷シテ漁業ヲ爲ストキハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ魚道ヲ開通ス  
ヘシ

第四十九條 行政官廳ハ漁業取締ノ爲定置漁業及特別漁業ニ付命令ヲ以テ保護區域ヲ設クルコトヲ  
得

保護區域ヲ設クルトキハ其ノ漁業ノ妨害ト爲ルヘキ漁業ノ制限若ハ禁止ニ付規定ヲ設クヘシ

第五十條 左ニ掲クル漁業ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一 藻手繰網漁業

二 藻漕網漁業

三 藻打瀬網漁業

四 藻曳網漁業

五 潜水器漁業



六 空釣繩漁業

前項ノ漁業ノ地方名稱ハ地方長官之ヲ公示スヘシ

地方長官第一項ノ漁業ヲ許可シタルトキハ鑑札ヲ下付スヘシ

第五十一條 前條ノ漁業者漁業ヲ爲ストキハ鑑札ヲ携帯スヘシ

第五十二條 地方長官禁漁區ヲ設ケタルトキハ適當ノ場所ニ其ノ標識ヲ建設スヘシ

第五十三條 漁場標識ヲ建設シタルトキハ其ノ漁場標識タルコトヲ明示スヘシ

第五十四條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

間接國稅犯則者處分法施行規則第二條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ所

有者、所持者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルトキハ之ニ封印ヲ爲シ若ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ差

押ヲ明白ニスヘシ

同 第三條 差押目錄ニハ物件ノ品名、數量、帳簿、書類ノ名稱、箇數、差押ノ場所及時、所持

者ノ住所又ハ居所、氏名ヲ記載スヘシ

同 第四條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ之ヲ官廳又ハ市町村ニ送致ス

ルトキハ差押目錄ノ謄本ヲ其ノ所持者ニ交付スヘシ

同 第五條 收稅官吏市町村ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルトキハ其ノ旨ヲ差押當時ノ所持

者ニ通知スヘシ

同 第八條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキ調製スル顛末書ニハ臨檢、搜索、

尋問又ハ差押ノ事實、場所及時並供述ノ要領ヲ記載スヘシ

同 第十二條 犯則事件ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入、削除又ハ欄

外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ

文字ヲ削除スルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ

第五章 裁 決

第五十五條 漁業法第五十六條第一項ノ裁決ヲ申請セムトスルトキハ漁業權ニ關シテハ漁業ノ免許

ヲ與ヘタル行政官廳ニ、入漁權ニ關シテハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ但シ關係者ニ免許ヲ與ヘタル

行政官廳異ナルトキ又ハ漁業權者、入漁權者間ノ爭ニ關スルトキハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

第五十六條 裁決ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 申請者及相手方ノ氏名若ハ名稱及住所

二 申請ノ目的及理由

三 立證

申請書ニハ證據書類ヲ添附スヘシ

第五十七條 申請書ニハ相手方ノ數ニ應シ前條書類ノ副本ヲ添附スヘシ



第五十八條 行政官廳ニ於テ裁決ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ相當ノ期限ヲ指定シテ答辯書ヲ差出サシムヘシ

第五十九條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附スヘシ裁決ノ申請ヲ却下スルトキ亦同シ

第六章 罰 則

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四十六條又ハ第四十七條ノ規定ヲ犯シタル者

二 禁漁區内ニ於テ其ノ禁止シタル水産動物ヲ採捕シタル者

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四十八條又ハ第五十條第一項ノ規定ヲ犯シタル者

二 禁漁區又ハ第九條ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者

第六十二條 第五十一條ノ規定ヲ犯シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ郡長又ハ島司ニ對シ爲シタル出願ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看

做ス



漁 業 手 數 料 令

明治四十三年十一月十二日  
勅令第四百三十一號  
昭和二年十二月五日  
勅令第三百四十七號改正

第一條 漁業ニ關シ左ニ掲クル出願又ハ申請ヲ爲ス者ハ手數料トシテ下ニ定ムル金額ヲ納ムヘシ

一 漁業法第四條又ハ第六條ニ依ル漁業ノ免許願 每一件金六圓

二 漁業法第五條ニ依ル漁業ノ免許願 每一件金十圓

三 專用漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可願 每一件金四圓

四 專用漁業權以外ノ漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可願 每一件金二圓五十錢

五 地先水面專用ノ漁業權ノ處分ノ認可申請 每一件金二圓

六 專用漁業權ノ存續期間ノ更新申請 每一件金六圓

七 專用漁業權以外ノ漁業權ノ存續期間ノ更新申請 每一件金三圓五十錢

八 免許漁業ノ休業ノ認可申請 每一件金一圓

九 漁業法第五十六條ニ依ル裁決ノ申請 每一件金五圓

十 免許漁業原簿ノ閱覽ノ申請 每一件金十錢



十一 免許漁業原簿ノ謄本又ハ抄本下附ノ申請

免許漁業原簿ノ謄本

每一件金一圓

漁場圖ヲ除キタル免許漁業原簿ノ全部ノ抄本

每一件金五十錢

漁場圖ヲ除キタル免許漁業原簿ノ一部ノ抄本

每一件金三十錢

漁場圖ノ謄本

每一件金五十錢

第二條 手数料ハ收入印紙ヲ願書又ハ申請書ニ貼付シテ之ヲ納ムヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ出願又ハ申請ノ手数料ニ關シテハ仍從前ノ金額ニ依ル

漁業ニ關スル願書申請書ニ貼附ノ收入印紙消印ノ件

明治三十五年十月二十七日  
農商務省令第二十號  
明治四十四年十一月  
農商務省令第三號改正

漁業ニ關スル出願又ハ申請ニ付手数料ヲ納ムル者ハ願書又ハ申請書ニ其ノ貼付シタル收入印紙ノ額ヲ記入スヘシ

當該官廳ハ前項貼附ノ印紙ノ手数料金額ニ相當ナルヲ確認シタル後書類ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニ掛

ケ黒肉ヲ用キテ消印ヲ押捺スヘキモノトス但シ納付者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スハ妨ケナシ

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

明治四十四年三月八日  
農商務省告示第四百十八號  
大正六年十二月  
農商務省告示第三百四十五號改正

明治四十三年農商務省令第二十五號漁業法施行規則第十二條、第十三條及第十四條ニ該當スル漁業ノ名稱左ノ如シ

定置漁業

一 臺網類漁業

鯨大敷網

鰺大敷網

鰺臺網一名麻苧臺網

鮪大敷網一名鮪臺網

鰹大敷網

鰹大敷網一名鰹臺網（京都府下及兵庫縣

下ノ越中網ヲ含ム）

鰺藁臺網

柔魚大敷網

前八種以外ノ大敷網（臺網ヲ含ム）

根拵網

小臺網一名三艘張根拵網（小臺網ハ神奈

川縣下ノ名稱ニシテ改良三艘張網ヲ含ム

三艘張根拵網ハ静岡縣下ノ名稱）

小敷網

待網一名額網（鹿兒島縣下川邊郡地方ノ



名稱)

大越網

小越網

取大敷網

鱒大敷網

四艘張網(神奈川縣下及静岡縣下ノ名稱

ニシテ神奈川縣下ノ三艘張網ヲ含ム)

二艘張網(静岡縣下ノ名稱)

鯉張揚網

鮪大謀網一名鮪大網(秋鮪建網及夏鮪建

網ヲ含ム)

鯿大謀網

鮭大謀網

前三種以外ノ大謀網(和歌山縣下及三重

縣下ノ八角網ヲ含ム)

筒伏網一名鱸建網

鱸建網

鯿角網一名鯿建網

鮭角網別名鮭建網、鮭起網

鱒角網一名鱒建網

鯿角網一名鯿建網

鮪角網一名鮪建網

鮪角網一名鮪建網

玉筋魚角網一名玉筋魚建網

鯿角網一名鯿建網

柔魚角網一名柔魚建網

前十種以外ノ角網

鯿行成網一名鯿建網

鮭行成網一名鮭建網

鱒行成網一名鱒建網

鯿行成網一名鯿建網

鱸行成網一名鱸建網

鯿行成網

玉筋魚行成網一名玉筋魚建網

柔魚行成網一名柔魚建網

前八種以外ノ行成網

鮭金折網

による網(愛媛縣下及高知縣下ノ名稱)

鱸網<sup>ア</sup>戸網

鯿網<sup>シ</sup>戸網

鯿縮網

鯿縮網

柔魚縮網

前三種以外ノ縮網

鱒守網

鱸網(石川縣下ノ名稱)

河豚てんこ網

天主張網

底入枅建網(大分縣下ニ於テ張網ト稱ス)

二 落網類漁業

鯿瓢網一名鯿小臺網

鱒瓢網

鮪瓢網

鯿瓢網

鯿瓢網

鯿瓢網

鯿瓢網

柔魚瓢網

前八種以外ノ瓢網別名猪口網

小臺網、もつたれ網(新潟縣下ノ小敷網

ヲ含ム)

鱒落網(鳥取縣下ニテ鱒釜ト稱ス)

柔魚落網



前二種以外ノ落網（京都府下ノ落網附締網及福井縣下ノ地獄網ヲ含ム）

銚器械網

銚傘網

三 杵網類漁業

鯛杵網

鯖杵網

鱈杵網

鮎杵網

鮎鮎杵網

前五種以外ノ杵網

沖建網（福岡縣下及大分縣下ノ名稱）

角建網（愛知縣下ノ名稱）

あしこ建網

壺網一名底囊網

張網（兵庫縣下ノ名稱ニシテ三重縣下ノ

モンドリ  
辰網ヲ含ム）

四 建網類漁業

烏賊曲網

鱈曲網

鱈曲網

前三種以外ノ曲網

鮎建網

飯建網（京都府下ノ飯張網ヲ含ム）

いさき建網

鱈建網

にべ建網

鯉建網

めぢか建網一名小前網

鮎建網

前九種以外ノ建網

鮎建網（竿ヲ張リタル刺網）

六 張網類漁業

鱈沖建網

魚來籠網

鮎瓢網

樗木張網一名樗木漁（長崎縣下ノばつし

や網ヲ含ム）

囊網一名越中網

無雙網一名劍先網

立囊網

伏網

胴網

長囊網

鮎股引網

張網（滋賀縣下ノ名稱）

白魚間手網

鮎鮎建干網

五 出網類漁業

鮎鮎出網

網代網

建切捕網（三重縣下及宮崎縣下ノ小鯉網

ヲ含ム）

張切地曳網（鹿兒島縣下大島地方ノ待網

ヲ含ム）

張切網

鮎鮎大網（静岡縣下ノ名稱）

立網

鮎折網

鮎出網（福井縣下ノ鮎網ヲ含ム）



建干網（熊本縣下ノ建網ヲ含ム）

七 魴築類漁業

魴別名簀建、簀圍、簀卷、ぐれ、八陣、

簀網

網魴（秋田縣下ノ毛繩ヲ含ム）

水晶形器械網

囊羽瀨

簀卷羽瀨

釜羽瀨

八重簀

八重床

海鯽簀

八重簀

笹干見

石干見一名すくひ（沖繩縣下ノかきヲ含ム）

簀建持網（秋田縣下ノもつば及もつばか

ヲ含ム）

張切網

網代漁（千葉縣下及茨城縣下ノ名稱）

築（静岡縣下ノ落簀、神奈川縣下ノ繩筵

長野縣下ノ半瀨メ切築及新潟縣下ノ打切

築ヲ含ム）

かつとり築

網築（福井縣下ノ天ノ網ヲ含ム）

鯿築

白魚築

網戸漁（大分縣下ノ名稱）

鮭瀨張網

鮭瀨張網（廣島縣下ノ切川、岡山縣下ノ

もんどり、東京府下及神奈川縣下ノしら

ヲ含ム）

鮭瀨留（茨城縣下ノ網留及竹留ヲ含ム）

鮭留地曳網

鮭瀨堰罩

瀨堰

瀨張堰（福井縣下ノ張網及長野縣下ノ瀨

全瀨メ切築ヲ含ム）

張待網（島根網下ノ柴手網ヲ含ム）

えらす待網（大阪府下ノ名稱）

堰四手網（新潟縣下ノ持網及德島縣下ノ

氷魚堰ヲ含ム）

魚堰（埼玉縣下ノ簀圍、德島縣下ノ漁魚

堰、宮崎縣下ノ待堰、新潟縣下ノ待網、

宮城縣下ノ岩手縣下及福島縣下ノ簀留、秋

田縣下ノ川留、石川縣下ノかわぎす網、

山口縣下ノ網堰、簀堰、柴堰ヲ含ム）

鮎鞘掛

堰釜（大阪府下ノ竹もんどり、愛媛縣下

ノうゑ、廣島縣下ノ筍、島根縣下及大分

縣下ノ釜、石川縣下ノもじ、山口縣下ノ

もじ堰、静岡縣下ノもじり、鳥取縣下ノ

下リ釜、群馬縣下ノ鮭瀨張筒、奈良縣

下ノもんどり一名さがりヲ含ム）

鮎筧

樋落

いさざ落

鱒淀

石籠

區劃漁業

一 第一種漁業

海苔筧建養殖業

青苔筧建養殖業

牡蠣筧建養殖業



ちめき浜建養殖業

牡蠣養殖業

真珠介養殖業

藻類養殖業

二 第二種漁業

魚類養殖業

魚竈類養殖業

蝦類養殖業

三 第三種漁業

介類養殖業

特別漁業

一 第一種漁業

鯨漁業

二 第二種漁業

海豚漁業

三 第三種漁業

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

めぢか地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鰯地曳網

鯛車曳網一名高網地曳網

藏場地曳網

前十五種以外ノ地曳網

鮪待建網

灘網一名小鰹待建網

鯛地漕網一名地葛網

四 第四種漁業

鰯船曳網一名鰯掛曳網

鯛船曳網

鰯船曳網

鰯船曳網

鰯船曳網

鰯船曳網

前六種以外ノ船曳網

鰯瀬曳網

鰯中曳網

鰯中曳網

鯛船曳葛網

五 第五種漁業

鰯追込網一名ふかせ網(高知縣下ニ於テ鰯縛網ト稱ス)

鰯待網

鰯待網

受網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網

鰯待網



八艘張網

鯛葛網

鯨鯖八田網

鯨八田網

鯨持網（熊本縣下ノ名稱）

ゑいと網一名四張網

鯨落網

鯨起網（青森縣下ノ鯨立網ヲ含ム）

七 第七種漁業

鯨飼付

鯛飼付

鯨飼付

鯨飼付

八 第八種漁業

鯨漬

九 第九種漁業

築瀬一名松葉礁

こしようたひ築磯一名たもり磯埋

### 機船底曳網漁業取締規則

昭和九年七月二十五日  
農林省令第二十號  
昭和十二年九月十八日  
農林省令第四十一號改正

第一條 機船底曳網漁業トハ汽船「トロール」漁業及農林大臣ノ指定スル漁業ヲ除クノ外螺旋推進器ヲ備フル船舶ニ依リ手繰網、打瀬網其ノ他ノ底曳網ヲ使用シテ爲ス漁業ヲ謂フ  
前項ノ規定ニ依リ指定シタル漁業ノ名稱ハ之ヲ告示ス

第二條 機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ船舶毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一 漁業名稱（一艘曳機船底曳網漁業又ハ二艘機船底曳網漁業ノ別）

二 漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ主タル漁業根據地及従タル漁業根據地ニ區別シテ記載スベシ）

三 操業區域

四 船名

五 船舶總噸數

六 機關ノ種類及馬力

七 主タル漁獲物ノ種類

二人以上共同シテ許可ヲ受ケントスルトキハ内一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名又ハ名稱ヲ申請書ニ記載スベシ

許可申請者（二人以上共同シテ許可ヲ受ケントスル場合ニ於テハ代表者）漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ニ住所ヲ有セザルトキハ其ノ漁業根據地ニ本則ニ依リ行政官廳ヨリ書類ノ送付ヲ受クベキ場所（以下書類送付先ト稱ス）ヲ定メ之ヲ申請書ニ記載スベシ



第一項ノ申請書ニハ漁船検査證書寫及船舶原簿謄本又ハ船鑑札臺帳謄本（漁船検査證書又ハ船鑑札ヲ受有スルコトヲ要セザル船舶ニ在リテハ之ニ準ズベキ書類）ヲ添附スベシ  
前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三條 建造前又ハ建造中ノ船舶ニ付機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ船舶毎ニ豫メ起業ノ認可ヲ申請スベシ船舶ヲ讓受ケ若ハ借受ケ又ハ貸付シタル船舶ノ返還ヲ受ケ機船底曳網漁業ヲ營マントスル者其ノ讓受若ハ借受前又ハ返還ヲ受クル前機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケントスルトキ亦同ジ

前項ノ認可申請書ニハ前條第一項各號ニ掲グル事項ヲ記載シ様式第一號ニ依ル船舶件名書ヲ添付スベシ

前條第二項、第三項及第五項ノ規定ハ第一項ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ認可ヲ受ケタル者認可ヲ受ケタル日ヨリ六月以内又ハ農林大臣ノ指定シタル期間内ニ前條第一項乃至第四項ノ規定ニ依ル書類ヲ提出セザルトキハ第一項ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ農林大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認メ其ノ期間ノ延長ヲ認可シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 農林大臣機船底曳網漁業ノ許可ヲ爲シタルトキハ様式第二號ニ依ル許可證ヲ交付ス許可證ハ之ヲ船舶内ニ保持スベシ

第五條 機船底曳網漁業者ハ許可ヲ受ケタル船舶ノ船首兩側及艙部ニ様式第三號ニ依リ許可番號ヲ

表記スベシ

第六條 機船底曳網漁業者ハ其ノ使用スル底曳網ノ浮子綱ノ兩端ニ様式第四號ニ依ル金屬製ノ管ヲ貫通結著スベシ

第七條 機船底曳網漁業ノ許可ノ期間ハ五年以内トス

第八條 機船底曳網漁業ハ農林大臣ノ告示シタル禁止区域内ニ於テハ之ヲ營ムコトヲ得ズ

第九條 機船底曳網漁業ハ前條ノ禁止區域ノ外農林大臣ニ於テ期間ヲ指定シテ機船底曳網漁業ヲ禁止シタル區域内ニ於テハ當該期間中之ヲ營ムコトヲ得ズ  
前項ノ區域及期間ハ之ヲ告示ス

第十條 機船底曳網漁業ハ東經百三十度以東北緯四十六度以南ノ海面ニ於テハ日暮ヨリ夜明迄之ヲ營ムコトヲ得ズ但シ特ニ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 機船底曳網漁業ハ許可ヲ受ケタル漁業名稱、操業區域其ノ他許可證ニ記載シタル條件若ハ制限又ハ第二十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止ノ處分ニ違反シテ之ヲ營ムコトヲ得ズ

第十二條 機船度曳網漁業者ハ農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ船舶總噸數又ハ機關ノ馬力ヲ増加スルコトヲ得ズ

第十三條 機船底曳網漁業者ハ許可證ニ記載シタル漁業根據地ニ非ザレバ漁獲物ヲ陸揚シ若ハ他ノ船舶ニ轉載シ又ハ食料、燃料其ノ他操業上必要ナル物品ノ積込ヲ爲スコトヲ得ズ但シ天災其ノ他



已ムコトヲ得ザル事由アルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ農林大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 機船底曳網漁業者漁業名稱、漁業根據地若ハ操業區域ノ變更又ハ船舶總噸數若ハ機關ノ馬力ノ増加ニ付許可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第二條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ漁業根據地ノ變更ニ付許可ノ申請書ヲ提出スル場合ニ之ヲ準用ス

農林大臣第一項ノ許可ヲ爲シタル場合ニ於テハ許可證ヲ書換ヘ交付ス但シ漁船検査證書又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ニ付船舶總噸數増加ノ許可ヲ爲シタル場合ニ於テハ第四項ノ申請アリタル後之ヲ書換ヘ交付ス

漁船検査證書又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ニ付船舶總噸數増加ノ許可ヲ受ケタル機船底曳網漁業者ハ其ノ船舶總噸數増加ニ關スル工事完了後遲滞ナク農林大臣ニ漁船検査證書寫及船舶原簿謄本又ハ船鑑札臺帳謄本ヲ提出シテ許可證ノ書換ヲ申請スベシ

第十五條 左ニ掲グル場合ニ於テハ機船底曳網漁業者ハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

- 一 機船底曳網漁業者其ノ氏名若ハ名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ
- 二 船名ニ變更アリタルトキ
- 三 船舶總噸數ニ減少アリタルトキ

四 機關ノ種類ニ變更アリタルトキ

五 機關ノ馬力ニ減少アリタルトキ

六 主タル漁獲物ノ種類ヲ變更シタルトキ

七 第二條第二項ノ代表者ニ變更アリタルトキ

八 書類送付先ヲ變更シタルトキ

前項第一號乃至第三號、第五號又ハ第七號ノ届出アリタルトキハ農林大臣ハ許可證ヲ書換ヘ交付ス

機船底曳網漁業者其ノ住所ヲ變更シタルニ因リ漁業根據地（漁業根據地二以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ニ住所ヲ有セザルニ至リタルトキハ其ノ漁業根據地ニ書類送付先ヲ定メ第一項第一號ノ住所變更ノ届書ニ之ヲ記載スベシ

第十六條 機船底曳網漁業者許可證ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ許可證ノ再交付ヲ申請スベシ

第十七條 機船底曳網漁業者ハ船長ヲ定メ其ノ氏名及住所ヲ漁業根據地（漁業根據地二以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ但シ漁業者自ラ船長ト爲ル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

船長ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ氏名若ハ住所ニ變更アリタルトキ亦前項ニ同ジ



第十八條 左ノ場合ニ於テハ機船底曳網漁業ノ許可ハ其ノ効力ヲ失フ但シ第一號ノ場合ニ於テ其ノ相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ガ引續キ其ノ漁業ヲ營ムトキハ被相續人又ハ合併ニ因リテ解散シタル法人ニ對シテ爲シタル機船底曳網漁業ノ許可ハ爾後相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス

- 一 機船底曳網漁業者死亡シ又ハ解散シタルトキ
- 二 許可ヲ受ケタル船舶ニ付機船底曳網漁業ヲ廢止シタルトキ
- 三 許可ヲ受ケタル船舶滅失シ、沈没シ、解散シ又ハ國籍ヲ喪失シタルトキ
- 四 船舶ヲ讓渡シ、之ヲ貸付シ、借受ケタル船舶ヲ返還シ其ノ他許可ヲ受ケタル船舶ヲ使用スル權利ヲ失ヒタルトキ

前項但書ノ場合ニ於テハ相續又ハ合併アリタルコトヲ證スル書面ヲ添ヘ死亡又ハ解散ノ日ヨリ三十日以内ニ許可證ノ書換ヲ申請スベシ

第十九條 前條ノ規定ハ起業ノ認可ニ付之ヲ準用ス

第二十條 機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタル後一年以内ニ其ノ漁業ニ著手セズ又ハ引續キ二年以上之ヲ營マザルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第二十一條 水産動植物ノ蕃殖保護、漁業取締其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ農林大臣ハ機船底曳網漁業ヲ停止シ又ハ其ノ許可若ハ起業ノ認可ヲ制限シ若ハ取消スコトアルベシ

機船底曳網漁業者本則又ハ本則ニ基ク處分ニ違反シタルトキ亦前項ニ同ジ

前項ノ規定ニ依ル處分ハ當該機船底曳網漁業者ノ有スル全部ノ許可ニ付之ヲ爲スコトアルベシ

前二項ノ場合ニ於テハ當該機船底曳網漁業者ノ有スル起業ノ認可モ亦之ヲ取消スコトアルベシ

第二十二條 機船底曳網漁業ノ許可ノ効力消滅シタルトキハ直ニ許可證ヲ返納シ且第五條ノ規定ニ依リ表記シタル許可番號ヲ抹消スベシ但シ許可證ヲ返納スルコト能ハザルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ届出ツベシ

第十八條第一項第一號ノ場合ニ於テハ相續人、合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人又ハ清算人ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スベシ

第二十三條 農林大臣漁業取締其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業者ニ對シ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ機船底曳網漁船ノ碇泊ヲ命ジ又ハ機船底曳網漁船ノ検査ヲ爲スコトアルベシ

第二十四條 地方長官其ノ管轄区域内ニ在ル機船底曳網漁船ニ付機船底曳網漁業者本則又ハ本則ニ基ク處分ニ違反シタル事實アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業者ニ對シ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ機船底曳網漁船ノ碇泊ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ碇泊期間ハ六十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

地方長官前項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ事由ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告ス



ベシ

第二十五條 農林大臣又ハ漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ヲ管轄スル地方長官漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業者ニ對シ船長又ハ乗組員ノ下船又ハ乗船ノ禁止ヲ命ズルコトヲ得

第二十五條ノ二 農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケズシテ機船底曳網漁業ノ操業ニ使用セラレタル事實アリト認ムル漁船ノ碇泊ヲ命ズルコトヲ得前項ノ碇泊命令ハ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ前項ノ漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ之ヲ爲ス但シ碇泊期間ハ地方長官ノ爲ス碇泊命令ニ在リテハ六十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十四條第二項ノ規定ハ地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條ノ三 農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケズシテ機船底曳網漁業ノ操業ニ使用セラルルモノト認ムル漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ期限ヲ指定シ專ラ機船底曳網漁業ノ操業ノ用ニ供スルモノト認ムル漁具捲揚装置其ノ他ノ設備ノ撤去其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 漁業法第四十一條ノ規定ニ依リ漁業監督ノ權限ヲ有スル者左ニ掲グル信號ヲ爲シタルトキハ機船底曳網漁船ハ直ニ停船スベシ

一 晝間ニ在リテハ様式第五號ニ依ル停船信號ヲ掲ゲ且約一秒時ノ間隙ヲ以テ汽角、汽笛其ノ他ノ音響器ニ依リ長聲一發短聲四發ヲ連發ス

二 夜間ニ在リテハ約一秒時ノ間隙ヲ以テ閃光ニ依リ長光一閃短光四閃ヲ連閃シ且前號ト同様ノ音響信號ヲ爲ス

前項ニ於テ長聲又ハ長光トハ約四秒乃至六秒時ノ發聲又ハ閃光ヲ謂ヒ短聲又ハ短光トハ約一秒時ノ發聲又ハ閃光ヲ謂フ

第二十七條 機船底曳網漁船ノ船長、船長ノ職務ヲ執ル者又ハ操業ノ指揮ヲ爲ス者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三月以下ノ徵役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 許可ヲ受ケタル漁業名稱、操業區域其ノ他許可證ニ記載シタル條件又ハ制限ニ違反シテ操業シタルトキ

二 第八條、第九條第一項又ハ第十條ノ規定ニ違反シテ操業シタルトキ

三 第十三條ノ規定ニ違反シテ漁獲物ヲ陸揚シ若ハ他ノ船舶ニ轉載シ又ハ食料、燃料其ノ他操業上必要ナル物品ノ積込ヲ爲シタルトキ

四 第二十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止ノ處分又ハ第二十三條若ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依ル碇泊命令ニ違反シテ操業シタルトキ

第二十八條 機船底曳網漁業者漁業法第三十五條第一項ノ規定ニ違反シ同法第六十四條ノ規定ニ依



リ同法第五十九條ノ規定ノ適用ヲ受クル場合ニ於テ違反行爲ヲ爲シタル當該機船底曳網漁船ノ船長、船長ノ職務ヲ執ル者又ハ操業ノ指揮ヲ爲ス者ハ三月以下ノ徵役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 機船底曳網漁業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條、第六條又ハ第十四條第四項ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第二十三條又ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依ル碇泊命令ニ從ハザルトキ

三 第二十三條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

第三十條 機船底曳網漁船ノ船長、船長ノ職務ヲ執ル者又ハ操業ノ指揮ヲ爲ス者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條ノ規定ニ依リ表記シタル許可番號ヲ隠蔽シ又ハ抹消シタルトキ

二 海上衝突豫防法第九條第一項第四號又ハ第五號ニ規定シタル燈火ヲ掲ゲザルトキ

三 第二十三條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

四 第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキ

第三十一條 第四條第二項、第十五條第一項、第十六條、第十七條、第十八條第二項、第十九條ノ規定ニ依リ準用セラルル第十八條第二項又ハ第二十二條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス機船底曳網漁業者第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザルトキ亦同ジ  
第三十一條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ徵役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十五條ノ二第一項ノ規定ニ依ル碇泊命令ニ從ハザル者

二 第二十五條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザル者

第三十二條 水産物ノ取引ヲ業トスル者漁業法第三十五條第一項ノ規定ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ營ミタル者ノ漁獲物ヲ情ヲ知りテ販賣シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ

附則

第一條 本令ハ昭和八年法律第三十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 大正十年農商務省令第三十一號機船底曳網漁業取締規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ舊規則ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本令施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

第三條 本令施行前舊規則ニ依リ爲シタル許可、認可其ノ他ノ處分ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四條 本令施行前舊規則ニ依リ交付シタル許可證ハ本令ニ依リ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第五條 附則第三條ノ規定ニ依リ機船底曳網漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ヲ受ケタルモノト看做サレタル者漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ニ住所ヲ有セザルト



キハ本令施行ノ日ヨリ三月以内ニ其ノ漁業根據地ニ書類送付先ヲ定メ之ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ  
 前項ノ規定ニ違反シタル機船底曳網漁業者ハ科料ニ處ス  
 第六條 舊規則第七條ノ規定ニ依リ告示シタル禁止區域ハ本則第八條ノ規定ニ依リ之ヲ告示シタル  
 モノト看做ス

第七條 舊規則第七條ノ二第一項ノ規定ニ依リ機船底曳網漁業ヲ禁止シタル區域及期間ハ本則第九  
 條第一項ノ規定ニ依リ同漁業ヲ禁止シタル區域及期間ト看做ス舊規則第七條ノ二第二項ノ規定ニ  
 依リ爲シタル告示ハ之ヲ本則第九條第二項ノ規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第八條 附則第三條ノ規定ニ依リ機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタルモノト看做サレタル者本令施行  
 前舊規則又ハ舊規則ニ基ク處分ニ違反シタルトキハ第二十一條第二項乃至第四項及第二十四條ノ  
 規定ノ適用ニ付テハ當該機船底曳網漁業者ハ本則又ハ本則ニ基ク處分ニ違反シタルモノト看做ス  
 第九條 本令施行前舊規則ニ依リ爲シタル出願、申請又ハ届出ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看  
 做ス

様式

第一號

船舶件名書(計畫又ハ現在)

一 船籍港

二 船種及船名

三 船舶番號又ハ船鑑札番號

四 船體ノ長サ、幅及深サ

五 總噸數

六 機關ノ種類及馬力

七 竣工年月日

八 所有者ノ住所氏名

第二號

何第 號

機船底曳網漁業許可證

年 月 日	住 氏 名 又 ハ 名 稱 所	船 業 名 稱	漁 業 根 據 地	主 タル 漁 業 根 據 地	從 タル 漁 業 根 據 地	操 業 區 域	船 總 噸 數	機 關 ノ 馬 力	許 可 期 間	條 件 制 限
	<p style="text-align: center;">農 林 大 臣</p>									

縱 二十六糎  
 横 三十八糎



備考

許可番號中「何」トアル箇所ニハ漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）所在ノ道府縣名ノ頭字ヲ（他ノ府縣名ト混同スベキ虞アル場合ニ於テハ次字ヲ併セテ）表示スルモノトス

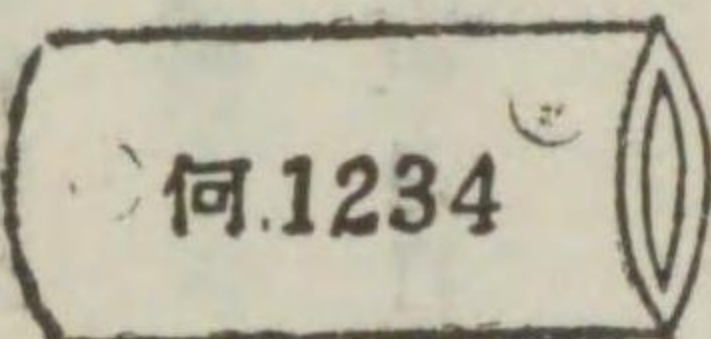
第三號

何1234

備考

各文字ノ大サハ十五糎大以上、各文字ノ太サハ三糎以上、「何」ト數字トノ間隔ハ六糎以上各數字ノ間隔ハ四糎以上トシ明瞭ニ記入スルコトヲ要ス

第四號



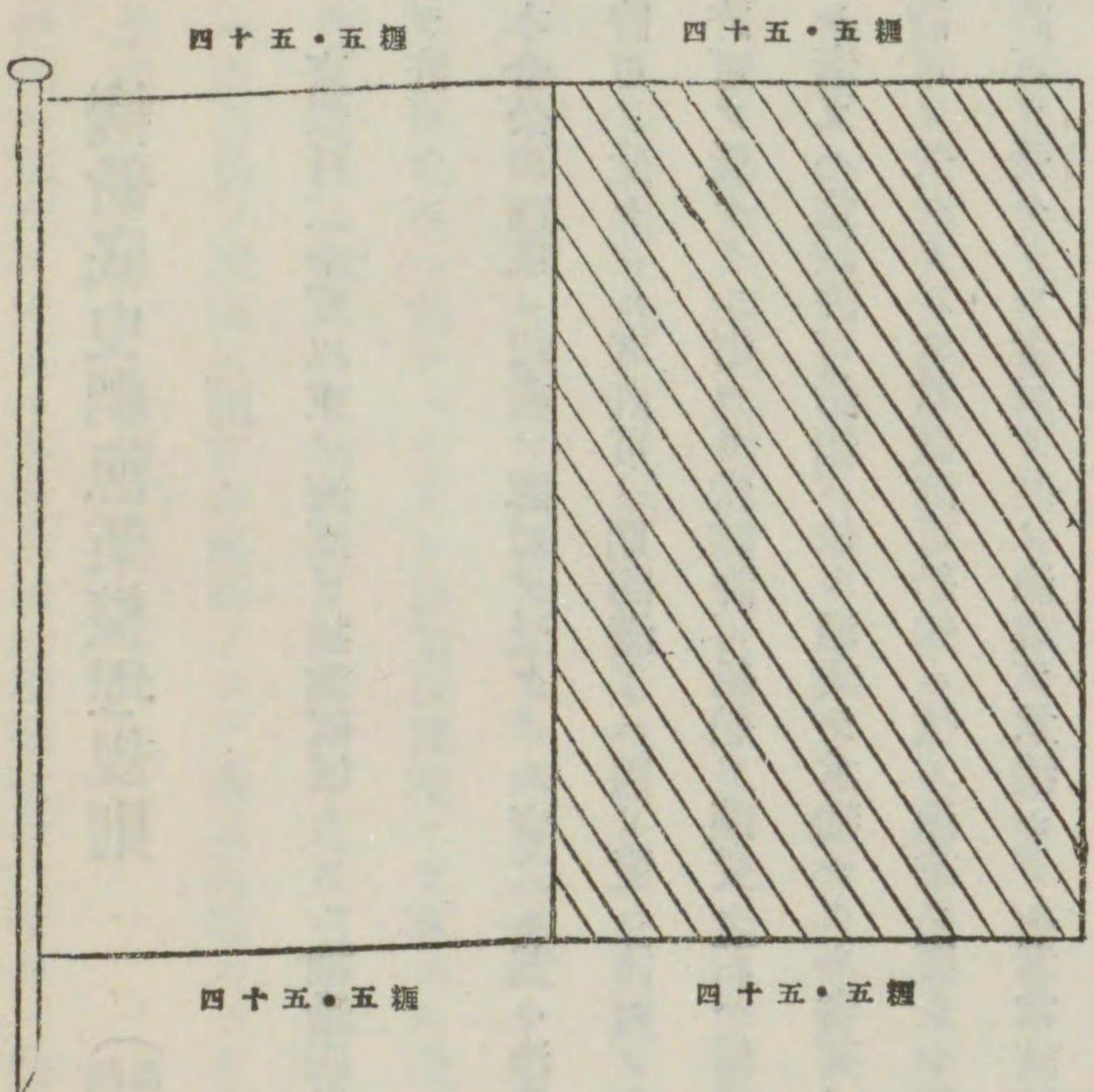
長 八糎以上  
厚 二糎以上

備考

一 「何1234」トアル箇所ニハ許可番號ヲ表示スルモノトス  
二 各文字ノ大サハ一糎大以上トシ之ヲ管ニ明瞭ニ刻ミ付クルコトヲ要ス

第五號

七十六糎



斜線ノ部分 藍  
其ノ他ノ部分 黃



## 機船底曳網漁業整理規則

(昭和十二年八月九日)  
農林省令第三十一號

六二

第一條 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ハ左ニ掲グル場合ヲ除クノ外爾今之ヲ許可セズ

- 一 本令公布前既ニ起業ノ認可ヲ受ケタル者之ニ基キ漁業ノ許可ヲ申請シタルトキ
  - 二 許可ヲ受ケタル者許可ノ期間満了ニ因リ更ニ許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
  - 三 許可ヲ受ケタル者ヨリ當該許可船舶ヲ讓受ケ若ハ借受ケタル者、當該許可船舶ノ返還ヲ受ケタル者又ハ當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ承繼シタル者其ノ船舶ニ付許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
  - 四 許可ヲ受ケタル者當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ廢止シ他ノ船舶ニ付許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
  - 五 許可ヲ受ケタル者ヨリ其ノ漁業ヲ承繼シタル者當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ廢止シ他ノ船舶ニ付許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
  - 六 許可ヲ受ケタル者當該許可船舶ガ遭難其ノ他ノ不可抗力ニ依リ沈没其ノ他滅失シタル爲他ノ船舶ニ許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
- 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ニ付テハ前項第三號乃至第六號ニ掲グル許可ヲ受クル爲必要アル場合ヲ除クノ外起業ノ認可ハ之ヲ爲サズ

- 第二條 前條第一項第二號ノ申請ニ對スル許可ハ第五條ノ規定ニ依リ殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ニ依ル漁業ニ付爲シタル申請ノ場合ヲ除クノ外一船舶ニ付一回ヲ限り之ヲ爲シ其ノ許可ノ期間ハ機船底曳網漁業取締規則第七條ニ定ムル範圍内ニシテ且昭和二十二年四月一日(東經百三十度以西ノ海面ヲ併セ操業區域トスルモノニ在リテハ昭和十七年八月一日)以後ニ亘ルコトヲ得ズ
  - 第三條 第一條第一項第三號ノ申請ニ對スル許可ハ第五條ノ規定ニ依リ殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ニ依ル漁業又ハ東經百三十度以西ノ海面ヲ併セ操業區域トスル漁業ニ付爲シタル申請ノ場合ヲ除クノ外相續其ノ他之ニ準ズベキ事由ニ因ル場合ニ非ザレバ之ヲ爲サズ
  - 第四條 第一條第一項第三號ノ申請ニ對スル許可ノ期間ハ從前ノ許可ノ殘存期間トス
  - 第五條 第一條第一項第四號乃至第六號ノ申請ニ對スル許可ハ第五條ノ規定ニ依リ殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ニ代ルベキ他ノ船舶ニ付爲シタル申請ノ場合ヲ除クノ外之ヲ爲サズ
  - 第五條 別表ニ掲グル海面ヲ操業區域トシ同表ニ掲グル道府縣ノ區域内ニ漁業根據地(漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地)ヲ有スル機船底曳網漁業者ヲ以テ組織シ同漁業ノ整理轉換及統制ニ關スル事項ヲ主タル業務ト爲ス水産組合(以下機船底曳網漁業整理水産組合ト稱ス)ハ組合員ノ同表ニ掲グル海面ノミヲ操業區域トスル許可船舶中ヨリ殘存船舶ヲ選定シ農林大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ得
- 殘存船舶ハ別表ニ定ムル隻數及船舶總噸數合計噸數ノ範圍内ニ於テ之ヲ選定スルコトヲ要ス

六三



第六條 機船底曳網漁業整理水産組合ノ組合員ハ其ノ組合ニ對シ組合ノ樹立シタル機船底曳網漁業整理計畫ヲ誠實ニ履行スベキ旨ノ誓約ヲ爲スベシ

第七條 機船底曳網漁業整理水産組合殘存船舶ノ承認ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ前條ノ機船底曳網漁業整理計畫ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

機船底曳網漁業整理水産組合前條ノ機船底曳網漁業整理計畫ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

第八條 殘存船舶ノ承認ハ昭和十三年六月一日以後ニ於テハ之ヲ爲サズ但シ第十一條ノ規定ニ依リ承認ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ニ依ル漁業ノ許可消滅シタルトキハ第一條第一項第二號又ハ第三號ノ申請ニ對スル許可アリタル場合ヲ除クノ外當該船舶ニ對スル承認ハ其ノ效力ヲ失フ但シ同條同項第四號乃至第六號ノ申請ニ對スル許可アリタル場合ニ於テハ從前ノ船舶ニ對シ爲シタル殘存船舶ノ承認ハ爾後新ニ許可ヲ受ケタル船舶ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第十條 殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ニ依ル漁業ノ許可ヲ受ケタル者其ノ所屬ノ機船底曳網漁業整理水産組合ニ對シ第六條ノ規定ニ依リ爲シタル誓約ニ違反シタルトキハ其ノ水産組合ハ當該船舶ニ對スル承認ノ取消申請ヲ爲スコトヲ得

第十一條 前條ノ申請ニ基キ殘存船舶ノ承認ノ取消アリタルトキハ機船底曳網漁業整理水産組合ハ組合員ノ別表ニ掲グル海面ノミヲ操業區域トスル他ノ許可船舶中ヨリ更ニ殘存船舶ヲ選定シ農林大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ得

第十二條 機船底曳網漁業整理水産組合機船底曳網漁業整理計畫ヲ樹立シ若ハ變更セントスルトキ第五條若ハ前條ノ規定ニ依リ殘存船舶ノ選定ヲ爲サントスルトキ又ハ第十條ノ規定ニ依リ殘存船舶ノ承認ノ取消申請ヲ爲サントスルトキハ其ノ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ノ決議ヲ經ル事ヲ要ス

第十三條 機船底曳網漁業整理水産組合ノ地區ハ別表ニ掲グル道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ定ムベシ  
機船底曳網漁業整理水産組合ニ關シ左ニ掲グル事項ハ水産組合格則ノ規定ニ拘ラズ農林大臣ニ於テ之ヲ爲スモノトス

一 水産組合格則第四條第一項第一號乃至第四號及第七號ニ掲グル事項  
二 水産組合格則第八條ニ依リ準用セラルル重要物産同業組合法施行規則第三條ノ發起ノ認可

第十四條 別表ニ掲グル道府縣中昭和十三年五月三十一日迄ニ第五條ノ規定ニ依ル殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ナキ道府縣アリタルトキハ同表ニ掲グル海面ヲ操業區域トシ當該道府縣ノ區域内ニ漁業根據地(漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地)ヲ有スル機船底曳網漁業ノ許可ハ昭和十三年六月一日以後ニ於テハ之ヲ爲サズ但シ東經百三十度以西ノ海面ヲ併セ操業區域トスルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 東經百三十度以西ノ海面ノミヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ニシテ船舶總噸數三十噸



未滿ノ船舶ニ依ルモノハ左ニ掲グル場合ヲ除クノ外之ヲ許可セズ

- 一 許可ヲ受ケタル者許可ノ期間滿了ニ因リ更ニ許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
- 二 相續其ノ他之ニ準ズベキ事由ニ因リ許可ヲ受ケタル者ヨリ當該許可船舶ヲ讓受ケ若ハ借受ケタル者、當該許可船舶ノ返還ヲ受ケタル者又ハ當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ承繼シタル者其ノ船舶ニ付許可ノ申請ヲ爲シタルトキ

前項第一號ノ申請ニ對スル許可ハ一船舶ニ付一回ヲ限り之ヲ爲シ其ノ許可ノ期間ハ昭和十七年八月一日以後ニ亘ルコトヲ得ズ

第一項第二號ノ申請ニ對スル許可ノ期間ハ從前ノ許可ノ殘存期間トス

第十六條 本則ニ於テ東經百三十度以東ノ海面ト稱スルハ豆滿江口中央ヨリ南南東ノ線、北海道禮文島北端ヨリ南西ノ線及東經百四十度ノ線ニ依リ圍マレタル露領沿海州沖合公海ヲ除キ東經百三十度以東、東經百六十度以西、北緯二十五度以北、北緯五十一度以南ノ海面ヲ謂フ

別表ニ掲グル海面ト併セ東經百三十度以東ノ海面以外ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ハ本則ノ適用ニ付テハ之ヲ同表ニ掲グル海面ノミヲ操業區域トスルモノト看做ス

附 則

本令ハ昭和十二年八月十四日ヨリ之ヲ施行ス

別 表

海 面	道府縣	殘存船舶數	殘存船舶ノ船噸數合計噸數	
一 東經百三十度ノ線ト石川縣祿剛崎ヨリ正北ノ線トノ兩線間ニ於ケル山口縣、島根縣、鳥取縣、兵庫縣、京都府、福井縣、石川縣沖合海面	山口縣	一六	四〇〇	
	島根縣	八〇	一五〇〇	
	鳥取縣	四五	七〇〇	
	兵庫縣	七〇	一五〇〇	
	京都府	二六	三五〇	
	福井縣	〇〇	〇〇〇	
	石川縣	〇〇	一二〇〇	
	北海道	七三	二五〇〇	
	二 北海道本島沖合海面	青森縣	三〇	九〇〇
		岩手縣	二〇	四〇〇
宮城縣		九〇	一九〇〇	
福島縣		八〇	二一〇〇	
茨城縣		一五	三〇〇	
千葉縣		三〇	五〇〇	
三 青森縣尻矢崎ヨリ東南東ノ線ト千葉縣大東崎ヨリ正東ノ線トノ兩線間ニ於ケル青森縣、岩手縣、宮城縣、福島縣、茨城縣、千葉縣沖合海面	千葉縣	三〇	五〇〇	



機船底曳網漁業取締規則第一條第一項ノ規定  
ニ依ル漁業名稱指定(昭和九年七月二十五日  
農林省告示第二百六十三號)

機船底曳網漁業取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ指定シタル漁業ノ名稱左ノ如シ  
昭和五年九月農林省告示第四百二十三號ハ昭和九年七月三十一日限之ヲ廢止ス  
最大幅員二・五メートル未満ノ船舶ニ依リテ爲ス左ノ漁業

- 一 貝桁網漁業(方言貝桁、貝捲、八尺及まんがヲ含ム)
- 二 海鼠桁網漁業(方言八尺ヲ含ム)
- 三 巢曳網漁業(方言烏賊巢烏賊漬及烏賊柴ヲ含ム)

機船底曳網漁業禁止區域ノ件(大正十年九月二十二日  
農商務省告示第二百二十三號)

改正 大正十一年十月十八日農商務省告示第三百二十號、大正十三年五月十九日農商務省告示第七十三號、  
昭和六年五月二十六日農林省告示第一百十八號、昭和七年十二月二十七日農林省告示第三百七十八號  
昭和十年七月十八日農林省告示第二百三十四號

機船底曳網漁業禁止區域左ノ通り定ム

- 一 大隅國佐多岬ヨリ薩摩國坊ノ岬、野田岬ヲ經テ下甑島釣掛崎ニ至ル線内
- 一ノ二 薩摩國上甑島細瀬鼻ヨリ肥前國野母崎ニ至ル線内
- 一ノ三 肥後國天草島貫崎ヨリ五島列島中通島棹崎ニ至ル線内
- 二 肥前國伊王島頂上ヨリ五島列島福江島笠山崎ニ至ル線内
- 三 五島列島福江島大瀬崎ヨリ嵯峨島頂上、白瀬燈臺ヲ經テ壹岐國辰島頂上ニ至ル線内
- 四 肥前國宇久島頂上ヨリ壹岐國若宮燈臺ノ正北六海里ノ點ヲ經テ筑前國小呂島頂上ニ至ル線内
- 五 肥前國加唐島ノ北端ヨリ筑前國沖島西端ヨリ二百八十五度三千間ノ點、沖島東端ヨリ北東三千間ノ點ヲ經テ長門國蓋井島南端ニ至ル線内
- 六 筑前國大島燈臺ヨリ十度ノ線、沖島頂上ヨリ長門國見島頂上ニ至ル線及對馬國大星山頂上ヨリ長門國犬吠山頂上ニ至ル線ニ依リ圍マレタル海面
- 七 筑前國沖島頂上ヨリ石見國高島頂上ヲ經テ出雲國日ノ岬ニ至ル線内
- 八 出雲國日ノ岬ヨリ石見國高島頂上ニ至ル線上日ノ岬ヲ沖ル五海里ノ點ヨリ同岬ノ正北五海里ノ點、多古鼻ノ正北五海里ノ點ヲ經テ因幡國長尾鼻ニ至ル線内
- 八ノ二 出雲國沖御前島頂上ヨリ但馬國餘部崎ニ至ル線内
- 八ノ三 因幡國鶴崎ヨリ但馬國餘部崎ノ正北一海里ノ點、同點ヨリ大鳴山頂上ニ至ル線ト餘部崎ヨリ丹後國經ケ岬ニ至ル線トノ交叉點ヲ經テ經ケ岬ニ至ル線内



- 九 但馬國猫崎ヨリ丹後國經ケ岬ノ正北三海里ノ點、沖ノ島ノ北端ヲ經テ若狹國常神崎ニ至ル線内
- 十 若狹國鋸崎ヨリ越前國安島崎ノ正西三海里ノ點ヲ經テ能登國海士崎ニ至ル線内
- 十一 加賀國小鹽崎ヨリ能登國五十洲崎ノ北西六海里ノ點、祿剛崎ノ北北東六海里ノ點、小泊鼻ノ正東六海里ノ點ヲ經テ越中國生地ノ鼻ニ至ル線内
- 十二 能登國大泊鼻ヨリ越後國鳥ヶ首崎ニ至ル線内
- 十三 越中國生地ノ鼻ヨリ越後國椎谷鼻ニ至ル線内
- 十四 越後國鳥ヶ首崎ヨリ角田崎ニ至ル線内
- 十五 越後國米山崎ヨリ羽前國飛島南端ニ至ル線ト佐渡國野崎鼻ヨリ越後國鷺ヶ巢山頂上ニ至ル線トニ依リ圍マレタル海面
- 十六 越後國角田崎ヨリ羽前國大波渡鼻ニ至ル線内
- 十七 越後國島坂山頂上ヨリ粟生島南端ニ至ル線、粟生島北端ヨリ羽後國三崎ヨリ飛島南端ニ至ル線ト三崎ヲ沖ル五海里ノ點ヲ經テ鹽瀨崎ニ至ル線内
- 十七ノ二 羽後國觀音森頂上ヨリ鹽瀨崎ノ南西四海里ノ點、白崎ノ正西四海里ノ點、入道崎ノ西北西四海里ノ點ヲ經テ能代川口中央ニ至ル線内
- 十八 羽後國入道崎ヨリ陸奥國艦作崎、權現崎、龍飛崎、大間崎、尻矢崎ヲ經テ鮫角ニ至ル線内
- 十九 陸奥國鮫角ヨリ尻矢崎ニ至ル線ト鮫角ヲ距ル五海里ノ點ヨリ鮫角ノ正東五海里ノ點、陸中國

- 辨天鼻ノ正東八海里ノ點、三崎ノ正東八海里ノ點、黒崎ノ正東八海里ノ點、明神鼻ノ正東八海里ノ點、鮭崎ノ正東八海里ノ點、龜ヶ崎ノ正東八海里ノ點、御箱崎ノ正東八海里ノ點、尾崎ノ正東八海里ノ點、陸前國首崎ノ正東八海里ノ點、綾里崎ノ正東八海里ノ點、唐桑崎(御崎)ノ正東三海里ノ點、金華山頂上ノ南東五海里ノ點、磐城國鶉ノ崎ノ正東十六海里ノ點、鹽屋崎ノ正東三海里ノ點、常陸國大洗崎ノ正東十三海里ノ點ヲ經テ下總國犬吠燈臺ニ至ル線内
- 二十 下總國犬吠崎燈臺ヨリ常陸國大洗崎ノ正東十三海里ノ點ニ至ル線ト犬吠崎燈臺ヲ距ル十二海里ノ點ヨリ同燈臺ノ正東十二海里ノ點、上總國大東崎ノ南東十海里ノ點ヲ經テ安房國野島崎燈臺ニ至ル線内
- 二十一 安房國野島崎燈臺ヨリ同燈臺ノ西南西七海里ノ點、相模國城ヶ島西端ヨリ眞鶴崎ニ至ル線内
- 上城ヶ島西端ヲ距ル四海里ノ點ヲ經テ眞鶴崎ニ至ル線内
- 二十二 相模國眞鶴崎ヨリ同崎ヨリ伊豆國式根島頂上ニ至ル線ト相模國江ノ島ヨリ伊豆國神子元島燈臺ニ至ル線トノ交叉點、神子元島燈臺、石室崎ノ正南三海里ノ點、波勝崎ノ南西三海里ノ點ヲ經テ富士山頂ニ至ル線内
- 二十三 伊豆國大瀬崎ヨリ駿河國富士川口中央、遠江國御前崎ヲ經テ三河國伊良湖崎ニ至ル線内
- 二十四 遠江國掛塚燈臺ヨリ志摩國神ノ島頂上ヲ經テ紀伊國佐波留島頂上ニ至ル線内
- 二十五 伊勢國志戸ノ鼻ヨリ紀伊國三木崎ヲ經テ梶取崎ニ至ル線内



- 二十六 紀伊國猪ノ鼻ヨリ梶取崎ノ南東三海里ノ點ヲ經テ櫻野崎ニ至ル線内
- 二十七 紀伊國須江崎ヨリ出雲崎ニ至ル線内
- 二十八 紀伊國潮ノ岬ヨリ市江崎ノ南西三海里ノ點、日ノ御崎ヨリ阿波國伊島頂上ニ至ル線上日ノ御崎ヲ距ル三海里ノ點、阿波國大島頂上ノ南東三海里ノ點ヲ經テ土佐國室戸崎ニ至ル線内
- 二十九 土佐國室戸崎ヨリ烏帽子山頂上ニ至ル線内
- 三十 土佐國神ノ峰頂上ヨリ加江崎ニ至ル線内
- 三十一 土佐國龍崎、烏帽子山頂上見通線ト葛籠山頂上、今ノ山頂上見通線トニ依リ圍マレタル海面
- 三十二 土佐國與津崎ヨリ足摺崎、沖ノ島櫛ケ鼻、鵜來島西端ヲ經テ豊後國水之子島ニ至ル線内
- 三十三 伊豫國横島南端ヨリ豊後國鶴見崎ニ至ル線内
- 三十三ノ二 豊後國水之子島ヨリ深島頂上ノ正東三海里ノ點、日向國一ノ瀬川口中央ノ正東九海里ノ點、都井崎ノ正東九海里ノ點、都井崎ノ正東七海里ノ點ヲ經テ大隅國觀音崎ニ至ル線内
- 三十三ノ三 日向國都井崎ヨリ大隅國觀音崎ノ南東三海里ノ點、佐多岬ノ南東三海里ノ點ヲ經テ佐多岬ニ至ル線内
- 三十四 琉球國沖繩本島喜屋武崎ヨリ渡嘉敷島南端、同島北端沖繩本島殘波岬、伊江島西端ヲ經テ沖繩本島邊戸崎ニ至ル線内

- 三十五 琉球國沖繩本島危難崎ヨリ久高島頂上ヲ經テ喜屋武崎ニ至ル線内
- 三十六 渡島國汐首岬ヨリ矢越岬ニ至ル線内
- 三十七 渡島國矢越岬ヨリ汐首岬ニ至ル線上矢越岬ヲ距ル三海里ノ點ヨリ白神崎ノ正南三海里ノ點、雨垂石岬ノ南西三海里ノ點、日方泊岬、州根子岬、乙部鼻、後志國太田岬及持田岬、各岬ノ正西三海里ノ點、辨慶岬ノ正北三海里ノ點、雷電岬ノ北西三海里ノ點、川白岬ノ正西三海里ノ點、神威岬ノ北西三海里ノ點、積丹岬ノ北北東四海里ノ點、丸山崎ヨリ石狩國石狩川口中央ニ至ル線上丸山崎ヲ距ル六海里ノ點ヲ經テ石狩川口中央ニ至ル線内
- 三十八 削除
- 三十九 後志國高島岬ヨリ石狩國雄冬岬ニ至ル線内
- 四十 石狩國愛冠岬ヨリ雄冬岬ノ正西三海里ノ點ヲ經テ天鹽國苫前崎ニ至ル線内
- 四十一 石狩國雄冬岬ヨリ天鹽國虻尻島東端ヲ經テ天鹽川口中央ニ至ル線内
- 四十二 天鹽國風連別川口中央ヨリ北見國利尻島東端、野寒岬ノ正北三海里ノ點、宗谷岬ノ正北五海里ノ點、同岬ノ正東五海里ノ點、沙留岬ノ北東五海里ノ點、能登呂岬ヲ經テ根室國良牛岳頂上ニ至ル線内
- 四十三 北見國藻琴山頂上ヨリ北見、根室兩國界知床岬ノ正北五海里ノ點、同岬ノ正東五海里ノ點ヲ經テ千島國後島ハツチャウス鼻ニ至ル線内



四十四 根室國標津川口中央ヨリ千島國後島ルイ岬ノ正北五海里ノ點、アトイヤ岬ヲ經テ色丹島斜古丹埼ニ至ル線内

四十五 千島國色丹島斜古丹埼ヨリ國後島アトイヤ岬ニ至ル線上斜古丹埼ヲ距ル五海里ノ點ヨリシベトニタロ埼ノ正東五海里ノ點、コムブウス埼ノ正南五海里ノ點、アキウリ島ノ正南五海里ノ點根室國納沙布埼、落石埼、釧路國尻羽埼、各埼ノ正南五海里ノ點ヲ經テ尺別川口中央ニ至ル線内

四十六 釧路國釧路川口中央ヨリ十勝國歷舟川口中央ニ至ル線内

四十七 釧路國尺別川口中央ヨリ日高國襟裳岬ノ正南五海里ノ點、同岬ノ南西七海里ノ點、佐瑠太川口中央ノ南西八海里ノ點ヲ經テ膽振國樽前山頂上ニ至ル線内

四十八 膽振國勇拂川口中央ヨリ渡島國黒羽尻岬ニ至ル線内

四十九 渡島國黒羽尻岬ヨリ膽振國勇拂川口中央ニ至ル線上黒羽尻岬ヲ距ル六海里ノ點ヨリ惠山岬ノ正東五海里ノ點、同岬ノ正南五海里ノ點ヲ經テ汐首岬ヨリ矢越岬ニ至ル線上汐首岬ヲ距ル五海里ノ點ニ至ル線内

五十 大隅國種子島、馬毛島、屋久島、奄美大島、薩摩國甌列島、長門國見島、隱岐國、能登國七ツ島、舩倉島、佐渡國、伊豆國大島、渡島國奥尻島、天鹽國燒尻島、天賣島、北見國利尻島、禮文島、千島國擇捉島、各島ノ周圍朔望滿潮線ヨリ三海里以内

五十一 對馬國ノ周圍朔望滿潮線ヨリ六海里以内

五十二 五島列島黃島ノ周圍朔望滿潮線ヨリ十海里以内

機船底曳網漁業禁止區域改正ノ件

(昭和十二年八月十日 農林省告示第二百六十七號)

大正十年九月農商務省告示第二百二十三號機船底曳網漁業禁止區域中左ノ通改正シ昭和十二年八月十四日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十二號乃至第十五號ノ改正規定ハ昭和十三年八月一日ヨリ第五號乃至第八號、第十八號、第十九號、第三十六號、第三十七號、第三十九號、第四十號、第四十三號乃至第四十五號及第四十七號乃至第四十九號ノ改正規定ハ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス一 日向國都井埼ヨリ大隅國觀音埼ノ南東(眞方位ニ依ル以下本告示中ノ方位ニ付亦同ジ)三海里ノ點、佐多岬ノ正南四海里ノ點、薩摩國坊ノ岬ノ南西三海里ノ點、野間岬ノ正西三海里ノ點ヲ經テ下甌島釣掛埼ニ至ル線内

三 五島列島福江島大瀬埼ヨリ同埼ノ正西十海里ノ點、嵯峨島頂上ノ正西十海里ノ點、白瀬燈臺ヲ經テ壹岐國辰島頂上ニ至ル線内

五 肥前國加唐島北端ヨリ東經百三十度ノ線ト筑前國沖島燈臺ヨリ正西ノ線トノ交叉點、長門國見島北端ヲ經テ出雲國日ノ岬ニ至ル線内

六 削除





七 削除

八 石見國大崎ヨリ隱岐國三度崎、同崎ヨリ出雲國地藏崎ニ至ル線、地藏崎ヲ距ル七海里ノ點ヲ經テ因幡國長尾鼻ニ至ル線内

十二 左ノ甲乙兩線ニ依リ圍マレタル海面

甲 能登國大泊鼻ヨリ佐渡國澤崎ニ至ル線

乙 佐渡國彈崎ヨリ同崎ヨリ越後國角田山頂上ニ至ル線ト佐渡國野崎鼻ヨリ越後國鷺ヶ巢山頂上ニ至ル線トノ交叉點ヲ經テ鷺ヶ巢山頂上ニ至ル線

十三 削除

十四 削除

十五 削除

十八 羽後國入道崎ヨリ陸奥國鱸作崎ヲ經テ權現崎ニ至ル線内

第十九號中「陸奥國鮫角ヨリ尻矢崎ニ至ル線上鮫角ヲ距ル五海里ノ點ヨリ鮫角ノ正東五海里ノ點」ヲ「陸奥國尻矢崎ヨリ同崎ヨリ鮫角ニ至ル線上鮫角ヲ距ル五海里ノ點、鮫角ノ正東五海里ノ點」ニ改ム

二十三 伊豆國大瀬崎ヨリ駿河國富士川口中央、遠江國御前崎燈臺ノ南々東五海里ノ點ヲ經テ掛塚燈臺ニ至ル線内

二十三ノ二 遠江國御前崎燈臺ヨリ三河國伊良湖崎ニ至ル線内

第三十三號ノ三ヲ削ル

三十六 削除

三十七 左ノ甲乙兩線ニ依リ圍マレタル海面

甲 陸奥國權現崎ヨリ同崎ヨリ渡島國白神崎ニ至ル線ト陸奥國龍飛崎ヨリ正西ノ線トノ交叉點、龍飛崎ヨリ正西ノ線ト東經百三十九度ノ線トノ交叉點、東經百三十九度ノ線ト白神崎ヨリ正西ノ線トノ交叉點ヲ經テ白神崎ニ至ル線

乙 日高國幌泉燈臺ヨリ陸奥國尻矢崎ニ至ル線

三十八 渡島國白神崎ヨリ同崎ヨリ正西ノ線ト東經百三十九度ノ線トノ交叉點、東經百三十九度ノ線ト後志國辨慶岬ヨリ正西ノ線トノ交叉點ヲ經テ辨慶岬ニ至ル線

三十九 削除

四十 後志國辨慶岬ヨリ同岬ヨリ正西ノ線ト東經百三十九度ノ線トノ交叉點、東經百三十九度ノ線ト積丹岬ヨリ正西ノ線トノ交叉點、積丹岬ノ正西七海里ノ點ヲ經テ天鹽國苫前崎ニ至ル線内

四十三 左ノ甲乙兩線ニ依リ圍マレタル海面

甲 北見國藻琴山頂上ヨリ北見、根室兩國界知床岬ノ正北五海里ノ點ヲ經テ千島國擇捉島イカバツ岬ニ至ル線



乙 千島國擇捉島瀨波鼻ヨリ同鼻ヨリ南南西ノ線ト根室國落石埼ヨリ正東ノ線トノ交叉點ヲ經テ落石埼ニ至ル線

四十四 削除

四十五 根室國納沙布埼ヨリ同埼ノ正南五海里ノ點、落石埼ノ正南五海里ノ點、釧路國尻羽埼ノ正南五海里ノ點ヲ經テ尺別川口中央ニ至ル線内

四十七 釧路國尺別川口中央ヨリ日高國襟裳岬ノ正南五海里ノ點、同岬ノ南西七海里ノ點ヲ經テ膽

振國白老岳頂上ニ至ル線内

四十八 削除

四十九 削除

第五十號中「隱岐國」、「佐渡國」及「渡島國奥尻島、天鹽國燒尻島、天賣島、北見國利尻島、禮文島」ヲ削ル

五十ノ二 隱岐國、佐渡國、天鹽國燒尻島、天賣島、北見國利尻島、禮文島各島ノ周圍朔望滿潮線ヨリ五海里以内

### 機船底曳網漁業取締規則第七條ノ二ノ規定ニ

### 依ル禁止區域及期間

昭和七年十二月二十七日農林省告示第三百七十七號  
昭和八年八月二十四日農林省告示第三百七十三號及  
昭和十年八月二十四日農林省告示第二百七十七號改正

機船底曳網漁業取締規則第七條ノ二ニ依リ左ノ通機船底曳網漁業ヲ禁止シ昭和八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

各種機船底曳網漁業ヲ禁止スル區域及期間

- 一 東經百三十度ノ線ト出雲國地藏埼ヨリ北北東ノ線トノ兩線間ニ於テ肥前國、筑前國、豊前國長門國、石見國及出雲國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面但シ第二號ノ區域ヲ除ク

自六月一日 至八月三十一日

- 二 出雲國日ノ岬ヨリ隱岐國三度埼ヲ經テ出雲國地藏埼ニ至ル線以内ノ海面

自四月一日 至八月三十一日

- 三 出雲國地藏埼ヨリ北北東ノ線ト但馬國猫埼ヨリ正北ノ線トノ兩線間ニ於テ出雲國、伯耆國、因幡國及但馬國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面

自六月一日 至九月三十日



三ノ二 但馬國猫崎ヨリ正北ノ線及沿岸朔望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線ニ依リ圍マレタル海面

自五月十六日 至九月十五日

四 沿岸朔望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線ト陸奥國龍飛崎ヨリ正西ノ線トノ兩線間ニ於テ加賀國、能登國、越中國、越後國、羽前國、羽後國及陸奥國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以內ノ海面

自五月一日 至八月三十一日

五 陸奥國龍飛崎ヨリ正西ノ線、渡島國日方泊岬ヨリ西南西ノ線、陸奥國尻矢崎ヨリ東南東ノ線及沿岸朔望滿潮線上十勝、日高兩國界ヨリ南南東ノ線ニ依リ圍マレタル海面

自七月一日 至十月三十一日

六 後志國持田岬ヨリ正西ノ線、東經百三十九度ノ線、北緯四十六度ノ線及沿岸朔望滿潮線上北見國枝幸、紋別兩郡界ヨリ北東ノ線ニ依リ圍マレタル海面

自七月一日 至十月三十一日

七 沿岸朔望滿潮線上北見國枝幸、紋別兩郡界ヨリ北東ノ線ト北見、根室兩國界知床岬ヨリ北東ノ線トノ兩線間ニ於テ北見國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以內ノ海面

自六月十六日 至八月十五日

八 北見、根室兩國界知床岬ヨリ北東ノ線ト沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國界ヨリ正南ノ線トノ兩線間ニ於テ根室國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以內ノ海面

自三月一日 至五月三十一日

九 沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國界ヨリ正南ノ線ト沿岸朔望滿潮線上十勝、日高兩國界ヨリ南南東ノ線トノ兩線間ニ於テ釧路國及十勝國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以內ノ海面

自六月一日 至七月三十一日

十 陸奥國尻矢崎ヨリ東南東ノ線ト陸前國唐桑崎(御崎)ヨリ正東ノ線トノ兩線間ニ於テ陸奥國、陸中國及陸前國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以內ノ海面

自六月一日 至十月三十一日

十一 陸前國唐桑崎(御崎)ヨリ正東ノ線ト安房國野島崎燈臺ヨリ正南ノ線トノ兩線間ニ於テ陸前國、磐城國、常陸國、下總國、上總國及安房國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以內ノ海面

自六月十六日 至九月三十日

但シ沿岸朔望滿潮線上茨城、千葉兩縣界ヨリ正東ノ線以南ノ海面ニ於テハ昭和九年十二月三十一日迄ハ自七月一日 至八月三十一日

十二 安房國野島崎燈臺ヨリ正南ノ線ト沿岸朔望滿潮線上三重、和歌山兩縣界ヨリ南東ノ線トノ兩線間ニ於テ安房國、相模國、伊豆國、駿河國、遠江國、三河國、尾張國、志摩國、伊勢國及



紀伊國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面

自六月一日 至八月三十一日

十三 沿岸朔望滿潮線上三重、和歌山兩縣界ヨリ南東ノ線ト東經百三十度ノ線トノ兩線間ニ於テ紀伊國、阿波國、土佐國、伊豫國、豊後國、日向國、大隅國及薩摩國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面但シ第十四號ノ區域ヲ除ク

自五月一日 至九月三十日

十四 日向國一ノ瀬川口中央ヨリ正東ノ線ト鶴戸崎ヨリ正東ノ線トノ兩線間ニ於テ日向國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合三十海里以内ノ海面

自五月一日 至翌年一月三十一日

二艘曳機船手繰網漁業及二艘曳機船打瀬網漁業ヲ禁止スル區域及期間

一 丹後國成生崎ヨリ正北ノ線及沿岸朔望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線ニ依リ圍マレタル海面

自四月一日 至五月三十一日

自十月一日 至十一月三十日

(昭和十二年八月十日  
農林省告示第二百六十八號)

昭和七年十二月農林省告示第三百七十七號中左ノ通改正シ昭和十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

各種機船底曳網漁業ヲ禁止スル區域及期間ノ項中左ノ如ク改ム

一 東經百三十度ノ線ト東經百三十二度ノ線トノ兩線間ニ於テ肥前國、筑前國、豊前國、長門國及石見國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面

自六月一日 至八月三十一日

二 削除

三 東經百三十二度ノ線ト能登國祿剛崎ヨリ正北(眞方位ニ依ル以下本告示中ノ方位ニ付亦同ジ)ノ線トノ兩線間ニ於テ石見國、出雲國、伯耆國、因幡國、但馬國、丹後國、若狹國、越前國、加賀國及能登國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面

自四月十六日 至十月十五日

第三號ノ二ヲ削ル

第四號中「沿岸朔、望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線」ヲ「能登國祿剛崎ヨリ正北ノ線」ニ改メ「加賀國、」ヲ削ル

五 削除

第八號中「沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國界」ヲ「根室國納沙布崎」ニ改ム

九 根室國納沙布崎ヨリ正南ノ線ト渡島國惠山岬ヨリ東南東ノ線トノ兩線間ニ於テ根室國、釧路國、十勝國、日高國、膽振國及渡島國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面



自六月一日 至九月三十日

十 渡島國惠山岬ヨリ東南東ノ線ト安房國野島埼燈臺ヨリ正南ノ線トノ兩線間ニ於テ渡島國、陸奥國、陸中國、陸前國、磐城國、常陸國、下總國、上總國及安房國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面

自六月一日 至十月三十一日

十一 削除

### 機船底曳網漁業取締規則施行ニ關スル件

(昭和九月八月一日九水第一六八號)  
農林次官 長瀬 貞一 各地方長官宛

昭和八年法律第三十三號漁業法中改正法律ノ施行ニ伴ヒ今般大正十年農商務省令第十一號機船底曳網漁業取締規則ハ之ヲ廢止シ更メテ昭和九年七月二十五日農林省令第二十號ヲ以テ機船底曳網漁業取締規則ヲ制定シ八月一日ヨリ之ヲ施行スルコトト相成候處右漁業法ノ改正ハ機船底曳網漁業ニ付同漁業取締上ノ實效ヲ期スル爲同法第三十五條ノ改正規定ニ依リ同漁業ヲ同條ノ規定ニ依ル農林大臣ノ許可ヲ要スル漁業ト爲シ以テ同漁業ノ無許可營業及同條第二項ノ規定ニ依リテ發スル同漁業ニ關スル制限又ハ禁止ノ命令ノ違反ニ對シ同法第五十九條ノ罰則ヲ適用スベキ趣旨ニシテ從テ新規則

ハ右漁業法第五十九條ノ規定ノ適用ヲ受クル事項ト然ラザル事項トヲ區別スル爲罰則規定ヲ整備スルコトヲ主トスルモノニ有之候處新規則施行ヲ機トシ機船底曳網漁業ノ現狀ニ鑑ミ特ニ別記「機船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ノ方針」ヲ確立シ同漁業ノ取締上愈々遺憾ナキヲ期セントスル次第ニ有之候條貴官ニ於テモ右ノ趣旨篤ト御諒知ノ上同漁業ノ取締、指導等ニ付今後一層ノ御協力相煩度依命此段及通牒候也

追テ從前機船底曳網漁業取締規則施行ニ關シ發シタル左ノ通牒ハ之ヲ廢止シタル義ニ付御了知相成度申添候

- 一、昭和五年十一月二十二日附五水第四二九〇號
- 一、昭和七年三月七日附六局第二六三九號
- 一、昭和七年九月七日附七局第二四二二號
- 一、昭和七年十二月二十七日附七水第五五六五號
- 一、昭和九年四月十六日附九局第一一四號

記

一、機船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ハ爾今別記「機船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ノ方針」ニ依リ處理相成ベキ義ニ付貴管下漁業者ニ對シ可然御指導方御取計相成度コト  
尙機船底曳網漁業取締規則第十條但書ノ許可ハ東經百三十度以東ノ内地沖合海面ニ於ケル機船底



曳網漁業ノ實情ニ鑑ミ原則トシテ之ヲ爲サザル方針ニ付豫メ漁業者ニ周知セシメラレ度キコト

二、機船底曳網漁業取締規則ニ依ル許可申請書又ハ起業ノ認可申請書ヲ受理相成タルトキハ之ヲ精査ノ上意見ヲ附シ特ニ許可又ハ認可ニ關シ條件制限ヲ附スル必要アリト認ムルトキハ其ノ内容及事由ヲ附シ進達相成度キコト尙漁業ノ許可申請書又ハ起業ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ進達相成度キコト

イ 漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ヲ爲シタル者ガ昭和八年一月一日以前ニ於テ舊規則又ハ舊規則ニ基ク處分ニ違反シタルニ因リ漁業許可ノ取消、制限其ノ他ノ處分又ハ處罰ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ概要

ロ 漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ヲ受ケントスル船舶ガ昭和八年一月一日以前ニ於テ舊規則又ハ舊規則ニ基ク處分ニ違反シタルニ因リ漁業許可ノ取消、制限其ノ他ノ處分又ハ處罰ヲ受ケタルコトアル者ノ當該違反行爲ニ供用セラレタルコトアルトキハ其ノ概要

三、機船底曳網漁業取締規則ニ依リ農林大臣ニ提出スル書類ノ進達ニ付テハ可及的速ナルヲ要シ其ノ管下市町村長ヲ經由セシムル場合ニ於テハ經由促進方嚴重ニ市町村長ヲ督勵相成度キコト特ニ許可期間滿了ニ因リ繼續シテ漁業ヲ營マントスル許可ノ申請ハ相當ノ時日ヲ置イテ之ヲ提出セシメ期間滿了ノ少クトモ一月前ニ本省ニ許可申請書ノ到達スル様進達相成度キコト尙期間滿了ヲ除クノ外當事者ノ意思ニ基カザル事實ニ因リ許可ノ效力消滅シタル場合ニシテ其ノ後特ニ漁業ノ許

可又ハ起業ノ認可ヲ申請スルトキハ其ノ事實發生ノ日ヨリ少クトモ六月以内ニ本省ニ許可申請書ノ到達スル様進達相成度キコト

四、機船底曳網漁業取締規則第二條ノ許可申請書、第三條ノ起業認可申請書又ハ第十四條第一項ノ許可申請書ニ關シテハ左ノ諸點ニ付特ニ其ノ作成方指導相成度キコト

イ 漁業名稱

一隻ノ船舶ニ依リ手繰網、打瀬網其ノ他ノ底曳網ヲ使用シテ爲ス漁業ハ一艘曳機船底曳網漁業トシ二艘ノ船舶ニ依リ前記ノ漁具ヲ使用シテ爲ス漁業ハ二艘曳機船底曳網漁業トシテ記載セシメ此ノ場合ニ於テ手繰網、打瀬網以外ノ漁具ヲ使用セントスルモノハ其ノ漁具及漁法ヲ詳記セラル書面ヲ添附セシムルコト

ロ 機關ノ種類及馬力

1. 總噸數二十噸以上ノ船舶ニ付  
機關ノ種類デイズル式、火球著火式等ノ區別ヲ記入セシムルコト  
馬力 既ニ漁船検査證書ノ交付ヲ受ケタル船舶ニ付テハ漁船検査證書記載ノ公稱馬力ヲ記入セシメ然ラザル船舶ニ付テハ船舶職員法施行細則第十一條ノ規定ニ依リ計算セル馬力ヲ記入セシムルコト

2. 總噸數二十噸未滿ノ船舶ニ付



機關ノ種類 デイゼル式、火球著火式等ノ區別ヲ記入セシムルコト（二サイクル又ハ四サイクルニ細別スルヲ要ス）

馬力 左ノ算式ニ依リ算出シタル純馬力數ヲ記入スルト共ニ氣筒ノ徑及氣筒ノ數ヲ記入セシムルコト但シ左表ニ舉グルモノ以外ノ發動機ヲ使用スル場合ニ在リテハ本省ニ於テ之ヲ算定スルヲ以テ馬力數ハ之ヲ記入スルヲ要セザルコト

算式

$$\text{純馬力} = \text{CND}^2$$

E式ニ於テDハ氣筒ノ徑(寸)

Nハ氣筒ノ數

Cハ常數(次表ニ依ル)

常數	
一 「サイクル」 デイゼル式發動機	0.1
四 「サイクル」 デイゼル式發動機	0.068
二 「サイクル」 火球著火式發動機	0.042
四 「サイクル」 電氣著火式發動機	0.044

五、機船底曳網漁業取締規則第二條許可申請書又ハ第三條ノ起業ノ認可申請書ニハ第二條第四項又

ハ第三條第二項ノ書類ノ外尙左ノ書類ヲ添附セラレ度キコト

イ 申請ノ事由ヲ記載シタル書面

ロ 許可又ハ起業ノ認可ヲ受ケントスル船舶他人ノ所有ニ屬スルトキハ其ノ船舶ヲ使用スルコトヲ得ル權利ヲ證スル書面

ハ 他人ノ機船底曳網漁業ヲ承繼シ許可又ハ起業ノ認可ヲ申請スル場合ハ承繼前ノ漁業者ニ於テ新許可前又ハ少クトモ新許可ト同時ニ承繼セラレベキ漁業ヲ廢止スルコトヲ證スル書面

ニ 許可ヲ受ケタル船舶ノ代船ニ依リ許可又ハ起業ノ認可ヲ申請スル場合ハ從來ノ船舶ノ處置方ヲ記載シタル書面

ホ 建造前又ハ建造中ノ船舶ニ付起業ノ認可ヲ申請スル場合ハ其ノ船舶ノ造船者及造船所名ヲ記載シタル書面

六、機船底曳網漁業取締規則第十五條第一項ノ届出ニ關シテハ左ノ諸點ニ付指導相成度キコト

イ 第二號又ハ第三號ノ届出ニハ船舶原簿謄本又ハ船鑑札臺帳謄本ヲ添附セシムルコト

ロ 第四號又ハ第五號ノ届出ハ四ノロニ依リ記載セシムルコト

七、機船底曳網漁業取締規則第十七條ノ規定ニ依リ船長ノ氏名及住所ノ届出アリタルトキ又ハ其ノ變更ノ届出アリタルトキハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日迄ニ水産局長ニ報告相成度キコト又同規則第二十五條ノ規定ニ依リ船長又ハ乗組員ノ下船又ハ乗船ノ禁止ヲ命ジタルトキハ其ノ都度遲滞ナ



ク之ヲ水産局長ニ報告相成度キコト

八、責管轄区域内ニ在ル機船底曳網漁船ニ付漁業法第三十五條第一項、機船底曳網漁業取締規則又ハ同規則ニ基ク處分ニ違反シタル事實アリト認ムルトキハ違反一件毎ニ別紙違反事件報告書ノ様式ニ依リ遲滞ナク報告相成度キコト

九、機船底曳網漁業取締規則第二十四條ノ規定ニ依リ機船底曳網漁船ノ碇泊ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ報告相成度キコト此ノ場合ニ於テハニ依ル報告未済ノモノニ付テハ同時ニ其ノ報告相成度キコト

十、左ニ掲グル事項ノ違反ニ付テハ必ず機船底曳網漁業取締規則第二十一條第二項ノ規定ニ依ル行政處分相成ルベキニ付豫メ了知相成度キコト

- (一) 禁止区域内ニ於テ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (二) 許可ヲ受ケタル操業區域ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (三) 取締規則第九條第一項ノ規定ニ依ル禁止ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (四) 取締規則第十條ノ規定ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (五) 取締規則第十三條ノ規定ニ違反シタル場合ニシテ(一)乃至(三)ノ所爲アリタル疑アルトキ
- (六) 取締規則第二十一條第二項ノ規定ニ依ル漁業停止ノ處分又ハ第二十三條若ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依ル碇泊處分ニ違反シタルトキ

十一、機船度曳網漁業取締規則中第八條、第九條、第一項、第十條、第十一條、第十二條及第十三條ハ漁業法第三十五條第二項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ノ命令規定ニシテ從ツテ右各規定ノ何レカニ違反セル漁業者ニ對シテハ漁業法第五十九條ノ罰則規定ノ適用アルベキ義ニ付特ニ漁業監督吏員其ノ他ニ了知セシメ置カレ度キコト

十二、機船底曳網漁業取締規則中様式第五號ニ依ル停船信號ノ様式ニ付テハ今回改正相成タルニ付特ニ漁業監督吏員其ノ他ニ了知セシメ置カレ度キコト

違反事件報告書ノ様式

- (1) 漁業者ノ住所氏名
- (2) 違反船々長ノ住所氏名
- (3) 許可番號
- (4) 船名及船舶番號又ハ船鑑札番號
- (5) 違反年月日
- (6) 違反ノ場所(犯則ノ位置ヲ示ス圖面添附ノコト)
- (7) 違反事項(例禁止区域内操業、無許可操業、夜間操業等)
- (8) 違反發見ヨリ檢舉ニ至ル迄ノ事情ノ詳細
- (9) 檢舉ニ使用シタル船舶所屬先及船名



- (10) 檢舉者ノ官職氏名
- (11) 告發シタル警察署名又ハ檢事局名
- (12) 違反檢舉當時ノ聽取書及告發書寫
- (13) 違反船々長ヨリ徴シタル始末書
- (14) 地方長官取締規則第二十四條ノ規定ニ依リ違反漁船ノ碇泊ヲ命ジタル上報告スル場合ハ其ノ碇泊期間(自 月 日至 月 日)及碇泊港

### 機船曳底網漁業整理規則施行ニ關スル件

(昭和十二年八月九日附十二水第一〇一六七號)  
農林次官發沿海地方長官宛

今般昭和十二年八月九日附農林省令第三十一號ヲ以テ機船底曳網漁業整理規則制定公布相成候處右ハ沿岸漁場ヲ荒廢セシメ又ハ沿岸漁場ノ漁利ヲ偏在セシムル等ノ機船底曳網漁業ヲ整理シ以テ沿岸漁場ノ維持恢復ヲ圖ルト共ニ沿岸漁業ノ振興ニ資セントスル趣旨ニ有之候條前記省令御了知ノ上本整理ノ目的達成方ニ付特別ノ御配慮相煩度依命此段及通牒候也

追而本整理ノ施行ニ伴ヒ昭和九年八月一日附九水第五一六八號通牒(昭和十一年八月一日附十一水第七八六九號ヲ以テ一部改正)中別記「機船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ノ方針」ヲ別紙「機

船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ノ方針」ノ通改正相成又昭和十一年五月五日附十一水第五一〇九號通牒ハ廢止相成本整理規則施行後ハ右ニ依リ處理可相成候條御了知ノ上貴管下當業者ニモ本省令及右方針ノ趣旨周知方御取計相成度

尙貴管下ニ於ケル機船底曳網漁業整理水産組合ニ依ル整理ニ關シテハ左記趣旨ニ依リ指導監督ノ上圓滑ナル整理轉換ヲ誘導促進スルニ努メラレ度右特ニ申添候

#### 記

一、機船底曳網漁業整理水産組合ハ昭和十二年十二月三十一日迄ニ之ヲ設立セシムル様指導相成度キコト

二、機船底曳網漁業整理規則第六條ノ機船底曳網漁業整理計畫若ハ共ノ變更、第五條若ハ第十一條ノ規定ニ依ル殘存船舶ノ選定又ハ第十條ノ規定ニ依ル殘存船舶ノ承認ノ取消申請ニ關スル總會ノ決議ハ總組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要スル旨組合定款中ニ規定セシメラレ度キコト

三、殘存船舶ノ選定ニ付テハ左記ニ依ラシメラレ度キコト

- (一) 二艘曳機船底曳網漁業ノ許可ヲ有スル船舶ニ對シテハ東經百三十度以東東經百三十二度以西ノ日本海内地沖合海面ヲ操業區域トスルモノヲ除キ殘存船舶ノ承認ハ之ヲ爲サザル方針ナルヲ以テ現ニ二艘曳機船底曳網漁業ノ許可ヲ有スル船舶ヲ殘存船舶ニ選定セントスル場合ハ成ル



ベク選定前漁業名稱變更ノ許可ヲ受ケ一艘曳機船底曳網漁業ノミノ許可ヲ有スル船舶ト爲サシメ遅クモ承認申請ト同時ニ右漁業名稱變更許可申請ヲ爲サシムルコト

- (二) 機船底曳網漁業整理規則別表ニ掲グル海面ト爾餘ノ東經百三十度以東ノ海面トヲ併セ操業區域トスル船舶ヲ殘存船舶ニ選定セントスル場合ハ成ルベク選定前操業區域變更ノ許可ヲ受ケ同表ニ掲グル海面ノミヲ操業區域トスル船舶ト爲サシメ遅クモ承認申請ト同時ニ右操業區域變更許可申請ヲ爲サシムルコト
- (三) 殘存船舶ノ選定ニ當リテハ違反經歷ナキモノヲ成ルベク先順位トスルコト

- 四、機船底曳網漁業ノ整理計畫ハ夫々地方實情ニ即シ整理遂行上最モ適切ナルモノヲ樹立セシメラレ度キモ本整理ノ結果關係漁場ニ於ケル本漁業上ノ利益ヲ持續スルコトヲ得ベキ立場ニ在ルベキ殘存船舶ノ漁業者ト當該許可期間滿了後ハ右ノ如キ利益ヲ享受スルコトヲ得ザル立場トナル廢業者トガ相共ニ本整理ニ伴フ利害得失ヲ分擔シ合フ如キ方法例ヘバ共同經營ニ依ル方法又ハ殘存者タル組合員ヨリノ整理轉換資金ノ醸出及其ノ運用ノ如キ方法等ニ依リ整理計畫ヲ樹立シ之ガ運用ヲ圖リ以テ圓滑ナル整理轉換ヲ誘導促進スルニ努メラレ度キコト

- 五、機船底曳網漁業ノ整理計畫遂行ニ當リテハ機船底曳網漁業廢業者廢業ノ當該漁業ノ從業者タリシ者ガ就業ノ機會ヲ得ル様組合ヲシテ適當斡旋セシメラレ度キコト

- 六、機船底曳網漁業整理規則第五條ノ殘存船舶承認申請書ハ遅クモ昭和十三年三月三十一日迄ニ之

ヲ提出セシムル様指導相成度キコト

- 七、機船底曳網漁業整理規則第五條及第十一條ノ殘存船舶承認申請書ニハ殘存船舶トシテ選定セラレタル船舶ノ船名、許可番號、總噸數及漁業者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シ尙三ノ (一) 又ハ (二) ニ該當スル場合ハ其ノ旨附記セシメラレタキコト

- 八、機船底曳網漁業整理規則第五條ノ殘存船舶承認申請書ニ添附スベキ整理計畫ニハ左ノ事項ヲ記載セシメラレ度キコト

第十一條ノ殘存船舶承認申請書ニ添附スベキ整理計畫ニ付テモ之ニ準ズルコト

- (一) 整理船舶ノ整理豫定年度別船名表及其ノ轉業先
- (二) 殘存船舶選定方法
- (三) 整理轉換資金ノ造成及運用方法其ノ他殘存者及廢業者間ノ共助關係
- (四) 整理船舶ニ依ル漁業ノ從業者タリシ者ニ對スル處置
- (五) 其ノ他整理轉換ニ關シ參考トナルベキ事項

前項ノ整理計畫ニハ總會決議錄寫ヲ添附セシメラレ度キコト

- 九、機船底曳網漁業ニ關スル申請又ハ届出書類ハ凡テ當該組合ヲ經由シテ之ヲ提出セシメラレ度キコト



機船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ノ方針

第一 機船底曳網漁業整理規則第二條ニ依ル許可ノ期間ハ同條ノ範圍内ニシテ且左ノ範圍ヲ超エザルコト

(一) 機船底曳網漁業取締規則第二十三條ニ依リ同則違反制裁ノ趣旨ニ依ル碇泊期間五十日以下ノ漁船碇泊處分ヲ受ケタルコトアル漁業又ハ之ト同一視スベキモノト認メラルル漁業ニ付テハ前ノ許可期間滿了ノ日ノ翌日ヨリ起算シ三年以内

(二) 機船底曳網漁業取締規則第二十三條ニ依リ同則違反制裁ノ趣旨ニ依ル碇泊期間五十日ヲ超ユル漁船碇泊處分ヲ受ケタルコトアル漁業又ハ之ト同一視スベキモノト認メラルル漁業ニ付テハ前許可ノ期間滿了ノ日ノ翌日ヨリ起算シ二年以内

(三) 前二號以外ノ漁業ニ付テハ前許可ノ期間滿了ノ日ノ翌日ヨリ起算シ五年以内

第二 機船底曳網漁業整理規則第一條第一項第三號乃至第六號ニ依ル許可及之ニ關シ爲ス同條第二項ニ依ル起業ノ認可ニ付テハ同規則ニ規定スルモノノ外尙左ノ方針ニ依ルコト

(一) 同條第一項第三號ニ依ル許可又ハ認可ハ許可(起業認可ノ場合ハ之ニ基ク漁業許可)後二年以内ニ當該許可船舶ノ總噸數ノ二割以上ニ相當スル噸數ヲ他ノ許可船舶ノ廢業其ノ他ノ方法ニ依リ減少スベキ旨ノ條件ヲ誓約スル場合ニ限り之ヲ爲スコト

(二) 同條第一項第四號又ハ第六ニ依ル許可又ハ認可ハ從前ノ許可船舶ノ總噸數ノ八割ヲ超エザル總噸數ノ船舶ニ限り之ヲ爲スコト但シ左ノ算式ニ依リ算出シタル噸數以上ニ相當スル噸數ヲ他ノ許可船舶ノ廢業其ノ他ノ方法ニ依リ減少スル場合ニ限り從前ノ許可船舶ノ總噸數ノ範圍迄之ヲ認ムルコト

申請船舶ノ總噸數一從前ノ許可船舶總噸數ノ八割  
0.8

(三) 同條第一項第五號ニ依ル許可又ハ認可ハ從前ノ許可船舶ノ總噸數ノ七割ヲ超エザル總噸數ノ船舶ニ限り之ヲ爲スコト但シ左ノ算式ニ依リ算出シタル噸數以上ニ相當スル噸數ヲ他ノ許可船舶ノ廢業其ノ他ノ方法ニ依リ減少スル場合ニ限り從前ノ許可船舶ノ總噸數ノ範圍迄之ヲ認ムルコト

申請船舶ノ總噸數一從前ノ許可船舶總噸數ノ七割  
0.7

(四) 申請者ガ相續其ノ他之ニ準ズベキ事由ニ因リ漁業ヲ承繼スルモノナル場合ニ於テハ(一)ノ方針ハ之ヲ適用セズ又(三)ノ方針ニ付テハ七割トアルハ之ヲ八割トシ0.7トアルハ之ヲ0.8トシテ適用スルコト

(五) 同條第一項第六號ニ依ル許可又ハ認可ハ船舶減失ノ日ヨリ六月以内ニ許可又ハ認可申請ヲ爲シタル場合ニ非ザレバ之ヲ爲サザルコト



第三 東經百三十度以東ノ海面（東經百三十度以東東經百六十度以西北緯二十五度以北北緯五十一度以南ノ海面但シ露領沿海州沖合公海ヲ除ク）ヲ操業區域トスルモノヲ除キ機船底曳網漁業ノ許可及起業ノ認可ハ左ノ場合ノ外之ヲ爲サザルコト

- (一) 許可ヲ受ケタル者許可ノ期間滿了ニ因リ更ニ許可ノ申請ヲ爲シタルトキ
- (二) 許可ヲ受ケタル者ヨリ當該許可船舶ヲ讓受ケ若ハ借受ケタル者當該許可船舶ノ返還ヲ受ケタル者又ハ當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ承繼シタル者其ノ船舶ニ付漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ヲ爲シタルトキ

(三) 許可ヲ受ケタル者當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ廢止シ他ノ船舶ニ付漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ヲ爲シタルトキ

(四) 許可ヲ受ケタル者ヨリ其ノ漁業ヲ承繼シタル者當該許可船舶ニ依ル漁業ヲ廢止シ他ノ船舶ニ付漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ヲ爲シタルトキ

(五) 許可ヲ受ケタル者當該許可船舶ガ遭難其ノ他ノ不可抗力ニ因リ沈没其ノ他滅失シタル爲滅失ノ日ヨリ六月以内ニ他ノ船舶ニ付漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ヲ爲シタルトキ

第四 第三ニ依ル許可又ハ認可ニ當リ東經百三十度以西ノ海面（東經百三十度以西、北緯二十五度以北ノ海面但シ北緯三十六度以北ノ日本海ヲ除ク）ノミヲ操業區域トスルモノニ付テハ機船底曳網漁業整理規則ニ規定スルモノノ外尙左ノ方針ニ依ルコト

第三ノ(三)乃至(五)ニ依ル許可又ハ認可ハ従前ノ許可船舶ノ總噸數ヲ超エザル總噸數ノ船舶ニ限り之ヲ爲スコト

第五 東經百三十度以東ノ海面ニ併セ東經百三十度以西ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ漁業ノ承繼人従前ノ操業區域中東經百三十度以東ノ海面ノ部分全部ヲ放棄シ東經百三十度以西ノ海面ノミヲ操業區域トシ第三ニ依ル許可又ハ認可ノ申請ヲ爲ストキハ第四ニ依リ之ヲ處理スルコト

第六 第三ニ依ル許可又ハ認可ニ當リ露領沿岸州沖合公海（豆滿江口中央ヨリ南々東ノ線、北海道禮文島北端ヨリ南西ノ線及東經百四十度ノ線ニ依リ圍マレタル海面）ノミヲ操業區域トスルモノニ付テハ左ノ方針ニ依ルコト

- (一) 總噸數百噸未滿ノ船舶ニ依ル申請ニ對シテハ許可又ハ認可セザルコト
- (二) 第三ノ(三)乃至(五)ニ依ル許可又ハ認可ハ従前ノ許可船舶ノ總噸數ヲ超エザル總噸數ノ船舶ニ限り之ヲ爲スコト

第七 山口縣以東北海道ニ至ル日本海沿海道府縣ニ漁業根據地（漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地）ヲ有シ東經百三十度以東ノ日本海内地沖合海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業（東經百三十度以西ノ海面ヲ併セ操業區域トスルモノヲ除ク）ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ漁業ノ承繼人従前ノ右操業區域ノ部分全部ヲ放棄シ露領沿海州沖合公海ノミヲ操業區域トシ第



三ニ依ル許可又ハ認可ノ申請ヲ爲シタルトキハ第六ニ依リ之ヲ處理スルコト

第八 第三ニ依ル許可又ハ認可ニ當リ東經百三十度以東若ハ以西ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海以外ノ海面ノミヲ操業區域トスルモノニ付テハ左ノ方針ニ依ルコト

第三ノ (三) 乃至 (五) ニ依ル許可又ハ認可ハ從前ノ許可船舶ノ總噸數ヲ超エザル總噸數ノ船舶ニ限り之ヲ爲スコト

第九 東經百三十度以東ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業(東經百三十度以西ノ海面ヲ併セ操業區域トスルモノヲ除ク)ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ漁業ノ承繼人從前ノ右操業區域ノ部分全部ヲ放棄シ東經百三十度以東若ハ以西ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海以外ノ海面ノミヲ操業區域トスル第三ニ依ル許可又ハ認可ノ申請ヲ爲シタルトキハ第八ニ依リ之ヲ處理スルコト尙試驗的出漁其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テハ東經百三十度以西ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ漁業ノ承繼人從前ノ右操業區域ノ部分全部ヲ放棄シ東經百三十度以東若ハ以西ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海以外ノ海面ノミヲ操業區域トスル第三ニ依ル許可又ハ認可ノ申請ニ付テモ亦第八ニ依リ之ヲ處理スルコト

第十 機船底曳網漁業整理規則第一條第一項第四號乃至第六號及第三ノ (三) 乃至 (五) ニ依ル許可又ハ認可ハ二隻以上ノ許可船舶ニ代ヘ其ノ隻數ヲ超エザル隻數ノ船舶ニ依ル漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ニ對シテモ之ヲ爲スコヲ得ルコト此ノ場合ニ於テ第二ノ (二) 乃至 (四) 第四、

第五、第六ノ (二) 又ハ第七乃至第九ノ方針ハ船舶總噸數ノ合計噸數ニ付之ヲ適用シ個々ノ船舶ノ總噸數ニ付テハ之ヲ適用セザルコト

第十一 起業ノ認可ニ基ク漁業ノ許可ノ申請ニシテ認可書ニ記載シタル船舶總噸數ヲ超ユル總噸數ノ船舶ニ依リ爲シタルモノニ對シテハ許可セザルコト

第十二 他人ノ起業ノ認可ヲ承繼シ又ハ承繼スル結果トナルベキ漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ニ對シテハ許可又ハ認可セザルコト

第十三 昭和九年八月一日現在ノ許可船舶ニ付許可ヲ受ケタル馬力ニ依ル機關ヲ引續キ使用セントスル場合ヲ除キ船舶總噸數ト機關ノ馬力トノ比ニ付左ノ標準ヲ超ユル船舶ニ依ル漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ノ申請ニ付テハ許可又ハ認可セザルコト機關ノ馬力ヲ變更セントスル許可ノ申請ニ付亦同様ナルコト

(一) 總噸數二十噸以上ノ船舶ニ付

總噸數一ニ對シ機關ノ馬力(公稱馬力)三

(二) 總噸數二十噸未満ノ船舶ニ付

總噸數一ニ對シ機關ノ馬力(本通牒四ノロノ2ニ依リ算出シタル純馬力)三・五

第十四 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ漁業根據地(漁業根據地二以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地)ヲ其ノ所在ノ道府縣ノ區域外ノ場所ニ變更セントスル漁



業根據地變更ノ許可ノ申請ニ對シテハ之ヲ許可セザルコト

第十五 操業區域變更ノ許可ノ申請左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ許可セザルコト但シ第十七及第十八ニ依リ許可スルコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

(一) 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ操業區域ニ附加シ又ハ之ヲ變更シ新ニ從前ノ操業區域以外ノ海面ヲ操業區域トセントスルモノナルトキ但シ禁止區域改正ノ結果操業區域ノ全部又ハ大部分ガ禁止區域トセラレタル場合ニ於テ從前ノ操業區域ト隣接スル海面ヲ新ニ操業區域トセントスルトキヲ除ク

(二) 東經百三十度以東ノ海面ニ操業區域ヲ有セザル機船底曳網漁業ノ操業區域ニ附加シ又ハ之ヲ變更シ新ニ東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トセントスルモノナルトキ

(三) 東經百三十度以西ノ海面ニ操業區域ヲ有セザル機船底曳網漁業ノ操業區域ニ附加シ又ハ之ヲ變更シ新ニ東經百三十度以西ノ海面ヲ操業區域トセントスルモノナルトキ

(四) 東經百三十度以東及以西ノ兩海面ニ互リ操業區域ヲ有スル機船底曳網漁業ノ操業區域ヲ變更シテ東經百三十度以東ノ海面ノミヲ操業區域トセントスルモノナルトキ但シ機船底曳網漁業整理規則ニ依リ殘存船舶ノ承認ヲ受クル爲必要アル場合ヲ除ク

第十六 東經百三十度以西ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ操業區域ニ附加シ又ハ之ヲ變更シ新ニ東經百三十度以東若ハ以西ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海以外

ノ海面ヲ操業區域トスル操業區域變更ノ許可ノ申請ハ試驗的の出漁其ノ他特別ノ事由アル場合ニ限り之ヲ許可スルコト

第十七 機船底曳網漁業整理規則ニ依リ殘存船舶ノ承認ヲ受ケタル船舶ニ依ル機船底曳網漁業ノ操業區域變更ノ許可ノ申請ニ對シテハ同則別表ニ於テ當該漁業ノ漁業根據地(漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地)ノ所在スル道府縣ノ掲ケラルル項ニ記載セラルル海面ノ範圍内ヲ操業區域トセントスル場合又ハ東經百三十度以東若ハ以西ノ海面又ハ露領沿海州沖合公海以外ノ海面ヲ操業區域トセントスル場合ニ限り之ヲ許可スルコト

第十八 露領沿海州沖合公海ヲ操業區域トセザル機船底曳網漁業ノ操業區域ニ附加シ又ハ之ヲ變更シ新ニ露領沿海州沖合公海ヲ操業區域トスル操業區域變更ノ許可ノ申請ハ左ノ要件ヲ具備スルニ非ザレバ之ヲ許可セザルコト

- (一) 總噸數三十噸以上ノ船舶ニ依ルモノナルコト
- (二) 山口縣以東北海道ニ至ル日本海沿海道府縣ニ漁業根據地(漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地)ヲ有シ東經百三十度以東ノ日本海内地沖合海面ヲ操業區域トスルモノ東經百三十度以西ノ海面ヲ併セ操業區域トスルモノヲ除ク)ナルコト
- (三) 許可ニ際シ自四月一日至十月三十一日期間内地沖合海面ニ於ケル機船底曳網漁業ノ操業ヲ禁止スル旨ノ條件制限ヲ附セラルルコトニ付支障ナキ旨ノ誓約ヲ爲シタルモノナルコト

第十九 露領沿海州沖合公海ノ操業區域ヲ許可セラルベキ機船底曳網漁船ノ數ハ六十隻ヲ限度トスルコト



第二十 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ漁業名稱變更ノ許可ノ申請ハ  
二艘曳機船底曳網漁業ヲ一艘曳機船底曳網漁業ニ變更セントスル場合ノ外之ヲ許可セザルコト

### 機船底曳網漁業取締規則ニ對スル行政處分

#### 方針ニ關スル件 (昭和十二年九月十八日一二水第一二五五號) 農林次官發沿海各地方長官宛

機船底曳網漁業違反事件ニ對シテハ從來ヨリ嚴重行政處分相成居候處今般機船底曳網漁業整理規則  
並ニ機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則等制定セラレ逐年相當隻數ノ同漁業ヲ整理轉業セシムルコト  
相成タルトニ伴ヒ同漁業違反事件取締ノ徹底強化ヲ圖リ由テ以テ違反ノ防止及漁業秩序ノ維持ヲ期  
スルト共ニ前記機船底曳網漁業整理ノ遂行ヲ圓滑ナラシムルノ要緊切ナリト被認別紙行政處分方針  
ノ通相當強化實施ノコトト相成候ニ付テハ右ニテ委曲御了知ノ上一層取締ノ徹底方ニ付御配意相成  
度尙今般農林省令第四十一號ニ依リ機船底曳網漁業取締規則中改正ヲ行ヒ同規則第二十四條ニ依リ  
行フ地方長官ノ碇泊處分ノ碇泊期間ノ限度ヲ六十日ニ延長相成候ニ付テハ右規定ノ運用ニ當リテハ  
前記行政處分方針ニ基キ農林大臣ノ行フベキ行政處分ノ實行ノ確保ニ一段ノ御留意相成度貴管下當  
業者ニモ右趣旨周知方御取計相成度依命此段及通牒候也

追而從前機船底曳網漁業取締規則施行ニ關シ發シタル昭和九年八月一日附九水第五一六八號通牒  
記ノ十ノ(一)乃至(六)ヲ別紙行政處分方針第二甲ノ(一)乃至(七)ノ通改メタル義ニ付御了知相成度申添候

#### 機船底曳網漁業取締規則違反ニ對スル行政處分方針

機船底曳網漁業取締規則第二十一條第二項ノ規定ニ依ル處分ハ左ノ各號ニ依ル尙漁業ノ停止處分ヲ  
爲シタルトキハ其ノ停止期間中同規則第二十三條ノ規定ニ依ル碇泊處分ヲ併セ行フ

第一 機船底曳網漁業者同規則第二十一條第二項ノ規定ニ依ル漁業停止ノ處分ニ違反シテ機船底曳  
網漁業ヲ爲シタル場合ハ其ノ違反漁船ニ付漁業許可ノ取消ヲ行フ

第二 機船底曳網漁業者甲ノ各號ノ一ニ該當スル違反ヲ爲シタルトキハ乙及丙ノ規定ニ從ヒ當該違  
反漁船ノ許可ニ付處分ヲ行フ

甲

- (一) 禁止區域内ニ於テ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (二) 許可ヲ受ケタル操業區域ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (三) 同規則第九條第一項ノ規定ニ依ル禁止ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (四) 同規則第十條ノ規定ニ違反シテ機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (五) 許可ヲ受ケタル漁業名稱ニ違反シテ二艘曳機船底曳網漁業ヲ爲シタルトキ
- (六) 同規則第十三條ノ規定ニ違反シタル場合ニシテ一乃至三ノ所爲アリタル疑アルトキ
- (七) 第一ニ該當スル場合ヲ除クノ外同規則第二十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止ノ處分又ハ第



二十三條若ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依ル碇泊處分ニ違反シタルトキ

乙

- (一) 甲ノ(一)乃至(三)ノ場合ニ在リテハ漁業許可ノ取消ヲ行フ但シ初犯ニ限り情狀ニ依リ取消ニ代ヘ百日間以上ノ漁業停止ヲ行フコトアルベシ尙甲ノ(一)乃至(三)ノ違反ニシテ昭和十二年八月以前ノ所爲ニ係ルモノハ乙ノ(二)ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

- (二) 甲ノ(四)乃至(七)ノ場合ニ在リテハ

- (イ) 初犯ニ對シテハ五十日間ノ漁業停止ヲ、二犯ニ對シテハ百日間ノ漁業停止ヲ行フ但シ情狀ニ依リ其ノ漁業停止期間ヲ延長スルコトアルベク又初犯又ハ二犯ト雖モ漁業許可ノ取消ヲ行フコトアルベシ

- (ロ) 三犯ニ對シテハ漁業許可ノ取消ヲ行フ

- (ハ) (イ)ノ場合ニシテ漁業停止ヲ行フ場合ニ於テハ情狀ニ依リ之ニ附加シテ漁業許可ノ制限ヲ行フコトアルベシ

- (三) 丙ノ(一)乃至(三)ニ掲グル場合ニシテ従前ノ許可ニ付乙ニ定ムル漁業停止ノ全部又ハ一部ヲ行フコト能ハザリシ場合ニ於テハ其ノ處分ヲ行フコト能ハザリシ期間ニ相當スル期間ノ漁業停止處分ヲ新ニ受ケタル許可ニ付行フ

- (四) 甲ノ各號ノ違反ニ對シ機船底曳網漁業取締規則第二十四條ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ

碇泊處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ碇泊期間ニ相當スル期間ノ全部又ハ一部ヲ前記(一)又

ハ(二)ニ定ムル漁業停止期間中ヨリ控除スルコトアルベシ

- 丙 犯數計算ハ昭和八年一月一日以後當該漁船ノ許可ニ付行ハレタル行政處分ノ回數(乙ノ(三)

ニ掲グル場合ハ前後ヲ通ジ一回ト看做ス)ニ依ル但シ左ニ掲グル場合ニ在リテハ其ノ新ニ受ケタル許可ハ犯數計算ニ付テハ之ヲ従前ノ許可ト同一ナルモノト看做ス

- (一) 機船底曳網漁業者ガ従前ノ許可船舶ノ代船ニ依リ新ニ許可ヲ受ケタルトキ

- (二) 機船底曳網漁業者ガ許可期間滿了ニ因リ従前ノ許可船舶ニ依リ新ニ許可ヲ受ケタルトキ

- (三) 許可ノ船舶ヲ讓受ケ、借受ケ又ハ返還ヲ受ケタル者ガ其ノ許可ニ付其ノ船舶又ハ其ノ船

舶ノ代船ニ依リ新ニ許可ヲ受ケタルトキ第三 第一及第二ニ掲グル以外ノ違反ニ付テハ違反行為ノ情狀ニ依リ相當ノ處分ヲ行フ

### 無許可機船底曳網漁業及無許可汽船「トロール」

### 漁業ニ對スル行政處分方針ニ關スル件

(昭和十二年九月十八日一二水第一二二五六號)  
水産局長發沿海各地方長官宛

曩ニ機船底曳網漁業整理規則並ニ機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則等ノ制定公布ニ依リ機船底曳網



漁業ノ整理轉換計畫ヲ實施スルコト相成候處右ニ關聯シ更ニ許可ヲ受ケズシテ機船底曳網漁業又ハ汽船「トロール」漁業ヲ爲ス者ニ對シテ其ノ取締ノ徹底ヲ圖リ之ガ根絶ヲ期スルノ必要有之候ニ付テハ之等所謂無許可機船底曳網漁業者及無許可汽船「トロール」漁業者ニ對シ嚴重ナル行政處分ヲ爲スコトトシ今般農林省令第四十一號並ニ第四十二號ヲ以テ機船底曳網漁業取締規則中改正並ニ汽船「トロール」漁業取締規則中改正ヲ行ヒ之ガ取扱方ニ付別紙ノ通「無許可機船底曳網漁業及無許可汽船「トロール」漁業ニ對スル行政處分方針」相定メラレ候ニ付テハ右御了知ノ上沿海地方警察官其ノ他ヲ十分督勵シ之ガ取締ノ徹底方ニ付萬遺漏ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也  
 追而貴管下漁業者ニ對シ本件趣旨周知方御取計相成度右申添候

無許可機船底曳網漁業及無許可汽船「トロール」漁業ニ對スル行政處分方針

第一

機船底曳網漁業取締規則第二十五條ノ二第一項又ハ汽船「トロール」漁業取締規則第三十

一條ノ二第一項ノ規定ニ依リ農林大臣ノ行フ碇泊處分ノ碇泊期間ハ左ノ標準ニ依ルモノトス但シ情狀又ハ取締ノ必要ニ依リ其ノ期間ヲ延長シ又ハ短縮スルコトアルベシ

(一) 初犯ニ在リテハ 總噸數十噸未滿ノ船舶ニ對シテハ六十日、十噸以上ノ船舶ニ對シテハ百日

噸以上ノ船舶ニ對シテハ百日

(二) 二犯ニ在リテハ 總噸數十噸未滿ノ船舶ニ對シテハ百日、

十噸以上ノ船舶ニ對シテハ百五十日

(三) 三犯以上ニ在リテハ總噸數十噸未滿ノ船舶ニ對シテハ百五十日以上、

十噸以上ノ船舶ニ對シテハ二百日以上

備考

第二ニ依リ地方長官ニ於テ碇泊處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ碇泊期間ニ相當スル期間ノ全部又ハ一部ヲ前記(一)乃至(三)ニ定ムル碇泊期間中ヨリ控除スルコトアルベシ

第二 機船底曳網漁業取締規則第二十五條ノ二第一項又ハ汽船「トロール」漁業取締規則第三十  
 一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル地方長官ノ碇泊處分ハ第一ニ基キテ行フベキ農林大臣ノ碇泊處分ノ實行ヲ確保スル爲豫メ之ヲ行フモノトス

第三 地方長官其ノ管轄區域内ニ於テ機船底曳網漁業取締規則第二十五條ノ二第一項又ハ汽船「トロール」漁業取締規則第三十一條ノ二第一項ノ規定ニ該當スル漁船(以下無許可漁船ト稱ス)アリト認ムルトキハ直ニ聽取書及始末書各二通ヲ作成シ之ニ對シ碇泊處分ヲ行フモノトス

第四 地方長官無許可漁船ニ對シ碇泊處分ヲ爲シタルトキハ左記様式ニ依ル違反事件報告書ニ前記第二ニ掲グル聽取書及始末書各一通ヲ添へ農林大臣ニ報告スルモノトス

記

違反事件報告書ノ様式



- (一) 漁業者ノ住所氏名
- (二) 違反船船長ノ住所氏名
- (三) 船舶所有者ノ住所氏名
- (四) 船名、總噸數及船鑑札番號又ハ船舶番號
- (五) 違反年月日又ハ檢舉年月日
- (六) 違反ノ場所(操業位置ヲ示ス圖面添附ノコト)又ハ檢舉ノ場所
- (七) 違反漁船發見ヨリ檢舉ニ至ル迄ノ經過
- (八) 檢舉ニ使用シタル船舶アラバ其ノ所屬先及船名
- (九) 檢舉者ノ官職氏名
- (十) 告發シタル警察署名又ハ檢事局名
- (十一) 碇泊期間及碇泊港
 

自	年	月	日	日間	港
至	年	月	日		

第五 地方長官其ノ管轄區域内ノ無許可漁船ニ付機船底曳網漁業取締規則第二十五條ノ三又ハ汽船「トロール」漁業取締規則第三十一條ノ三ノ規定ニ依ル命令ヲ爲ス場合ニ於テハ第二及第四ニ準ジ聽取書及始末書ヲ作成シ之ヲ農林大臣ニ報告スルモノトス地方長官專ラ違反操業ニ使用モラルルモノト認ムル漁具捲揚裝置其ノ他ノ設備ノ撤去ヲ命ズル以外ノ處分ヲ爲サン

トスルトキハ豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

### 板曳漁業ノ解釋ニ關スル件

昭和十年九月三日一〇水第三四〇號  
水産局長發沿海地方長官宛

近時機船底曳網漁業者ニシテ板曳、棒曳其ノ他ノ名稱ノ下ニ「オツタートロール」ヲ使用シ操業スル向モ有之哉ニ仄聞致候處右ハ假令機船底曳網漁業ノ許可ヲ有スル者ガ爲ス場合ト雖モ汽船「トロール」漁業取締規則第一條ノ汽船「トロール」漁業ノ無許可操業其ニ該當シノ行爲ハ漁業法第五十九條ノ規定ニ依リ五千圓以下ノ罰金ニ處セラル可キモノト被認候ニ付テハ右ニ關シ貴管下機船底曳網漁業者ニ嚴重警告ヲ發シ右様ノ行爲ヲ爲スガ如キコトナキ様取締勵行方御取計相成度此段及通牒候也

### 機船底曳網業廢止船舶ノ使途ニ關スル件

(昭和十年九月三十日一〇水第三〇五五號)  
水産局長發沿海地方長官宛

客年八月一日附九水第五一六八號農林次宜通牒記第五ノ(二)ニ依ル許可ヲ受ケタル船舶ノ代船ニ依リ機船底曳網漁業ノ許可又ハ起業ノ認可ヲ申請スル場合ノ從來ノ船舶ノ處置方ヲ記載セル届書ニ關シテハ其ノ記載ガ事實ト相違ナキヤ否ヤ相當御留意相成居候コトハ思料候ヘ共實例ニ徴スレバ往々ニ



シテ届出ノ使途ト實際ノ使途ト異ナルモノアリ甚タシキハ無許可機船底曳網漁業ノ操業ニ使用セラレタル事例スラモアリ漁業取締上眞ニ憂慮ニ不堪モノ有之候條爾今必ズ右廢業船舶ノ使途ニ關シテハ届出ノ通相違ナキモノナリヤ否ヤ實地ニ付精細ニ取調ノ上其ノ結果竝ニ無許可機船底曳網漁業ノ操業ニ使用セラルルカ如キ虞ナキヤ否ヤ貴見ヲ附シ副申相成様致度此段及通牒候也

### 印鑑證明届ニ關スル件

(昭和十一年十二月七日 一局第四〇七七號)  
水産局長 發 沿海地方長官宛

囊ニ昭和九年八月一日附九水第五一六八號ヲ以テ通牒相成候機船底曳網漁業反締規則施行ニ關スルノ中記ノ(五)ノ(ハ)ニ於テ他人ノ機船底曳網漁業ヲ承繼シ許可又ハ起業ノ認可ヲ申請スル場合ハ承繼前件漁業者ニ於テ承繼セラルベキ漁業ヲ廢止スルコトヲ證スル書面ヲ提出セシムルコト、相成居候處爾今事務ノ處理上一層適正ヲ期スル爲右書面ニ使用スル印鑑ニ付テハ必ズ印鑑證明書ヲ添附セシムルコト、致度候條右ニ依リ可然指導相成度此段及通牒候也

### 機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則

(昭和十二年八月九日)  
農林省令第三十二號

第一條 農林大臣ハ内地近海漁場ノ維持恢復ヲ圖リ沿岸漁業ノ振興ニ資スル目的ヲ以テ機船底曳網

漁業ノ整理轉換ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル道府縣ノ補助金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス

一 機船底曳網漁業廢業者ガ左ニ掲グル業務ヲ營ム爲ニ要スル漁船、漁具等ノ新造費、改造費、購入費其ノ他ノ起業費ニ對シ交付スル補助金(起業獎勵金)

- (一) 一本釣漁業、延繩漁業其ノ他ノ釣漁業
- (二) 刺網漁業、流網漁業其ノ他ノ網漁業
- (三) 其ノ他農林大臣ニ於テ適當ト認ムル漁業
- (四) 漁獲物ノ運搬其ノ他漁業ニ附帶スル業務

二 前號ノ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ガ其ノ業務ヲ營ム爲ニ要スル事業費ニ對シ交付スル補助金(事業獎勵金)

第三條 前條ニ於テ機船底曳網漁業廢業者ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

- 一 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業又ハ船舶總噸數三十噸未滿ノ船舶ニ依リ東經百三十度以西ノ海面ノミヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ機船底曳網漁業整理規則施行後機船底曳網漁業取締規則第十八條第一項各號ニ掲グル事由ニ因リ許可ノ效力ヲ失フニ至リタルモノ又ハ其ノ包括承繼人但シ當該許可船舶又ハ之ニ代ルベキ他ノ船舶ニ付機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタル者アル場合又ハ之ニ準ズベキ場合ハ此ノ限ニ在



ラズ

二 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業又ハ船舶總噸數三十噸未滿ノ船舶ニ依リ東經百三十度以西ノ海面ノミヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ機船底曳網漁業整理規則施行後許可ノ期間滿了ニ因リ許可ノ效力ヲ失フニ至リタルモノ又ハ其ノ包括承繼人但シ引續キ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

三 前二號ノ機船底曳網漁業廢業者ノ廢業ノ當時當該漁業ノ從業者タリシ者ノ半數以上ヲ以テ組織スル團體但シ前二號ノ機船底曳網漁業廢業者ガ前條ノ補助金ノ交付ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 獎勵金ノ額ハ起業獎勵金ニ在リテハ起業費ノ十分ノ三以内、事業獎勵金ニ在リテハ事業費ノ十分ノ二以内トス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ獎勵金ハ前項ノ割合ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添付シ毎年二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書
- 三 補助及監督ニ關スル規程

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第六條 起業獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣又ハ事業獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣前條第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 起業獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ精算書ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第九條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該

當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ

- 一 一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附則

本令ハ昭和十二年八月十四日ヨリ之ヲ施行ス



第五條第一項中毎年二月末日迄トアルハ昭和十二年度ニ限り十月三十一日迄トス

一一八

### 機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則施行ニ關スル件

(昭和十二年八月一八日一二水第一〇四八八號)  
水産局長發沿海地方長官宛

今般昭和十二年八月九日附農林省令第三十二號ヲ以テ機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則制定公布相成候處右ハ内地近海漁場ノ維持恢復ヲ圖リ沿岸漁業ノ振興ニ資スル目的ヲ以テ機船底曳網漁業ノ整理轉換ヲ獎勵セントスル趣旨ニ出ヅルモノニシテ左記交付要項ニ依リ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候條右御了知ノ上本獎勵ノ目的達成方ニ付特別ノ御配慮相煩度又管下當業者ニモ本獎勵ノ趣旨周知方至急御取計相成度依命此段及通牒候也

追而本年度ニ於ケル獎勵金交付申請期限ハ昭和十二年十月三十一日ニ有之候條特ニ取急ギ交付申請方御取計相成度尙毎年五月三十一日迄ニ翌年度ニ於ケル助成見込船舶ノ隻數及總噸數並ニ整理見込機船底曳網漁船ノ隻數及總噸數ヲ取纏メ報告相成度申添候

#### 機船底曳網漁業整理轉換獎勵金交付要項

一 機船底曳網漁業廢業者ガ東經百三十度以東(機船底曳網漁業整理規則第十六條第一項參照以下同ジ)又ハ以西ノ海面ニ操業區域ヲ有スル機船底曳網漁業ニ轉換スル場合ニハ獎勵金ハ之ヲ交付セズ

二 規則第二條第一號(三)ノ農林大臣ニ於テ適當ト認ムル漁業トハ漁船隊式漁業其ノ他ノ特殊遠洋漁業又ハ魚介藻類養殖業其ノ他地方ノ實情ニ應ジ適當ト認ムル漁業ヲ謂フ

三 規則第二條第一號(四)ノ漁業ニ附帶スル業務トハ漁業用曳船、釣餌料蓄養設備、簡易ナル水産物ノ處理加工設備其ノ他之ニ準ズル設備ニ依ル業務ヲ謂フ

四 規則第三條第一號但書ノ之ニ準ズベキ場合トハ同條同號ニ依リ許可ノ效力ヲ失フニ至リタル當該機船底曳網漁船ノ總噸數ヲ補充トシ他ノ船舶ニ付機船底曳網漁業ノ許可若ハ總噸數増加ノ許可ヲ受ケタル者アル場合又ハ當該機船底曳網漁船ニ代ルベキ他ノ船舶ニ付起業ノ認可ヲ受ケタル者アル場合其ノ他之ニ準ズベキ場合ヲ謂フ

五 獎勵金交付ノ額ハ原則トシテ整理セラルベキ機船底曳網漁船ノ總噸數ニ相當スル總噸數ヲ有スル船舶ニ依リ業務ヲ營ム爲要スル起業費又ハ事業費ヲ基準トシテ六又ハ七ニ依ル割合ニ依リ之ヲ算出シタル金額ノ範圍内トス但シ實際計畫ニ基ク起業費又ハ事業費ヲ基準トシテ六又ハ七ニ依ル割合ニ依リ算出シタル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

六 起業獎勵金交付ノ額ハ左ノ各號所定ノ率ニ依ルモノトス

(一) 許可期間滿了ノ少クトモ一年前ニ於テ且昭和十七年三月三十一日迄ニ機船底曳網漁業ヲ廢業

一一九



シタル者が整理轉換スル場合但シ(三)ニ該當スル場合ハ之ヲ除ク

(イ) 東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トシ機船底曳網漁業整理規則別表ニ掲グル道府縣以外ノ縣ニ漁業根據地(漁業根據地ニ以上アル場合ニ於テハ主タル漁業根據地)ヲ有スル機船底曳網漁業ヲ廢業シタル者(以下全廢海區廢業者ト稱ス)ニ在リテハ

起業費ノ五割以内

(ロ) (イ)以外ノ廢業者ニ在リテハ

起業費ノ四割以内

(二) 昭和二十年三月三十一日迄ニ機船底曳網漁業ヲ廢業シタル者が整理轉換スル場合但シ(一)及(三)ニ該當スル場合ハ之ヲ除ク

起業費ノ三割以内

(三) 機船底曳網漁業廢業者ガ東經百三十度以東又ハ以西ノ海面ニ操業區域ヲ有セザル機船底曳網漁業ニ整理轉換スル場合但シ(四)ニ該當スル場合ハ之ヲ除ク

起業費ノ二割以内

四) 昭和二十年四月一日以後ニ於ケル機船底曳網漁業廢業者ガ整理轉換スル場合

起業費ノ一割以内

七 事業獎勵金ハ原則トシテ起業獎勵金交付ノ翌年度ニ於テ之ヲ交付シ事業費ノ二割以内トス但シ六ノ(一)ニ依リ又ハ特ニ新規漁業若ハ新規漁場ノ開發ヲ目的トスル漁業ニ對シ起業獎勵金ヲ交付シタル場合ニ於テハ事業費ノ三割迄之ヲ増加スルコトアルベシ

八 道府縣ニ於テ支出濟ト爲リタル補助金ヲ返納セシメ之ヲ歲入ニ組入レタル場合ニ於テハ事由ヲ具シ速カニ農林大臣ニ報告スベシ

九 獎勵金ノ交付申請書ハ規則第二條各號別ニ之ヲ提出スルモノトス

十 獎勵金ノ交付申請書ニハ船舶又ハ設備毎ニ左ノ事項ヲ記載シタル事業計畫書ノ外別記様式ニ依ル補助計畫豫定表ヲ添付スベシ

甲 起業獎勵金交付申請ニ關スルモノ

(一) 補助金ノ交付ヲ受クル者ノ住所、氏名又ハ名稱

備考 補助金ノ交付ヲ受クル者ガ規則第三條第三號ノ團體ナル場合ニ在リテハ機船底曳網

漁業者ガ補助金ノ交付ヲ受ケザル事情ヲ記載シ且同團體ガ同條同號ノ適格ヲ有スルモノ

ナルコトヲ明記スルコト

(二) 整理セラルル機船底曳網漁船ノ船名、許可番號及船舶總噸數並ニ整理後ノ用途其ノ他ノ處



- (三) 業務ノ種類、場所、期間若ハ方法其ノ他業務計畫ノ概要（別記様式二ニ依ル船舶件名書又ハ設備明細書ヲ添付スルコト）
  - (四) 機船底曳網漁業廢業ノ當時當該漁業ノ從業者タリシ者ノ數及引續キ雇傭スベキ者ノ數並ニ解雇サルル者ニ對スル處置ノ概要
  - (五) 起業費收支概算（別記様式三ニ依リ記載スルコト）
  - (六) 其ノ他參考トナルベキ事項
- 乙 事業獎勵金交付申請ニ關スルモノ
- (一) 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ住所、氏名又ハ名稱
  - (二) 規則第二條第一號ノ補助金交付年月日及交付金額
  - (三) 業務ノ種類及補助金ノ交付ヲ受ケントスル年度ニ於ケル業務計畫概要（漁船検査證書寫又ハ船鑑札寫ヲ添付スベシ）
  - (四) 事業費收支概算（別記様式四ニ依リ記載スルコト）
  - (五) 其ノ他參考トナルベキ事項
- 十一 規則第五條第一項第二號ノ收支豫算書ハ必ズ豫算ノ款項目ヲ明示スルノ形式ニ依リ其ノ内譯ヲモ詳記シ其ノ算出ノ基礎ヲ記載シタルモノナルコトヲ要ス

- 十二 規則第五條第一項第三號ノ補助及監督ニ關スル規定中ニハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ガ整理セラレタル當該機船底曳網漁船又ハ他ノ船舶ニ依リ無許可機船底曳網漁業ヲ營ミタル場合ニ於テハ既ニ交付シタル補助金ヲ還付ヲ命ズルコトアルベキ旨ノ規定ヲ設クルコトヲ要ス
  - 道府縣ヨリ補助金ヲ交付スル場合ニハ前項ノ趣旨ノ條件ヲ附スルコトヲ要ス
  - 十三 規則第七條ノ精算書ハ別記様式五ニ依リ之ヲ作成スルモノトス
  - 前項ノ精算書ニハ船舶又ハ設備毎ニ別記様式三ニ準ジ作成シタル收支精算書及整理セラレタル機船底曳網漁船ニ付整理ノ結果其ノ他整理後ノ狀況ヲ詳細ニ記載シタル書類ヲ添付スベシ
  - 十四 規則第八條ノ事業ノ成績書ハ船舶又ハ設備毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ且別記様式一ニ準ジ作成シタル補助成績表ヲ添付スベシ
- 甲 起業獎勵金ニ關スルモノ
- (一) 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ住所、氏名又ハ名稱
  - (二) 補助金ノ交付ヲ受ケタル業務ノ要項
  - (三) 其ノ他施設後ノ狀況ニ付參考トナルベキ事項
- 乙 事業獎勵金ニ關スルモノ
- (一) 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ノ住所、氏名又ハ名稱
  - (二) 業務ノ種類、場所、期間其ノ他業務實施ノ概要







- 五 總噸數
- 六 機關ノ種類及馬力
- 七 船體、機關其ノ他設備ノ製造若ハ改造場所又ハ購入先
- 八 豫定起工又ハ購入年月日
- 九 豫定竣工年月日
- 十 所有者住所氏名

備考 機船底曳網漁船ヲ改造ノ場合ニ於テハ改造ノ前及後ニ區別シテ記載スルコト

(二) 設備明細書

(一)ニ準ジ適當ニ記載スルコト

様式 三  
起業費收支概算

收入

科	目	金額	備考
道府縣補助金	々々		
計			

備考

何々トアル項ニハ道府縣補助金以外ノ設備財源ヲ明細ニ記載スルコト

支出

科	目	金額	備考
船體新造(購入)費			
機關新造(購入)費			
漁具新調(購入)費			
計			

備考

漁船以外ノ設備ニ依ルモノニ付テハ之ニ準ジ適當ニ記載スルコト

様式 四  
事業費收支概算

收入



計	何	何	道府縣補助金	科目
	々	々		目
				金額
				備考

備考

何々トアル項ニハ道府縣補助金以外ノ設備財源ヲ明細ニ記載スルコト

支出

計	其ノ他諸雜費	起業費償却費	漁具修繕補給費	船體機關修繕費	乘組員諸給與	水料	燃水料	科目
								目
								金額
								備考

備考

漁船以外ノ設備ニ依ルモノニ付テハ之ニ準ジ適當ニ記載スルコト

様式五

精算書

計	起業獎勵金 交付許可年月日	業務種類	補助金ノ交 付ヲ受ケタル者 ノ氏名又ハ名稱	施設完了 年月日	起業費總額 豫算額 精算額	國庫獎勵金 交付許可 金額 請求額	道府縣負擔額 豫算額 精算額



關  
係  
規  
則

The right page of the book is a blank, aged, cream-colored page. It features a faint, light blue grid pattern, characteristic of a ledger or account book. The grid consists of approximately 10 columns and 15 rows, with a slightly larger margin on the left side, possibly for a header or description. The lines are very thin and the overall appearance is that of a ghosted or printed template on a blank sheet of paper.







日ヨリ一年内又ハ特ニ指定シタル期間内ニ船舶毎ニ願書一通ヲ作り之ニ左ノ書類ヲ添ヘ農林大臣ニ差出スヘシ

一 船舶國籍證書寫

二 漁船検査證書寫

三 族籍及住所ヲ記載シタル船長ノ履歷書

四 起業認可指令書寫

農林大臣ニ於テ已ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ前項ノ期間ノ延長ヲ認可スルコトアルヘシ

第三條ノ二 汽船「トロール」漁業ヲ許可ス可キ船數ハ七十隻以内トス

前項ノ規定ハ内地、近海、東海及黃海以外ノ海面ニ於テノミ操業スル汽船「トロール」漁業ニ之ヲ適用セス

第三條ノ三 汽船「トロール」漁業ノ許可ノ期間ハ十年以内トス

第三條ノ四 第二條ノ規定ハ汽船「トロール」漁業許可ノ期間滿了後三月以内ニ汽船「トロール」

漁業ノ許可ヲ受ケムトスル場合ニ之ヲ適用セス

前項ノ場合ニ於テハ船舶毎ニ願書一通ヲ作り之ニ漁船検査證書寫、族籍及住所ヲ記載シタル船長ノ履歷書ヲ添ヘ農林大臣ニ差出スヘシ

第三條ノ五 農林大臣ニ於テ第二條ノ認可又ハ第三條ノ許可ニ關シ必要アリト認ムルトキハ船體及機關ノ検査ヲ爲スコトアルヘシ

第四條 二人以上共同シテ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ一人ノ代表者ヲ定メ之ヲ願書ニ記載スヘシ

第五條 農林大臣汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ爲シタルトキハ許可證ヲ交付ス

第六條 汽船「トロール」漁業者操業區域又ハ漁獲物陸揚港ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ノ許可ヲ受クヘシ

船舶國籍證書及漁船検査證書ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ寫ヲ遲滞ナク農林大臣ニ差出スヘシ但シ船長ノ變更ニ因ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 許可證ヲ亡失毀損シ又ハ許可證ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ許可證ノ再交付又ハ訂正ヲ受クヘシ

第八條 汽船「トロール」漁業者死亡シ又ハ解散シタル時ハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ其ノ相續人又ハ合併後存續スル會社若ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ニシテ汽船「トロール」漁業ヲ繼續シテ營ムトキハ此ノ限ニ在ラス前項但書ノ場合ニ於テハ相續又ハ合併ヲ證明スヘキ書類及被相續人又ハ消滅シタル會社ノ有シタル許可證ヲ添ヘ死亡又ハ解散ノ日ヨリ三十日以内ニ許可證ノ書換ヲ受クヘシ



第九條 (削除)

第十條 前條ノ規定ハ起業ノ認可ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十一條 「トロール」汽船沈没シ又ハ之ヲ讓渡シ若ハ貸付シタルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ他人ノ船舶ヲ借入レ汽船「トロール」漁業ヲ營ム者其ノ船舶ヲ返還シタルトキ亦前項ニ同シ

前二項ノ規定ハ汽船「トロール」漁業者カ他ノ汽船「トロール」漁業者ヨリ「トロール」汽船ヲ讓受ケ、若ハ借受ケ又ハ貸付シタル船舶ノ返還ヲ受ケテ汽船「トロール」漁業ヲ營ムトスル場合ニ之ヲ適用セス

前項ノ場合ニ於テハ讓受ケ、借受ケ又ハ返還ヲ受ケタルコトヲ證スル書類及許可證ヲ添ヘ讓受ケ借受ケ又ハ返還ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ許可證ノ書換ヲ受ケヘシ

第十二條 汽船「トロール」漁業ヲ廢止シ又ハ其ノ許可ヲ取消サレ若ハ許可ノ效力ヲ失ヒタルトキハ直ニ許可證ヲ返納スヘシ但シ己ムコトヲ得サル事由ニ因リテ之ヲ返納スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第八條ノ規定ニ依リ許可ノ效方ヲ失ヒタルトキハ相續人又ハ清算人ヨリ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 汽船「トロール」漁業ヲ營ム船舶ハ長幅及深ノ相乘積數三萬以上、總噸數二百噸以上ノ鋼製ニシテ二千哩以上ノ航走ニ要スル専用石炭庫又ハ油槽ヲ備ヘ最快速力十一節以上タルコトヲ

要ス

前項ノ船舶ハ特別ノ補強構造並船型又壓艙物ノ關係ニ依リ強力及復元力充分ナリト認ムルモノヲ

除クノ外長深ノ一〇、五倍未滿、長幅ノ五、七倍未滿、幅深ノ一、七五倍以上タルコトヲ要ス

前二項ノ長、幅及深ハ呎ヲ以テ單位トシ造船規定ノ定ムル所ニ依リ之ヲ測定ス

前三項ノ外汽船「トロール」漁業ヲ營ム船舶ノ船體及機關ニ必要ナル構造並寸法ハ之ヲ告示ス

第十三條ノ二 汽船「トロール」漁業ヲ營ム船舶ノ船體及機關ハ船舶検査規定ノ定ムル所ニ依リ製造中ノ特別検査ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス但シ外國ニ於テ製造スルモノニシテ農林大臣ノ適宜ト認ムル製造中ノ検査ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 汽船「トロール」漁業ハ農林大臣ノ告示シタル禁止區域内ニ於テハ之ヲ營ムコトヲ得

ス

第十五條 汽船「トロール」漁業ハ許可ヲ受ケタル操業區域内ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

第十六條 「トロール」汽船ニ於テハ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」以外ノ漁具ヲ使用スルコトヲ得ス但シ禁止區域外ニ於テ農林大臣ノ許可ヲ受ケテ使用スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ許可ノ願書ニハ漁具ノ名稱並使用期間及場所ヲ記載スヘシ

第十六條ノ二 「トロール」汽船ヲ漁獲物ノ運搬ニ使用セムトスル者ハ農林大臣ノ許可ヲ受クヘシ



前項ノ許可ノ願書ニハ其ノ使用期間及場所ヲ記載シ且ツ其ノ使用者カ借受人ナルトキハ貸借ノ關係ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十七條 汽船「トロール」漁業ノ漁獲物ハ許可ヲ受ケタル漁獲物陸揚港ニ非サレハ之ヲ陸揚スルコトヲ得ス但シ天災其ノ他己ムコトヲ得サル事由アルトキ又ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ農林大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 「トロール」汽船ノ船體ハ之ヲ黒色トシ船首部兩舷側上甲板直下錨鎖孔ノ後方ニ一呎ノ間隔ヲ保チ白色ノ文字ヲ以テ明瞭ニ横ニ船名ヲ表記スヘシ但シ文字ハ其ノ大サ一呎半平方以上タルコトヲ要ス

第十九條 「トロール」汽船ノ煙筒ハ其ノ上端ヨリ煙筒ノ直徑ニ等シキ距離以下十呎ノ間ヲ白色トシ其ノ以外ハ全部黒色トシ白色部ノ兩舷側及後側ニ附屬様式第一號ニ依リ許可番號ヲ黒色二呎大ノ文字ヲ以テ明瞭ニ縦ニ表記スヘシ但シ文字ハ各字劃ノ大サヲ四吋トシ一呎ノ間隔ヲ保ツコトヲ要ス

第二十條 「オツターポールド」ノ構造ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

- 一 「ポールド」ノ下部前後ノ彎曲ハ其ノ半徑十二吋以上タルヘシ
- 二 靴金ハ裂疵其ノ他破損アルヘカラス
- 三 靴金ハ鑄鐵ヲ用キタルトキハ鉸釘ニテ取附ケ鋼鐵又ハ鍛鐵ヲ用キタルトキハ其ノ取附ケ部

ニハ堅材ヲ用キ鉸釘又ハ鋸釘ヲ以テ之ヲ取附クヘシ但シ總テ鉸釘又ハ鋸釘ノ頭ハ靴金ノ面ト凹凸アルヘカラス

- 四 「ポールド」下部ノ内外兩側ニ取附クヘキ鐵板ト靴金トノ接合部ハ靴金ノ下部ヨリ一吋以上上部タルヘク且靴金ノ兩側ト凹凸アルヘカラス
- 五 「ポールド」ノ内外面ニ於ケル前後兩端ノ鐵板ト靴金トノ接合部ハ凹凸アルヘカラス
- 六 「ポールド」ノ前端ノ木材面ト靴金面トハ凹凸ナク且其ノ接合部ハ厚十六分ノ三吋以下ノ鐵板ヲ以テ之ヲ蓋フヘシ

七 蝶釘ノ頭ハ「ポールド」ノ内面ニ置キ且全部孔内ニ嵌入スヘシ但シ其ノ頭ノ半球狀ナルモノニ在リテハ之ヲ孔内ニ嵌入セサルモ妨ナシ

八 「ポールド」ノ内外面ニ於ケル前後兩端ニハ厚八分ノ三吋以上ノ鐵板ヲ當テ之ヲ螺釘ニテ締附クヘシ但シ鐵板面ト木材面トハ凹凸アルヘカラス

九 「ポールド」ノ外面ニハ縦横ニ幅四吋以上厚二吋以上ノ木材各二本ヲ取附クヘシ但シ横ニ取附クル木材ノ長ハ「ポールド」ノ前後兩端ノ鐵板間ノ距離以上ニシテ「ポールド」ノ全長以下タルヘク縦ニ取附クル木材ノ長ハ上端ハ「ポールド」ノ上端ト凹凸ナク下端ハ「ポールド」ノ下端ヨリ距離五吋以上十吋以下タルヘシ又木材取附ケニ用ユル螺釘ノ母螺ハ全部孔内ニ嵌入スヘシ



十 「オッターボールド」ト「ブライドルチェーン」トノ取付ケニ用ユル「シヤツクル」ノ申又ハ螺釘ハ常ニ「オッターボールド」ノ側ニ向ヒ又「オッターボールド」ト漁網トノ取付ケニ用ユル「シヤツクル」申又ハ螺釘ハ常ニ漁網ノ側ニ向ヒ取付ケ逆轉セサル様ニ装置スヘシ

十一 「シヤツクル」ニハ母螺ヲ用ユヘカラス

「トロールヘッド」ノ構造ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

一 「トロールヘッド」ノ前端下部ノ彎曲ハ半徑十二吋以上タルヘシ

二 「トロールヘッド」ハ裂疵其ノ他破損アルヘカラス

三 「トロールヘッド」ノ靴金ハ之ヲ取附ケタルモノニ在リテハ鉸釘ヲ以テ固著スヘシ

四 前號靴金ノ前部ノ端ハ「トロールヘッド」ノ底ヨリ十二吋以上ニ之ヲ置キ「トロールヘッド」ト凹凸アルヘカラス

新規ノ構造ニ係ル「オッターボールド」又ハ「トロールヘッド」ヲ使用セムトスル者ハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 「オッターボールド」ニハ其ノ所屬船ノ名稱及許可番號ヲ表記スヘシ

第二十二條 (削除)

第二十三條 「トロール」汽船ノ船長ハ附屬様式第三號ニ依ル操業日誌ヲ船舶内ニ備ヘ毎ニ之ニ記載ヲ爲スヘシ

第二十四條 汽船「トロール」漁業者ハ毎年十二月末日ヨリ、事業年度ノ定メアルトキハ其ノ終了ノ日ヨリ二月内ニ一年度又ハ一事業年度ノ事業報告書ヲ作り之ヲ農林大臣ニ差出スヘシ

農林大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ報告書其ノ他ノ書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第二十五條 汽船「トロール」漁業者ハ毎月二十五日迄ニ其ノ前月分ノ成績ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第二十六條 汽船「トロール」漁業者船長ヲ雇入レタルトキハ乗組マシムヘキ船舶ノ名稱、族籍及住所ヲ記載シタル履歷書ヲ添ヘ之ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ

船長ノ族籍、氏名若ハ住所又ハ乗組船舶ニ變更アリタルトキハ十五日以内ニ之ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ船長ヲ解備シタルトキ亦同シ

第二十七條 農林大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ船長ノ下船ヲ命シ又ハ汽船「トロール」漁業者ニ對シ船長ノ解備ヲ命スルコトアルヘシ

第二十七條ノ二 漁業法第四十一條ニ依リ漁業監督ノ權限ヲ有スル者左ニ掲クル信號ヲ爲シタルトキハ「トロール」汽船ハ直ニ停船スヘシ

一 晝間ニ在リテハ萬國船舶信號書ニ掲載スル停船信號ヲ掲ケ且約一秒時ノ間隙ヲ以テ汽角ノ長聲一發短聲四發ヲ連發ス

二 夜間ニ在リテハ探海燈ヲ照ラシ且前號ト同様ノ音響信號ヲ爲ス

本條ニ於テ長聲トハ約四秒乃至六秒時ノ發聲ヲ謂ヒ短聲トハ約一秒時ノ發聲ヲ謂フ



第二十八條 農林大臣ニ於テ水産動植物ノ蕃殖保護、漁業取締其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ制限シ、停止シ又ハ取消スコトアルヘシ

第二十九條 汽船「トロール」漁業者漁業法若ハ本則ノ規定又ハ本則ニ基ク處分ニ違反シタルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ制限シ、停止シ又ハ取消スコトアルヘシ

第三十條 前條ノ規定ニ依ル處分ハ當該汽船「トロール」漁業者ノ有スル全部ノ許可ニ付之ヲ爲スコトアルベシ

第三十條ノ二 汽船「トロール」漁業者正當ノ事由ナクシテ引續キ一年以上許可ヲ受ケタル船舶ヲ使用シテ汽船「トロール」漁業ヲ營マス又ハ其ノ船體ニ著シキ變更ヲ加ヘタル時ハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第三十一條 農林大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ汽船「トロール」漁業者ニ對シ碇泊港ヲ指定シテ「トロール」汽船ノ碇泊ヲ命シ又ハ「トロール」汽船ノ検査ヲ爲スコトアルヘシ

第三十一條ノ二 農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受ケズシテ汽船「トロール」漁業ノ操業ニ使用セラレタル事實アリト認ムル漁船ノ碇泊ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ碇泊命令ハ碇泊港及碇泊期間ヲ指定シテ前項ノ漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ之ヲ爲ス但シ碇泊期間ハ地方長官ノ爲ス碇泊命令ニ在リテハ六

十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

地方長官第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ事由ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第三十一條ノ三 農林大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受ケズシテ汽船「トロール」漁業ノ操業ニ使用セラレルモノト認ムル漁船ニ依リ漁業ヲ營ム者又ハ當該漁船ノ船長若ハ船長ノ職務ヲ執ル者ニ對シ期限ヲ指定シ專ラ汽船「トロール」漁業ノ操業ノ用ニ供スルモノト認ムル漁具捲揚裝置其ノ他ノ設備ノ撤去其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ「トロール」汽船船長ヲ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 第十四條ノ規定ニ依ル禁止區域内又ハ第十五條ノ規定ニ依ル操業區域外ニ於テ投網シタルトキ
- 二 第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 三 船名又ハ許可番號ノ表記ヲ隱蔽シタルトキ
- 四 正當ノ事由ナクシテ第二十三條ノ操業日誌ヲ船舶内ニ備ヘス又ハ毀棄シタルトキ
- 五 正當ノ事由ナクシテ第二十三條ノ操業日誌ノ記載ヲ爲サス又ハ不正若ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ



- 六 海上衝突豫防法第九條第一項第四號ニ規定シタル燈火ヲ掲ケサルトキ
- 七 第二十七條ノ二ノ規定ニ違反シタルトキ
- 第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル汽船「トロール」漁業者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
  - 一 第十八條乃至第二十一條ノ規定ニ違反シタル者
  - 二 第三十一條ノ規定ニ依リ指定セラレタル碇泊港ニ船舶ヲ碇泊セシメサル者
- 第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル汽船「トロール」漁業者ハ科料ニ處ス
  - 一 第六條第二項、第七條、第八條第二項、第十條、第十一條第四項、第十二條第一項、第二十四條第一項、第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ違反シタル者
  - 二 第二十四條第二項又ハ第二十七條ノ命令ニ從ハサル者
- 第三十四條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ徵役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
  - 一 第三十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル碇泊命令ニ從ハザル者
  - 二 第三十一條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザル者
- 第三十五條 許可ヲ受ケス又ハ第十四條若ハ第十五條ノ規定ニ違反シテ營ミタル汽船「トロール」漁業ノ漁獲物ナルコトヲ知リテ販賣シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第十六條ノ二 第一項ノ規定ニ違反シタル者亦同シ
- 第三十六條 第十七條但書、第二十四條、第二十五條及第二十六條ノ場合ヲ除クノ外農林大臣ニ

差出スヘキ書類ハ住所地所轄ノ地方長官ヲ經由スヘシ

附則

- 第三十七條 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第三十八條 本則施行前ノ出願ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル
- 第三十九條 舊規則ニ依リ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受ケタル者ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス
- 第四十條 第三十九條ニ該當スル者ハ本則施行ノ日ヨリ一月内ニ船長ノ乗組船舶ノ名稱、族籍及住所ヲ記載シタル履歷書ヲ農林大臣ニ差出スヘシ
- 第四十一條 第十八條乃至第二十三條ノ規定ハ本則施行ノ日ヨリ三月間舊規則ニ依リ許可ヲ受ケタル汽船「トロール」漁業ニ使用スル船舶ニ付之ヲ適用セス
- 第四十二條 第三十九條ニ該當スル者ハ本則施行ノ日ヨリ一月内ニ漁獲物陸揚港ヲ定メ農林大臣ノ許可ヲ受クヘシ其ノ許否ノ處分ヲ受クル迄ノ間ハ第十七條ノ規定ハ「トロール」汽船ノ船長ニ之ヲ適用セス
- 第四十三條 第十三條ノ規定ハ本則施行前ヨリ汽船「トロール」漁業ニ使用スル船舶ニ之ヲ適用セス
  - 附則(大正六年農商務省令第一號)
- 第一條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



第二條 本令施行前第二條ノ申請又ハ第三條ノ出願ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノノ船舶ノ噸數ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第三條 許可ヲ受ケ汽船「トロール」漁業ニ使用シタル船舶ヲ以テ本令施行ノ日ヨリ六月以内ニ第二條ノ申請ヲ爲シタルトキハ第十三條ノ規定ニ拘ラス之ヲ認可ス

第四條 第十三條ノ規定ハ本令施行ノ際汽船「トロール」漁業ニ使用スル船舶又ハ前二條ノ規定ニ依リ認可シタル船舶ニ之ヲ適用セス

第五條 本令施行ノ際現ニ汽船「トロール」漁業ノ許可ヲ受クル者ハ本令施行ノ日ヨリ二月以内ニ其ノ漁獲物陸揚港ニ於テ「トロール」汽船ノ検査ヲ受クヘシ

農林大臣ハ前項ノ検査ヲ受ケタル者ニ對シ許可證ヲ引換ヘ交付ス

附 則 (大正七年九月二日 農商務省令第三十五號附則)

第一條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 第十三條及十三條ノ二ノ規定ハ本令施行ノ際汽船「トロール」漁業ニ使用スル船舶ニ付テハ其ノ許可ノ效力存續中ノ適用セス前項ノ船舶ニ依リ許可ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ一年以内ニ第二條ノ申請ヲ爲ス場合其ノ認可ヲ受ケ第三條ノ出願ヲ爲ス場合及第三條ノ四ノ出願ヲ爲ス場合亦前項ニ同シ

第三條 本令施行前汽船「トロール」漁業起業ノ認可ヲ申請シ未タ其ノ處分ヲ受ケサル者ハ第二條ニ

規定シタル添附書類ヲ提出スヘシ

様式第一號



様式第二號 (削除)

様式第三號

第(何)號(何)丸

汽船「トロール」漁業

操業日誌

記事		風壓		ノ具時		漁具ノ		温度	
午前		風	壓	始	終	高	水	海	大
午後									
場 漁獲物種類數量									
方	距	水	底	潮	流				
向	離	深	質	方	速				
					力				



當直員	見取 舵取 人	時	航程		針路	自差	天候	風力		晴雨計
			哩	分				方位	力	
		1								
		2								
		3								
		4								
		5								
		6								
		7								
		8								
		9								
		10								
		11								
		正午								
		1								
		2								
		3								
		4								
		5								
		6								
		7								
		8								
		9								
		10								
		11								
		正子								
		平均								
正午 所在 航離 直距	經度	實測	海流	方位	漁		位置			
	緯度	實測	羅針	速度	午前	經度	緯度			
		推測	偏差	午後						
	航位	實測	吃水	船首						
	航離	推測		船尾						
	航距	實測	錨鎖	右舷						
		推測		左舷						

記載心得

- 一、記事ノ欄内ニハ左ノ事項ニ付記入スヘシ
  - 一、發著ノ地名、時刻及推測起算點ノ地名、方位、距離
  - 二、機關運轉ノ始働及停止時刻
  - 三、船内執業及漁網使用ノ狀況並漁網使用中ノ海況

四、岬角、燈臺、島嶼、礁、標等本船ノ位置ヲ確定スルニ適當ノ場所ヲ航行スルトキハ其ノ方位距離距離測定ノ方法及時刻

五、本船所在ノ實測ヲ爲シタルトキハ其ノ位置、實測種別及時刻

六、他船ニ邂逅シ又ハ他船ト通信ヲ爲シタルトキハ其ノ船名、時刻及通信ノ要旨、邂逅船カ「ト

ロール」汽船ナルトキハ併セテ其ノ許可番號

七、燈光若ハ信號ヲ認メ又ハ砲聲其他ノ音響ヲ聞キタルトキハ其ノ時刻及顛末

八、衝突、坐礁其ノ他海難ニ罹リタルトキハ其ノ時刻及顛末

九、海底電線又ハ他ノ漁業者ノ漁具ニ損傷ヲ與ヘタルトキハ其ノ位置、品名、數量等

十、根據地出發當時ノ氷、石炭等ノ積載數量

二、漁獲物及數量欄内ニハ漁獲物ノ種類別ニ目方ヲ以テ其ノ數量ヲ記載スヘシ但シまだい、れんこ  
 だい、ちだい、にべ、ひらめ、ほうぼう等主要魚類ヲ除クノ外ハ一括總數量ヲ記載スルモ妨ナシ

三、漁場欄内ノ經度及緯度ハ投網場所ノ經緯度、方向及距離ハ漁網ノ引曳ノ直航方向及其ノ距離、  
 水深及底質ハ投網場所ニ於ケルモノ、潮流ノ速力ハ一時間ノ平均ヲ記入スヘシ

附屬様式第四號

船舶件名書

- 一 船名（現在ノモノニ付テハ船名及船舶番號）



- 二 船體ノ長、幅及深
- 三 外板及船骨材料
- 四 機關ノ種類及數
- 五 總噸數計畫又ハ現在)
- 六 實馬力(計畫又ハ現在)
- 七 最快速力(計畫又ハ現在)
- 八 専用石炭庫又ハ油槽ノ容積(計畫又ハ現在)
- 九 豫定起工年月日
- 十 豫定ノ竣工年月日(現在ノモノニ付テハ進水年月日)
- 十一 製造所ノ位置及名稱

トロール汽船ノ船體及機關ノ構造並寸法(大正七年九月二日農商務省告示第二百七十八號)

- 一 船體及機關ハ別段ノ定アルモノヲ除クノ外造船規程ニ適合スルモノナルコト但シ同規程第一編第十九條、第三十五條、第一項但書、第三十六條、第六十五條第二項、第九十二條、但書及第二百二十九條但書ハ之ヲ適用セス
- 二 肋骨ノ寸法ハ造船規程第三號甲表及乙表ノ一段上級ニ掲クルモノ以上ナルコト

- 三 外板ノ厚ハ造船規程第十四號表、第十五號表及第二十號表ニ掲クルモノ以上ナルコト但シ船側ニ在リテハ之ヨリ〇、〇四吋以上大ナルコト
- 四 龍骨翼板ノ縱緣、舷側厚板ヨリ船體ノ彎曲部ニ至ル間ノ外板ノ縱緣及船首ヨリ船長ノ五分ノ一ノ間ニ於ケル外板ノ縱緣ハ二列釘ニテ固著スルコト
- 五 上甲板ニ設クル機關室口ノ圍壁ハ甲板ノ上面ヨリ三呎六吋以上トシ其ノ兩側ニハ鋼甲板ヲ張り詰メ圍壁ノ緣材ハ  $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2}$  以上ノ山形材ヲ以テ鋼甲板ニ固著スルコト
- 六 上甲板ニ設クル機關室口、艙口、載炭口、出入口其ノ他ノ諸口ノ緣材ハ其ノ高甲板上面ヨリ一呎以上ナルコト但シ直接波浪ヲ受ケサル場所ニ於ケルモノハ適當ナル高迄之ヲ減スルコトヲ妨ケス
- 七 「ガロース」ハ其ノ寸法溝形材ナルトキハ  $8 \times 3 \frac{1}{2} \times 3 \frac{1}{2} \times 3 \frac{1}{2}$  以上、1形材ナルトキハ  $6 \times 3 \times 0.5$  以上ノ強力ヲ有スルモノトシ支柱並肘板ニ依リ堅牢ニ取付クルコト
- 八 船體及機關ノ構造並寸法ニシテ農商務大臣ニ於テ前各號ニ定ムルモノト同等以上ノ效力ヲ有スト認ムルモノハ前各號ニ依ラサルコトヲ妨ケス

汽船「トロール」漁業禁止區域(明治四十二年四月六日農商務省告示第三百三十四號大正元年八月三十一日農商務省告示第二百七十七號改正同二年九月一日同告示第二百六十九號改正)

- 一 根室國知床岬ヨリ正北線及北見國宗谷岬ヨリ樺太西能登呂岬ニ至ル線間ニ於ケル根室、北見兩



國沿岸朔望滿潮線ヨリ十海里線内

二 北見國宗谷岬、同國野寒岬、同國禮文島金田崎同島カランナイ岬、天鹽國天賣島南西端、燒尻島南端石狩國雄冬岬ヲ經テ後志國神威岬ニ至ル線内

三 渡島國矢越岬ヨリ同國潮首岬ニ至ル線内

四 渡島國出來潤崎ヨリ膽振國勇拂川口中央ニ至ル線内

五 十勝國十勝川口中央ヨリ釧路國尻羽崎ニ至ル線内

六 根室國「ノカマツプ」岬ヨリ志勃島ノ西北端、色丹島「ヒシネベツリ」岬及同島斜古丹崎ヲ經テ國後島安渡移矢岬ニ至ル線内及同島「ハツチャウスバナ」ヨリ根室國良牛岳頂最高點ヲ見通シタル線以内ノ海面

七 陸中國三崎ヨリ陸奥國尻矢崎燈臺、大間崎、龍飛崎、權現崎、艦作崎、羽後國入道崎燈臺、飛

島北端、同島南端、越後國粟生島北端、同島南端、佐渡國姫崎燈臺、澤崎及能登國舩倉島頂ヲ經

テ丹後國經ヶ岬ニ至ル線内、越前國越前岬ヨリ隱岐國白島崎、久見崎、長門國見島北端、對馬國

三島燈臺、豆酸崎燈臺、肥前國五島列島嵯峨島頂、福江島大瀬崎燈臺、薩摩國下甕島野崎ノ鼻、

坊ノ岬、大隅國佐多岬燈臺、屋久島御崎、谷崎、種子島大竹崎南東方十海里ノ點ヲ經テ伊豫國由

良崎ニ至ル線内及日向國細島港口南端ヨリ土佐國足摺崎、室戸崎燈臺ヲ經テ紀伊國瀨戸崎ニ至ル

線内並河波國大島ノ南端ヨリ紀伊國潮岬燈臺ニ至ル線内同上各線外佐渡國、隱岐國、長門國見島

及五島列島福江島ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ十海里線以内並對馬國沿岸ハ筑前國沖島ヨリ朝鮮慶尙北

道長鬚岬冬(外串)ニ至ル線ト東經百三十度ト北緯三十五度トノ交叉點ヨリ朝鮮慶尙南道鴻島南

端ニ至ル線及同島南端ヨリ肥前國生月島北端ニ至ル線ニテ圍マレタ線内

八 志摩國大王崎ヨリ遠江國御前崎ニ至ル線内及同國掛塚燈臺ヨリ御前崎ノ南方二十海里ノ點ヲ經

テ伊豆國石室崎ニ至ル線内

九 相模國眞鶴崎ヨリ安房國州ノ崎ニ至ル線内

十 安房國野島崎ヨリ上總國勝浦灣口八幡崎ノ東南方二十海里ノ點及下總國大吠崎燈臺ノ東南方二

十海里ノ點ヲ經テ陸前國金華山燈臺ニ至ル線内

### 瀨戸内海漁業取締規則 (昭和十二年十二月四日 農林省令第四十七號)

第一條 本則ハ瀨戸内海ノ漁業ニ關シ之ヲ適用ス

前項ニ於テ瀨戸内海トハ左ニ掲グル直線ニ依リテ區劃セラレタル海面ヲ謂フ

一 紀伊國紀伊日ノ御崎燈臺ヨリ阿波國伊島及前島ヲ經テ蒲生田崎ニ至ル直線

二 伊豫國佐田岬ヨリ豊後國關崎燈臺ニ至ル直線

三 長門國火ノ山下船舶通航信號所ヨリ豊前門司崎燈臺ニ至ル直線

第二條 機船底曳網漁業取締規則第一條第一項ノ規定ニ依リ指定シタル漁業ハ機船ニ依リ之ヲ營ム



コトヲ得ズ

第三條 文鎮漕、掛繩漕其ノ他ノ空釣漕ヲ使用シテ漁業ヲ營ムコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル漁業ニシテ機船ニ依ラザルモノ各其ノ期間及區域内ニ於テ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 文鎮漕漁業及掛繩漕漁業

十二月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル期間

淡路國浦村浦川口中央、浦川口中央ヨリ正東ノ線ト攝津國一ノ谷頂上ヨリ淡路國由良町高崎見通線トノ交叉點、一ノ谷頂上ヨリ高崎見通線ト淡路國州本町宮崎鼻ヨリ紀伊國友ヶ島沖ノ島頂上見通線トノ交叉點及宮崎鼻ヲ連結シタル三直線ト宮崎鼻浦川口中央間ノ海岸線トニ圍マレタル海面

淡路國由良町高崎、攝津國一ノ谷頂上ヨリ高崎見通線ト紀伊國荒崎ヨリ阿波國佐古山頂上見通線トノ交叉點、荒崎ヨリ佐古山頂上見通線ト淡路國門崎ヨリ同國潮崎見通線トノ交叉點及潮崎ヲ連結シタル三直線ト潮崎高崎間ノ海岸線トニ依リテ圍マレタル海面十二月一日ヨリ翌年四月三十日ニ至ル期間

淡路國松帆崎、松帆崎ヨリ播磨國男鹿島大崎見通線ト同國雄岡山頂上ヨリ同國二見港口中央見通線トノ交叉點雄岡山頂上ヨリ二見港口中央見通線ト播磨國鞆掛島頂上ヨリ淡路國丸山崎見通

線トノ交叉點及丸山崎ヲ連結シタル三直線ト丸山崎松帆崎間ノ海岸線トニ依リテ圍マレタル海面

二 文鎮漕漁業

十二月二十日ヨリ翌年二月末日ニ至ル期間

伊豫國小平市島頂上、小平市島頂上ヨリ伊豫國魚島東南端見通線ト伊豫國美濃島南端ヨリ伊豫國讚岐兩國界余木崎見通線トノ交叉點、余木崎及余木崎ヨリ伊豫國大崎見通線ト伊豫國小比岐島頂上ヨリ小平市島頂上見通線トノ交叉點ヲ連結シタル四直線ニ依リテ圍マレタル海面

第四條 左ニ掲グル漁具ヲ使用シテ漁業ヲ營ムコトヲ得ズ但シ機船ニ依ラザル漁業ニシテ網目三センチメートル以上ノいか手繰網、ちぬ漕網、いか漕網、すずき曳網、あいご曳網、たなご曳網及もいか曳網ヲ使用スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 藻手繰網

二 藻打瀬網

三 藻漕網

四 藻曳網

第五條 八月十一日ヨリ九月二十日ニ至ル期間内打瀬網ヲ使用シテ漁業ヲ營ムコトヲ得ズ但シ網目三センチメートル以上ノモノヲ使用スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間内全長九センチメートル未満ノたひヲ採捕スルコトヲ得ズ

第七條 機船ニ依ル漁業ハ漁業ノ種類毎ニ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ



地方長官前項ノ許可ヲ爲サントスルトキハ農林大臣ニ經伺スベシ

第八條 機船ニ依ル漁業ノ許可ノ期間ハ五年以内トス

前項ノ期間ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ之ヲ更新スルコトヲ得

地方長官五馬力ヲ超ユル機船ヲ備フル機船ニ付前項ノ許可ヲ爲サントスルトキハ農林大臣ニ經伺

スベシ

第九條 前二條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ許可ノ申請書ニ使用スベキ機船ノ船名、船型、船體ノ大  
サ及機關ノ馬力ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

許可ヲ受ケタル者前項ノ規定ニ依ル添附書類ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ地方長官  
ノ承認ヲ受クベシ

第十條 第七條第一項ノ漁業ヲ除クノ外左ニ掲グル漁業ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ  
營ムコトヲ得ズ但シ漁業權又ハ入漁權ニ依リテ營ムモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 地曳網漁業(地漕網漁業ヲ含ム)

六 打瀬網漁業(桁打瀬網漁業、潮打瀬網

二 船曳網漁業

漁業及冲手繰網漁業ヲ含ム)

三 縛網漁業

七 一艘五智網漁業

四 繰網漁業

八 二艘五智網漁業

五 揚繰網漁業(巾著網漁業ヲ含ム)

九 流網漁業

十 たこ壺漁業

十一 撒餌釣漁業

第十一條 第二條乃至第五條、第七條第一項及前條ノ漁業ノ地方名稱ハ漁業法施行規則第五十條第

二項ノ規定ニ依リ公示シタルモノヲ除クノ外地方長官之ヲ告示スベシ

第十二條 漁業法施行規則第四十五條ノ行政官廳ハ本則ノ適用ニ關シテハ地方長官トス

第十三條 第三條但書、第四條但書、第五條、第六條、第七條第一項及第十條ノ規定ハ地方長官ニ

於テ地方特別ノ情況ニ依リ必要アリト認ムル場合ニ於テ漁業法第三十四條ノ規定ニ依リ必要ノ命

令ヲ發スルコトヲ妨グズ

第十四條 地方長官ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ本則ノ施行ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムベシ

第十五條 第二條乃至第六條、第七條第一項又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ

處ス第九條第二項ノ承認ヲ受ケズシテ其ノ機船ニ依リ漁業ヲ營ミタル者亦同ジ

前項ノ場合ニ於テ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、其ノ製品及漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得但

シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スル

コトヲ得

第二條乃至第六條、第七條第一項若ハ第十條ノ規定ニ違反シテ採捕シタル漁獲物又ハ其ノ製品ナ

ルコトヲ知りテ之ヲ販賣シ又ハ所持シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス第九條第二項ノ

承認ヲ受ケズシテ其ノ機船ニ依リ採捕シタル漁獲物又ハ其ノ製品ナルコトヲ知りテ之ヲ販賣シ又



所持シタル者亦同ジ

附則

第一條 本令ハ昭和十三年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 明治四十二年農商務省令第五十六號瀬戸内海漁業取締規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前舊規則ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本令施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

第三條 本令施行前舊規則第二條但書ノ規定ニ依リ爲シタル許可ニシテ機船ニ依ラザル漁業ニ關スルモノ及本令施行前地方長官ノ爲シタル許可ニシテ本則第十條ノ漁業ニ關スルモノハ本則第三條及第十條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四條 本令施行前地方長官ノ爲シタル漁業ノ許可ニシテ機船ニ依ルコトヲ其ノ内容トスルモノハ本則第七條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ許可ノ期間ハ之ヲ變更セズ

第五條 本令施行ノ際本則ノ規定ニ依リ新ニ許可ヲ受クルヲ要スルニ至リタル漁業ヲ營ム者ハ本令施行ノ日ヨリ三月ヲ限り本則第七條第一項及第十條ノ規定ニ拘ラズ漁業ヲ營ムコトヲ得本令施行後三月以内ニ許可ノ出願ヲ爲シ許可ノ處分ヲ受クル迄ノ期間ニ付亦同ジ

第六條 本令施行前舊規則第二條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル漁業ニシテ機船ニ依ルコトヲ其ノ許可ノ内容トスルモノ及本令施行ノ際舊規則第三條第一項但書ノ漁具ヲ使用シテ營ム漁業ニシ

テ機船ニ依ルモノハ本則第三條及第四條ノ規定ニ拘ラズ本令施行ノ日ヨリ二年ヲ限り仍従前ノ例ニ依ル

第七條 本令施行前舊規則第三條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル漁業ハ本則第四條ノ規定ニ拘ラズ本令施行ノ日ヨリ七年ヲ限り仍従前ノ例ニ依ル但シ本令施行ノ日ヨリ二年ヲ經過シタルトキハ機船ニ依リ漁業ヲ營ムコトヲ得ズ

第八條 本則第六條中九月三十日トアルハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限り之ヲ八月三十一日トス

水産組合規則

(大正五年六月三十日  
農商務省令第十五號)

改正 大正九年八月二十八日同省令第二十六號

第一條 本則ニ於テ組合ト稱スルハ漁業法第五十一條ノ規定ニ依リ設置スル水産組合ヲ謂ヒ聯合會ト稱スルハ同法第五十三條ノ規定ニ依リ設置スル水産組合聯合會ヲ謂フ

第二條 組合又ハ聯合會ハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スルコトヲ得ス

第三條 組合又ハ聯合會ニハ評議員會ヲ置クコトヲ得

第四條 組合又ハ聯合會ニ關シ左ニ掲クル事項ハ之ヲ地方長官ニ委任ス

一 設置又ハ解散ノ認可

二 定款變更ノ認可



- 三 地區ノ範圍、營業ノ種類又ハ定款ノ變更ヲ命スルコト
  - 四 重要物産同業組合法第十五條第二號及第三號ノ處分
  - 五 重要物産同業組合法第十條ノ四第一項ノ規定ニ依ル役員又ハ検査員ノ選任又ハ解任
  - 六 經費ノ豫算又ハ其ノ徴收法ノ變更ヲ命スルコト
  - 七 役員ノ選任並検査員ノ選任及解任ノ認可
  - 八 重要物産同業組合法第十條ノ四第二項ノ規定ニ依ル役員ノ解任ノ認可
  - 九 検査員ノ服務ニ關スル規程ノ認可
  - 十 經費ノ豫算及徴收法ノ認可
- 地方長官前項ノ規定ニ依リ處理シタルトキハ第一號乃至第六號ノ場合ハ之ヲ農林大臣ニ報告スヘシ但シ第五號中検査員ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條 組合又ハ聯合會ハ定款ノ施行ニ關スル規則ヲ設ケタルトキハ其ノ規則、定款ニ主タル事務所ノ位置ヲ記載セサルトキハ其ノ位置ヲ地方長官ニ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ經費ノ決算及業務成績ノ報告ハ之ヲ地方長官ニ爲スヘシ
- 第一項ノ届出又ハ前項ノ報告アリタルトキハ地方長官ハ之ヲ農林大臣ニ報告スヘシ
- 第六條 本則ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ又ハ地方長官ニ對シテ爲スヘキ事項ハ組合ノ地區又ハ聯合會ノ區域二以上ノ府縣ニ亘ル場合ニ於テハ農林大臣ニ於テ又ハ農林大臣ニ對シテ之ヲ爲スモノトス
- 第七條 農林大臣ニ差出スヘキ書類ハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ
- 第八條 組合又ハ聯合會ニ付テハ重要物産同業組合法施行規則第一號乃至第十三條、第十五條乃至第二十二條、第二十三條第二項、第二十四條乃至第三十三條、第三十五條乃至第四十四條及第四十九條ノ規定ヲ準用ス

**重要物産同業組合法** (明治三十三年三月七日  
法律第三十五號)

改正 大正五年三月六日法律第十五號

- 第一條 重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スルコトヲ得
- 重要物産及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農林大臣ノ認定ニ依ル
- 第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的ト爲ス
- 第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムトスルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス



第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農林大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲同業組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トス

同業組合及同業組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ

一 組長 一名

一 副組長 若干名

一 評議員 若干名

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル同業組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選舉シ農林大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス但シ必要アルトキハ組合員ニ非サル者ヨ

リ之ヲ選舉スルコトヲ得

第九條 組長ハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任ス

副組長ハ組長ノ事務ヲ補佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詞ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

副組長及評議員ハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

組長副組長共ニ故障アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ検査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ検査スルコトヲ得

同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徵シ違約物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十條ノ二 前條第一項ノ検査ヲ行フ同業組合及同業組合聯合會ニ在リテハ検査員ヲ置クヘシ

検査員ノ選任及解任ハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條ノ三 同業組合及同業組合聯合會ハ前條ノ検査員ノ服務ニ關スル規定ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條ノ四 農林大臣ハ重要輸出品ニ關スル同業組合又ハ同業組合聯合會ノ申請アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ其ノ役員又ハ検査員ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得



前項ノ規定ニ依リ選任セラレタル役員ノ解任ハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

重要輸出品ノ種類ハ農林大臣之ヲ指定ス

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並徵收法ハ其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

經費ノ決算及業務成績ハ毎年少グトモ一回組合員ニ公示シ農林大臣ニ報告スヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其ノ諮問アルトキハ答申スヘシ

第十三條 農林大臣ハ同業組合又ハ同業組合聯合會ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ經費ノ豫算又ハ其ノ徵收法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條 農林大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得

農林大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類若ハ定款ノ變更ヲ命シ又ハ同業組合聯合會ヘノ加入若ハ同業組合聯合會ヨリノ脱退ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其ノ目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ農林大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止

二 役員ノ解職

三 決議ノ取消

第十六條 同業組合若ハ同業組合聯合會解散ヲ爲サムトスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農林大臣ノ處分ヲ請フヘシ

第十八條 農林大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條ノ規定ニ違背シタル者ハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ二 同業組合及同業組合聯合會ノ役員第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違背シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ三 同業組合及同業組合聯合會ノ役員検査員其ノ他事務ニ従事スル者正當ノ理由ナクシテ當該官吏又ハ吏員ノ本法ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ妨ケ若ハ之ヲ忌避シタルトキ又ハ職務ノ執行ノ爲ニスル尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス



第十九條ノ四 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前三條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證券若ハ検査證ヲ不正ニ使用シタル者、行使ノ目的ヲ以テ證券若ハ検査證ヲ偽造若ハ變造シタル者又ハ偽造若ハ變造ノ證券若ハ検査證ヲ使用シタル者ハ三年以下ノ徴役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條ノ二 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ役員又ハ検査員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ徴役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ徴役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第二十條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十條ノ四 第二十條ニ掲クル罪ハ刑法第三條ノ例二、第二十條ノ二ニ掲クル罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

附則

第二十一條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要輸出品同業組合法ハ之ヲ廢止ス

第二十二條 重要輸出品同業組合法ニ依リテ設立シタル組合及聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第二十三條 他ノ法律中重要輸出品同業組合法ヲ準用スヘキモノト定メタル場合ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ規定ヲ準用シ重要輸出品同業組合法中ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ之ニ相當スル本法ノ規定ヲ準用ス

附則

(大正五年三月六日法律第五號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正五年五月五日勅令第一一三號ヲ以テ同年七月一日ヨリ之ヲ施行ス)

本法施行前選任セラレタル検査員ニ付テハ本法施行後一月内ニ其ノ選任ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ期間内ニ認可ノ申請ヲ爲ササトキハ其ノ期間滿了ノ日、申請ニ對シ不認可ノ指令アリタルトキハ其ノ指令ノ日ニ於テ検査員ハ解任セラレタルモノト看做ス

検査員ハ前項解任ノ日迄從前ノ例ニ依リ職務ヲ行フコトヲ得

前三項ノ規定ハ本法ニ依リタル他ノ法律ニ依リ設置シタル組合又ハ聯合會ニ關シ之ヲ準用ス

刑法施行法第二十七條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 削除



### 重要物産同業組合法施行規則 (大正五年五月二十九日 農商務省令第八號)

改正 大正七年七月十日農商務省令第二十四號、同九年八月二十八日同省令第二十五號

第一條 同業組合ノ名稱中ニハ同業組合ナル文字ヲ用ウヘシ

同業組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ同業組合ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第二條 組合ノ地區ハ一郡市以上一府縣以下ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 組合ヲ設置セムトスルトキハ五名以上ノ營業者發起人ト爲リ組合地區ヲ管轄スル地方長官ニ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一 組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類

二 組合ノ地區

三 組合ノ目的及業務ノ概目

四 組合設置ノ事由

五 組合員タルヘキ者ノ數但シ組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類二種以上ナルトキハ其ノ營業ノ種類毎ニ之ヲ區別スヘシ

六 組合ノ創立費及收支ノ概算

第四條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ組合員タルヘキ者ニ前條第二項ニ掲クル事項ヲ通知シ

組合設置ノ同意ヲ求ムヘシ

第五條 法定ノ同意者アリタルトキハ發起人ハ定款ヲ作り遲滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ

創立總會ヲ招集スルニハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員タルヘキ者ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ

前項ノ通知ニハ定款ヲ添附スヘシ

第六條 定款ハ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類二種以上ナルトキハ前項ノ同意ハ種類毎ニ三分ノ二以上ナルコトヲ要ス

第七條 創立總會ニ於テハ役員ヲ選舉シ最初ノ事業年度ノ經費ノ豫算及徵收法ヲ議決スヘシ

第八條 組合ノ負擔ニ歸スヘキ創立費及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第九條 第十九條第一項、第二十條、第二十二條第二項第三項及第二十七條ノ規定ハ創立總會ニ付之ヲ準用ス

第十條 創立總會終結シタルトキハ發起人ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類、定款、創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ組合設置ノ認可ヲ農林大臣ニ申請スヘシ



前項ノ認可アリタルトキハ地方長官ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十一條 發起人發起ノ認可アリタル後一年内ニ組合設置ノ認可ヲ申請セサルトキハ發起ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

第十二條 農林大臣組合ノ設置ヲ命シタルトキハ地方長官ハ創立委員ヲ選定シ其ノ氏名及住所ヲ公告スヘシ

創立委員ハ定款ヲ作り農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

組合ノ設置アリタルトキハ創立委員ハ遲滯ナク組合員ノ總會ヲ招集スヘシ

第五條第二項、第七條、第八條、第十九條第一項、第二十條及第二十二條第二項第三項ノ規定ハ前項總會ニ之ヲ準用ス

第十三條 組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 目的

二 業務

三 名稱

四 地區及組合員ノ營業ノ種類

五 主タル事務所及従タル事務所ノ所在地

六 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

七 組合員ノ權利義務ニ關スル規定

八 役員ノ定數、權限及任免ニ關スル規定

九 業務ノ執行ニ關スル規定

十 會議ニ關スル規定

十一 會計ニ關スル規定

仲裁判斷又ハ調停ヲ爲ス組合ニ在リテハ之ニ關スル規定ヲ定款ニ記載スヘシ

聯合會ヲ組織スル組合ノ定款ニハ代表員ノ選舉ニ關スル規定ヲ記載スヘシ代表員事故アルトキ之

ニ代ルヘキ豫備代表員ヲ設クル場合其ノ選舉ニ關スル規定ニ付亦同シ

第十四條 定款ニ主タル事務所ノ位置ヲ記載セサル組合ニ在リテハ之ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十五條 組合ニ組合會ヲ置ク

組合會ハ組合員中ヨリ選舉シタル代議員ヲ以テ之ヲ組織ス

代議員ノ定數、任期及選舉ニ關スル規定ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十六條 組合ノ業務ハ組合會ノ決議ニ依リ組長之ヲ行フ但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 組長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ毎事業年度少クトモ一回一定ノ時期ニ於テ組合會ヲ招集ス



組長必要ト認ムルトキハ組合會ヲ臨時ニ招集スルコトヲ得

代議員定數ノ五分ノ一以上カ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ示シ組合會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組長ハ之ヲ招集スヘシ評議員會カ第二十四條第二號ノ規定ニ依リ報告ヲ爲ス爲組合會ノ招集ヲ請求シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ組長一週間内ニ組合會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ請求者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第十八條 組合會ヲ招集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シテ定款ノ定ムル方法ニ依リ其ノ通知ヲ發スヘシ

組合會ニ於テハ前項ノ規定ニヨリ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ期間ハ定款ノ規定ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第十九條 組合會ニ於テハ代議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

前項ニ定メタル員數ノ代議員出席セサルトキハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以テ假決議ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各代議員ニ對シテ其ノ假決議ノ趣旨ノ通知ヲ發シ更ニ一月内ニ第二回ノ組合會ヲ招集スルコトヲ要ス

第二回ノ組合會ニ於テハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以テ假決議ノ認否ヲ決ス

第二十條 組合會ノ議決ハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十條ノ二 組合會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ組長ハ書面ニ依リ代議員ノ表決ヲ以テ組合會ノ決議ニ代フルコトヲ得

第二十一條 定款ノ變更ハ組合會ニ於テ代議員定數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ議決スヘシ

地區又ハ組合員ノ營業ノ種類ノ増減ニ關スル定款ノ變更ハ前項ノ決議ノ外編入又ハ削除セラルヘキ區域若ハ營業ノ種類ニ屬スル組合員タルヘキ者又ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

定款變更ノ認可書申請ニハ其ノ變更ノ理由ヲ記載シタル書面及決議錄ノ謄本並第二項ノ場合ニ於テハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第二十二條 組合員ノ少數ナル組合ニ在リテハ組合員ノ總會ヲ以テ組合會ニ代フルコトヲ得

總會ニ於ケル各組合員ノ表決權ハ平等トス

總會ニ出席セサル組合員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ代理人ヲ出ス事ヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス

前二項ノ規定ハ定款ニ別段ノ定アルトキハ之ヲ適用セス



組合會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第二十三條 組合ニ評議員會ヲ置ク但シ組合員少製ナル組合ニ在リテハ評議員會ヲ置カサルコトヲ得

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十四條 評議員會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 組長ヨリ組合會ニ提出スル議案ヲ審査シ組長ニ對シ意見ヲ述フルコト
- 二 組合ノ財産及業務ノ狀況ヲ監査シ每事業年度一回以上之ヲ組合會ニ報告スルコト
- 三 組長ノ諮詢ニ應スルコト
- 四 其ノ他定款ノ規定ニ依リ其ノ職務權限ニ屬スル事項

第二十五條 評議員會ハ組長之ヲ招集ス

評議員ノ三分ノ一以上カ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ示シ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組長ハ之ヲ招集スヘシ

前項ノ場合ニ於テ組長一週間内ニ評議員會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ請求者ハ之ヲ招集スルコトヲ得

第二十六條 第十九條乃至第二十條ノ二ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

第二十七條 組合會、總會及評議員會ノ議長ハ決議録ヲ作り左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二人以

上之ニ記名捺印スヘシ

- 一 開會ノ日時及場所
- 二 代議員若ハ評議員ノ定數又ハ組合員ノ數
- 三 出席者ノ員數
- 四 議事ノ要領
- 五 議決シタル事項
- 六 賛否ノ數

第二十八條 組合ノ役員及検査員選任ノ認可申請書ニハ履歴書ヲ添附スヘシ

第二十九條 組合ハ検査員ノ資格、選任、解任及給與ニ關スル規定ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三十條 組合ノ検査員ノ服務ニ關スル規程中ニハ服務紀律及懲戒ニ關スル規定ヲ設クヘシ

組合ノ検査員ノ職務ヲ停止シ又ハ給與ヲ減額セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 組合ノ役員及検査員ノ解任認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第三十二條 組合ノ事業年度ハ一年トス

第三十三條 組合經費ノ豫算及徴收法ノ認可申請ハ事業年度二月前ニ、經費ノ決算及業務成績ノ報告ハ事業年度後三月内ニ之ヲ爲スヘシ



第三十四條 組合ニ於テ定款ノ施行ニ關スル規則ヲ設ケタルトキハ農林大臣ニ之ヲ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第三十五條 役員ノ缺ケタル場合ニ於テ補缺選舉ノ手續ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ組合員ヲ指定シテ其ノ手續ヲ行ハシム

第三十六條 組合解散シタルトキハ組長及副組長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキ又ハ組合會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

清算人ハ其ノ氏名住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十七條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第三十八條 清算人其ノ任ニ適セス又ハ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三十九條 清算力結了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四十條 聯合會ヲ設置若ハ解散シ之ニ加入シ又ハ之ヨリ脱退スルニハ組合會ノ決議ニ依ルヘシ前項ノ決議ハ代議員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

脱退ニ關スル組合會ノ決議ハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 聯合會ヲ設置セムトスルトキハ各組合ニ於テ選定シタル創立委員ヲ以テ創立委員會ヲ開キ全員ノ同意ヲ以テ定款ノ作成其ノ他必要ナル事項ヲ議定スヘシ

創立委員會終結シタルトキハ創立委員ハ定款、其ノ他議定シタル事項、各組合ノ組合會ニ於ケル聯合會設置ニ關スル決議録ノ謄本及創立委員會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ農林大臣ニ設置ノ認可ヲ申請スヘシ

聯合會ノ定款ニハ第十三條第一項第一號乃至第三號、第五號、第八號乃至第十一號ニ掲クル事項並所屬組合ノ名稱、加入脱退、權利義務、代表員ノ定數及任期ニ關スル規定ヲ記載スルコトヲ要ス

第七條及第八條ノ規定ハ創立委員會ニ之ヲ準用ス

第四十二條 聯合會ニ總會ヲ置ク

總會ハ所屬組合ノ代表員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十三條 第一條、第十二條、第十三條第二項、第十四條、第十六條乃至第二十條ノ二、第二十一條第一項第四項及第二十三條乃至第三十九條ノ規定ハ聯合會ニ付之ヲ準用ス

第四十四條 地方長官ハ組合又ハ聯合會ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第四十五條 組合ニ關シ左ニ掲クル事項ハ之ヲ地方長官ニ委任ス

一 定款變更ノ認可

二 役員ノ選任並検査員ノ選任及解任ノ認可



- 三 重要物産同業組合法第十條ノ四第一項ノ規定ニ依ル役員又ハ検査員ノ選任又ハ解任
  - 四 重要物産同業組合法第十條ノ四第二項ノ規定ニ依ル役員ノ解任ノ認可
  - 五 検査員ノ服務ニ關スル規定ノ認可
  - 六 經費ノ豫算及徴收法ノ認可
  - 七 經費ノ豫算又ハ其ノ徴收法ノ變更ヲ命スルコト
  - 八 地區ノ範圍、營業ノ種類又ハ定款ノ變更ヲ命スルコト
  - 九 重要物産同業組合法第十五條第二號及第三號ノ處分
- 前項ノ規定ハ一府縣内ヲ區域トスル聯合會ニ付之ヲ準用ス
- 第四十六條 地方長官ハ前條ノ規定ニ依リテ處理シタルトキハ第一項第五號ノ場合ヲ除クノ外農林大臣ニ其ノ報告ヲ爲スヘシ但シ前條ノ第一項第二號乃至第四號ノ報告ハ組長及副組長ニ限ル
- 第四十七條 本則中地方長官トアルハ主タル事務所所在地ノ地方長官トス
- 第四十八條 本則ノ規定ニ依リテ地方長官ニ於テ又ハ地方長官ニ對シテ爲スヘキ事項ハ聯合會ノ區域ニ以上ノ府縣ニ互ル場合ニ於テハ農林大臣ニ於テ又ハ農林大臣ニ對シテ之ヲ爲スモノトス
- 組合又ハ聯合會ノ區域ニ以上ノ府縣ニ互ル場合ニ於テハ關係地方長官ニ於テモ組合又ハ聯合會ニ對シ其ノ管内ニ於ケル業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第四十九條 本則中府縣、郡市トアルハ府縣制、郡制、市制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

第五十條 農林大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

第五十一條 本則ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條 本則施行前ニ爲シタル發起ノ認可ハ第十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ本則施行ノ日ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十三條 本則施行前組合又ハ聯合會設置認可ノ申請アリタル場合ニ於テハ本則施行後六月間仍從前ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得

第五十四條 組合又ハ聯合會ノ定款ニシテ本則ノ施行ニ依リ變更ヲ要スルモノニ付テハ本則施行後一年内ニ其ノ變更ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十五條 明活三十四年農商務省令第十四號ハ之ヲ廢止ス



Faint, illegible text visible on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.



733  
260



